

目次

I 展示

1 企画展	1
2 通常展示構成	6
3 映像資料一覧	7
4 コーナー展	8
5 フリースペース・ミニギャラリー展示	9

II 調査・研究と社会貢献

1 分野別の調査・研究	10
2 資料調査員	10
3 他機関との共同調査	10
4 個別の調査・研究	11
5 研究成果の公表	12
6 社会貢献等	13

III 資料の収集・保存と活用

1 資料の受贈	15
2 資料の受託	15
3 資料の返還	16
4 資料の移管	16
5 資料の購入	16
6 資料の複製製作	16
7 資料の管理委託・一時預かり	16
8 資料の一時返却	16
9 資料の貸出	17
10 資料等撮影等	19
11 保存修理	19
12 燻蒸	19
13 収蔵庫収納棚耐震化工事	20
14 環境管理	20
15 資料情報管理システム	21
16 図書資料の整理	22
17 館蔵資料数	22
18 収蔵資料目録の刊行	22

IV 教育普及

1 一般対象の普及事業や刊行物	23
(1) 講演会・講座等	23
(2) 刊行物	26
(3) 動画制作・配信	27
2 学校教育への支援	28
(1) 学校等団体の来館利用への支援	28
(2) 学校教育活動支援事業	29
(3) 学校などへの講師派遣(出張授業)	29
(4) 資料などの学校等への貸出	30
(5) 職場体験の受け入れ	30
(6) 博物館実習の受け入れ	30
(7) 教員のための研修	30
(8) 学校教育関連事業の共催	30
3 展示解説	30
(1) 解説補助員	30
(2) 学芸員等による展示解説	30
4 カルチャーサポーター	31
5 れきみんサークル	31
6 参考業務等	32
(1) 参考業務(レファレンスサービス)	32
(2) 調査来館対応	32
7 イベント	32
(1) 第11回岡豊山さくらまつり【中止】	32
(2) れきみんの日【中止】	32
(3) 第11回長宗我部フェス【中止】	33
(4) れきみん!サマーミュージアム	33
(5) 岡豊城跡をめぐる土佐の七雄スタンプラリー	34
(6) れきみんのお正月【中止】	34
(7) 長宗我部元親 RALLY10th	34

V 情報の発信

1 広報活動	35
2 マスコミほかによる情報掲載等	35
3 IT(情報技術)による情報発信	37
4 広告	37
5 他機関との連携、様々な機会をとらえた情報発信	37
6 広報プロジェクトチームの活動	38

VI ネットワーク

1 日本博物館協会	39
2 四国地区博物館協議会	39
3 こうちミュージアムネットワーク	39
4 土佐のまほろば地区振興協議会	39
5 旧大柵高校の活用	40
6 共催・後援事業	40

VII 管理運営・マネジメント

1 組織図	41
2 職員名(令和2年度)	41
3 事務分掌	41
4 予算	42
5 運営協議会	43
6 資料収集委員会	43
7 資料調査員	43
8 多目的ホールの利用	44
9 旧味元家住宅主屋の利用とメンテナンス	44
10 岡豊山歴史公園管理	44
11 令和2年度高知県立歴史民俗資料館修繕工事等	44
12 防災及び危機管理体制	45
13 新型コロナウイルス感染症への対応	45
14 吊り天井改修工事による休館中の岡豊山活用対応	45
15 利用者サービスの向上	46
16 職員の研修等	46
17 日録抄等	46

VIII 観覧者統計

1 小・中・義務教育・高等学校等の入館校数(月別)	48
2 高齢者団体の入館者数(月別)	48
3 病院、デイ・サービス等の入館者数(月別)	48
4 一般団体等の入館者数(月別)	48
5 各年度入館者等	48
6 令和2年度入館者実績	49
7 各年度別企画展等の観覧者数	50
8 常設(通常)展と企画展開催中の入館者数比較表	52
9 各年度別企画コーナー・テーマ展示・コーナー展等の一覧	53
10 各年度別館外展示・写真展・1階エントランスのフリースペース・休息室ミニギャラリー展の一覧	55
11 来館者へのアンケート調査の実施	57

IX 高知県立歴史民俗資料館の指定管理者における業務状況評価(令和元年度)

X 施設の概要

1 沿革	69
2 施設の概要	70
3 岡豊山歴史公園	73
4 建設費など	73

XI 例規

高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例	74
高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則	79
高知県立歴史民俗資料館運営協議会会則	83
高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会設置要領	83
高知県立歴史民俗資料館資料調査員設置要綱	84
高知県文化財団カルチャーサポーター設置要綱	84

XII 令和2年度受贈・購入図書目録

I 展 示

令和2年度は、吊り天井改修工事のため9月7日から休館し、企画展は「補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺」、「土佐人 山本忠興と近代オリンピック」の2つの予定だったが、前年度末から社会を揺るがしてきた新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初の計画を大きく変更せざるを得なかった（詳細は「Ⅶ管理運営・マネジメント」参照）。4月10日から5月10日にかけて休館措置がとられ、「金剛福寺」展は会期を変更し、「山本忠興」展は次年度へ延期することになった。夏の企画展の代替企画として急遽コーナー展「疫病退散」を計画し、感染症対策をとりながら7月4日から開催した。2ヶ月あまりの限られた期間ではあったが、臨機応変の対応という今後の運営に生かすことができる取組ができたことを前向きに捉えなければならぬと考える。

1 企画展

第1回「補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺」

当初会期：令和2年4月24日（金）～6月28日（日）

上の会期を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため高知県から休館の指示があり、下記の期間に変更した。

会期：令和2年5月11日（月）～7月19日（日）

蹉跎山補陀洛院金剛福寺は四国の最南端、土佐清水市の足摺岬を見下ろす丘の中腹に位置し、弘法大師空海が開創したと伝えられる四国八十八ヶ所霊場第三十八番札所である。また、補陀洛（インドの南部にあるとされる観音菩薩の降臨する観音浄土）東門とされ、観音信仰の霊場として古代から知られている。

金剛福寺では、平成16年から平成31年度にかけて本尊の木造千手観音菩薩立像をはじめ、木造二十八部衆立像、風神・雷神像、両脇侍立像の木造不動明王・木造毘沙門天立像の解体修理が行われ、本尊からは胎内銘や経典等の貴重な胎内納入品が発見された。今回の企画展では、文化財修復の成果の一つとして、両脇侍立像と二十八部衆立像を修理後初めて一般公開した。併せて、「補陀洛東門」の扁額などを公開し、観音浄土に船出する補陀洛渡海について考え、当時の人々の祈りの世界に迫る企画とした。さらに、足摺岬の史跡にも目を向け、文化財を活用した観光についても考える機会とした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染防止のため、東京国立博物館からの経筒の借用を断念した。また、4～5月に計画していた講演会やワクワクワーク、ミュージアムトークを中止とした。開館後の講座は密にならないように定員を半分にして実施した。ミュージアムトークは、参加者が45人となり、展示室では密となるので、急遽会場を多目的ホールに移し、パ

ワー・ポイントを用いて説明し、各自展示室で作品を見学した。今回は今までにないコロナ対策下の企画で、休館などに伴い遠方への調査や展示作業、業者との協議などかなりの影響が生じた。展示会場も来館者が密にならないように3会場に分け、入場者数にも気をくばり、会場施設の消毒も行った。

担当：岡本・西山・岩根

観覧者：2,404人（5月431人・6月1,413人・7月560人）

- 展示会場** 1階企画展示室・2階エントランスホール
東パネル展示コーナー・3階総合展示室
中世のコーナー1ケース
- 主催** 高知県立歴史民俗資料館（公益財団法人高知県文化財団）
- 特別協力** 宗教法人金剛福寺、国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、有限会社泉企画
- 後援** 高知県教育委員会・高知新聞社・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知
- 観覧料** 大人（18才以上）700円、団体（20名以上）560円
無料：高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者（1名）

▼関連企画

●講座

令和2年6月6日（土）14時～15時半

場所：2階多目的ホール

講師：当館副館長 岡本桂典

演題：「仏教考古学講座 お経のタイムカプセル
—経塚—」

参加者：36名

令和2年6月20日（土）14時～15時半

場所：2階多目的ホール

講師：当館副館長 岡本桂典

演題：「仏教考古学講座2 お経のタイムカプセル
—土佐の経塚—」

参加者：54名

●ミュージアムトーク

③令和2年6月14日（日）14時～14時半

講師：岡本

場所：多目的ホール

参加者：45名

※新型コロナウイルス感染防止のため中止となった
関連企画

●講演会

令和2年4月26日(日) 14時～16時
場所：2階多目的ホール
講師：四国霊場第三十八番 金剛福寺住職
長崎勝教氏
演題：「蹉跎山金剛福寺」

令和2年5月9日(土) 14時～16時
場所：2階多目的ホール
講師：(公財)中村元東方研究所 専任研究員
慶應義塾大学講師 田中公明氏
演題：「二十八部衆の起源」

●ワクワクワーク

令和2年5月4日(月・祝)10時～12時・14時～16時
講師：当館職員
内容：「仏像の切り絵体験」

●ミュージアムトーク

- ①令和2年5月5日(火・祝)14時～14時半
講師：岡本
- ②令和2年5月24日(日)14時～14時半
講師：岡本

●印刷物

- 1 ポスター B2 片面カラー 1,500枚
- 2 ちらし A4 両面カラー 30,000枚
- 3 観覧券2種 17.0×6.0cm 表カラー・裏白黒
6000枚
- 4 パンフレット A5 30頁カラー
800部

●県道入口看板 縦120cm×横237.5cm(表・裏) 1枚

●車寄部看板 縦147cm×横331.5cm 1枚

●解説パネル・キャプション等

(1) 解説パネル

- ① A1 4枚
- ② A3 5枚
- ③ 半切 2枚
- ④ 30×30cm 9枚
- ⑤ A4ハリパネ 29枚
- ⑥ A3ハリパネ 1枚
- ⑦その他ハリパネ(5×13cm) 1枚
- ⑧ 〃(3.5～6.5cm)×(9～15cm) 25枚
- ⑨ 〃(16×18cm) 1枚

(2) 写真パネル

- ① 1220×1600cm 2枚
- ② B1 4枚
- ③ A3 36枚
- ④ A3ハリパネ 2枚
- ⑤ A4ハリパネ 2枚

(3) キャプション等

- ① 6×18cm 13枚
- ② 6×11cm 10枚
- ③ 5×19cmハリパネ 32枚
- ④ その他ハリパネ(20.5×91cm) 1枚
- ⑤ 〃(10.5×37.5cm) 2枚
- ⑥ 〃(11×15cm) 2枚
- ⑦ 〃(9.5×18cm) 1枚

●資料一覧

【第1会場・1階企画展室】(P)はパネル展示

◆本尊(千手観音立像)両脇侍立像と二十八部衆立像、
木造風神像、木造雷神像

- 1 木造不動明王立像 金剛福寺 1軀
- 2 木造毘沙門天立像 金剛福寺 1軀
- 3 木造多聞天立像 金剛福寺 1軀
- 4 木造東方天立像 金剛福寺 1軀
- 5 木造毘楼博叉天立像 金剛福寺 1軀
- 6 木造摩睺羅伽王立像 金剛福寺 1軀
- 7 木造満仙王立像 金剛福寺 1軀
- 8 木造散脂大将立像 金剛福寺 1軀
- 9 木造帝釈天立像 金剛福寺 1軀
- 10 木造大梵天立像 金剛福寺 1軀
- 11 木造畢婆伽羅王立像 金剛福寺 1軀
- 12 木造摩醯首羅王立像 金剛福寺 1軀
- 13 木造難陀竜王立像 金剛福寺 1軀
- 14 木造婆藪仙人立像 金剛福寺 1軀
- 15 木造密迹金剛力士立像 金剛福寺 1軀
- 16 木造摩和羅女立像 金剛福寺 1軀
- 17 木造那羅延堅固王立像 金剛福寺 1軀
- 18 木造神母天立像 金剛福寺 1軀
- 19 木造大弁功德天立像 金剛福寺 1軀
- 20 木造緊那羅王立像 金剛福寺 1軀
- 21 木造阿修羅王立像 金剛福寺 1軀
- 22 木造乾闥婆王立像 金剛福寺 1軀
- 23 木造金色孔雀王 金剛福寺 1軀
- 24 木造満善車王立像 金剛福寺 1軀
- 25 木造沙羯羅竜王立像 金剛福寺 1軀
- 26 木造金大王立像 金剛福寺 1軀
- 27 木造金毘羅王立像 金剛福寺 1軀
- 28 木造五部浄居天 金剛福寺 1軀
- 29 木造迦楼羅王立像 金剛福寺 1軀
- 30 木造毘楼勒叉天立像 金剛福寺 1軀
- 31 木造風神像 金剛福寺 1軀
- 32 木造雷神像 金剛福寺 1軀
- 33 補陀洛東門扁額 金剛福寺 1面

◆本尊千手観音立像胎内納入品

- 34～51 結縁紙札・経典(P) 18枚

◆本尊両脇侍及び二十八部衆胎内墨書銘

- 52 脇侍木造毘沙門天立像頭部前面材裏墨書(P) 1枚
- 53 脇侍木造不動明王立像頭部前面材裏墨書(P) 1枚
- 54 木造二十八部衆多聞天立像背面胎内墨書・木造
二十八部衆大弁功德天立像面部裏墨書(P) 1枚

55～56 木造毘沙門天立像体部背面材胎内納入品(P)

2枚

【第2会場・2階エントランスホール】

◆足摺岬の霊跡

- 57 四國第三拾八番土佐國足摺山圖 (P) 1枚
- 58 力の石 (P) 1枚
- 59 ゆるぎの石 (P) 1枚
- 60 不増不減の手水鉢 (P) 1枚
- 61 根笹 (P) 1枚
- 62 汐の満干手水鉢 (P) 1枚
- 63 経塚 (P) 4枚
- 64 一夜建立ならずの鳥居 (P) 1枚
- 65 亀呼場 (P) 1枚
- 66 大師爪彫石 (P) 1枚
- 67 地獄の穴 (P) 1枚
- 68 亀石 (P) 1枚
- 69 犬塚 (P) 1枚

【第3会場・3階 総合展示室(中世3-e ケース)】

- 70 経筒 (P) 東京国立博物館 1枚
- 71 経筒 (P) 東京国立博物館 1枚
- 72 経筒片(大木戸経塚 参考展示) 当館蔵 8片
- 73 碇(四万十市船戸遺跡) 高知県立埋蔵文化財センター 1基
- 74 定補船所職状(金剛福寺文書)複製 金剛福寺 1通
- 75 鰐口 金剛福寺 1口
- 76 千手観音立像懸仏 金剛福寺 1面

- 77 四國第三拾八番土佐國足摺山圖 当館蔵 1枚
- 78 四国納経帳 附清正公寶守 個人蔵 1冊
- 79 奉納大乘妙典 当館蔵 1冊
- 80 四國徧禮道指南増補大成 当館蔵 1冊
- 81 八十八ヶ所御詠歌四國道中記 当館蔵 1冊
- 82 改正四國徧路店中記 当館蔵 1冊

※下記は7月18日～19日の間展示変更した。

- 83 青磁酒海壺 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 84 青磁碗 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 85 紀伊型甕 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 86 紀伊型鍋 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 87 紀伊型土釜 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 88 緑釉皿 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 89 白磁皿 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 90 梅瓶 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 91 壺 高知県立埋蔵文化財センター 1点
- 92 タイ産壺 高知県立埋蔵文化財センター 1点

(83～92は、四万十市坂本遺跡出土遺物)

○展示構成

◆【2階多目的ホール】

映像作品

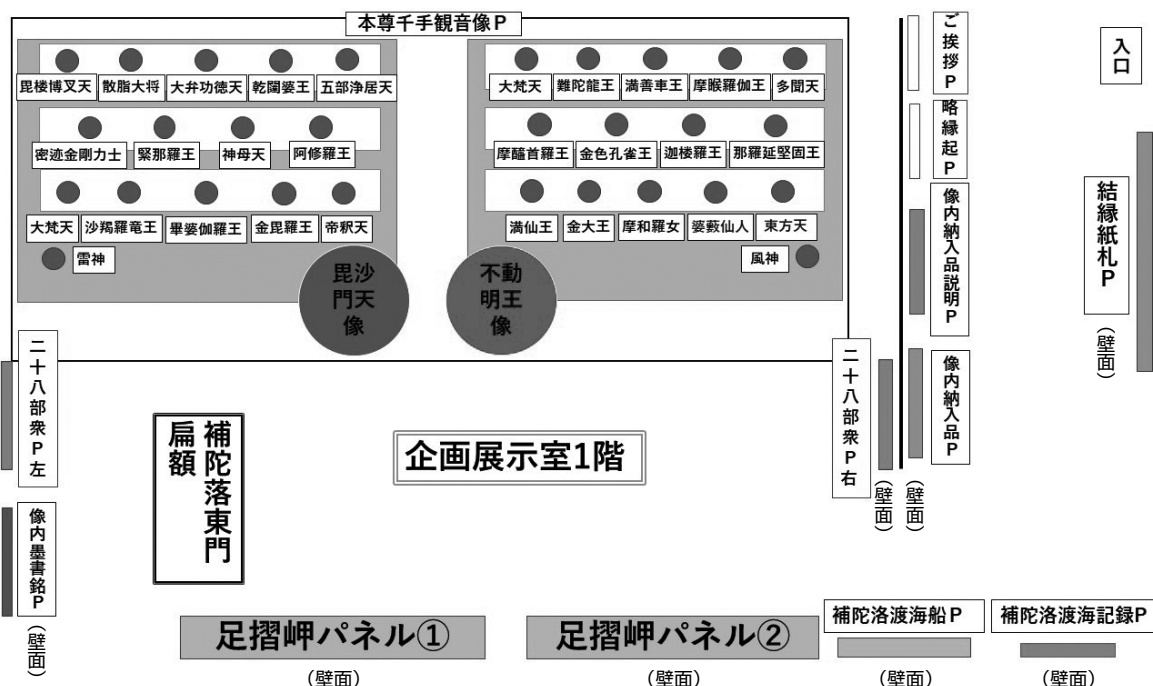
(製作 一般社団法人先端イメージング工学研究所
京都大学名誉教授 井出亜里氏)

映像公開協力 金剛福寺

『霊地—足摺岬と金剛福寺』

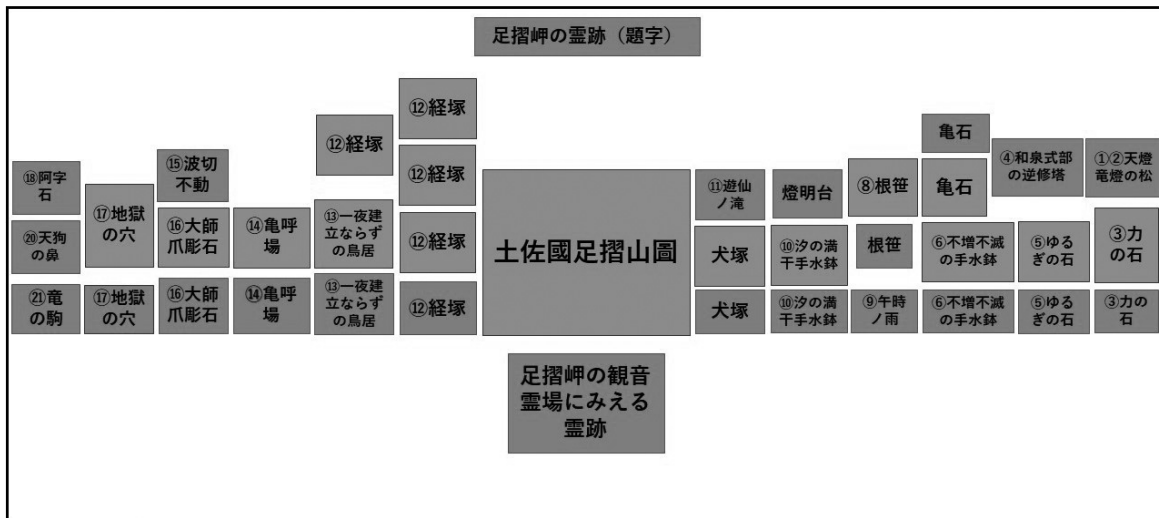
- ①金剛福寺 空撮映像 7' 44"
- ②金剛福寺 解説 5' 45"
- ③足摺岬 空撮映像 5' 05"

●1階企画展示室平面図



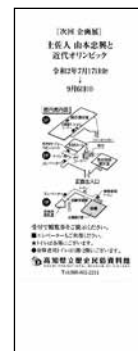
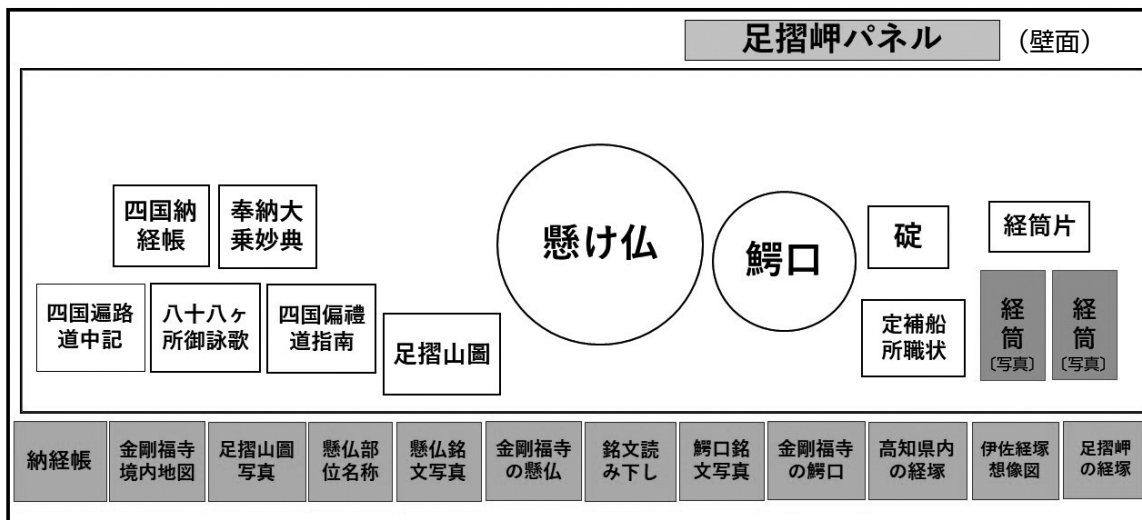
● 2階エントランス立面図

2階エントランスホール



● 3階中世 (3-e) 展示コーナー平面図

3階展示室中世コーナー



チラシ

観覧券



B2 ポスター



講座1 6月6日(土)



講座2 6月20日(土)



車寄せ看板



1階企画展示室展示風景①



県道入口看板



1階企画展示室展示風景②



ミュージアムトーク 6月14日(日)



1階企画展示室風景③



1 階企画展示室風景④



2 階エントランスホール



3 階総合展示室展示風景

第2回「土佐人 山本忠興と近代オリンピック」

当初会期：令和2年7月17日(金)～9月6日(日)

令和3年度に延期

新型コロナウイルス感染症の拡大により全国に緊急事態宣言が出されたため(4月7日～5月31日)、東京など県外からの資料借用が不可能となり、オリンピック展を当初予定していた上記の会期で開催することはできなくなった。このため、県発注の吊り天井改修工事による休館(9月7日～2月28日)後の3月26日(金)～5月16日(日)に会期を変更したが、同工事の工期も約2ヶ月延長され、3月中には再開館できない事となった。このため、再度の会期延長が必要となり、令和3年7月16日(金)～9月5日(日)に開催することとした。

担当：石畑

2 通常展展示構成

総合展示室

イントロダクション		
原始・古代	3-a 狩りに生きる旧石器時代 自然と生きた縄文時代	1 高知の旧石器時代の遺跡 2 高知の縄文遺跡
	3-b 弥生稲作の世界	1 弥生初頭のムラ - 田村遺跡群 - 2 土佐の武器形青銅器 3 弥生人の絵
	3-c 古墳の造られた時代	1 土佐の古墳 2 小蓮古墳 3 神まつり
	3-d 古代の土佐	1 律令制下の土佐 2 貴族と寺社と荘園 3 経塚を造る
仏の間		
中世	3-e 中世の土佐	1 武士と荘園 2 中世のくらしと文化 3 田村遺跡の中世環溝屋敷群模型
近世	3-f 藩政のはじまり	1 高知城の築城 2 兼山と新田開発 3 城下町にくらす人々
	3-g 近世の産業	1 材木と浦 2 捕鯨と鰹漁
	3-h 維新の胎動	1 ゆらく封建社会 2 海防意識の高まり 3 攘夷から倒幕へ
近・現代	3-i 近代化と戦争	1 高知県の誕生 2 高知県とブラジル移民 3 近代の産業 4 戦時下の高知県
民俗	3-j まつりと祝い	1 絵金のでる夏祭り 2 まつり 3 人生の祝い 4 まつりの一年
	3-k 死者を送る	1 霊を送る 2 死霊への恐れ 3 墓
	3-l 神と妖怪	1 土佐の妖怪 2 いざなぎ流
俗	3-m 高度経済成長の時代	1 生活の変化 2 メディアの時代
	3-n 高知県のイメージ	1 観光の土佐 2 再発見される高知県
	海に生きる人びと	1 漁師の技 2 カツオの一本釣り 3 鰹節をつくる
	山にくらす人びと	1 自然を活かしたくらし 2 山の資源と仕事

長宗我部展示室

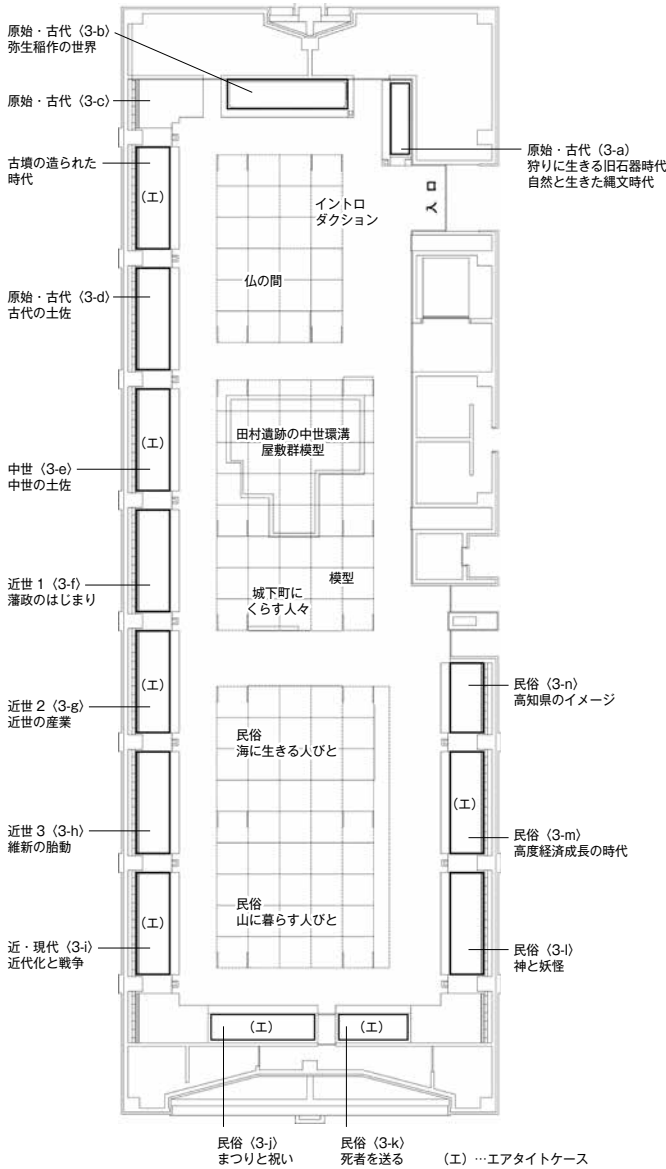
出合いのゾーン		
体感ゾーン		
学びのゾーン	I 秦氏から長宗我部氏へ	1 長宗我部氏の台頭 2 群雄割拠の時代
	II 戦国大名への道	1 元親の土佐平定 2 元親は外交上手 3 信長・秀吉との対決 4 信親への英才教育
	岡豊城跡	
	III 豊臣家への奉公	1 運命の戸次川合戦 2 岡豊から浦戸へ 3 元親・盛親の苦悩
	IV 長宗我部氏の滅亡	1 関ヶ原へ出陣 2 盛親の最期

3 映像資料一覧

AVコーナー

歴史	歴史に息づく進取と開明	27' 14"
	土佐の国司・紀貫之	7' 04"
	野中兼山の残したもの	6' 54"
	幕末を駆け抜けた男・坂本龍馬	6' 40"
	館周辺の文化財散歩	8' 02"
	クレイアニメ 長宗我部元親 - 初陣編 -	25' 12"
考古	土佐の洞穴・岩陰遺跡	7' 43"
	水田跡は語る	4' 13"
	地下から蘇る農耕遺跡	2' 58"
	田村中世環溝屋敷群	4' 03"
	中世の村を歩く I	4' 39"
	中世の村を歩く II	4' 41"
民俗	土佐の祭りと民俗芸能 I	5' 47"
	吉良川の御田祭	
	土佐の祭りと民俗芸能 II	13'
	須崎市野見の潮ばかり	
	土佐の祭りと民俗芸能 III	13'
	えんこう祭り	
	土佐の祭りと民俗芸能 IV	28'
	本川神楽	
	海・山のうた	12' 30"
	- 土佐の祭りと民俗芸能 -	
	土佐の鰹漁	3' 57"
	木と山師たち	4' 06"
稲作の一年	4' 53"	
土佐の鍛冶屋	8' 11"	
土佐路の遍路	8' 14"	

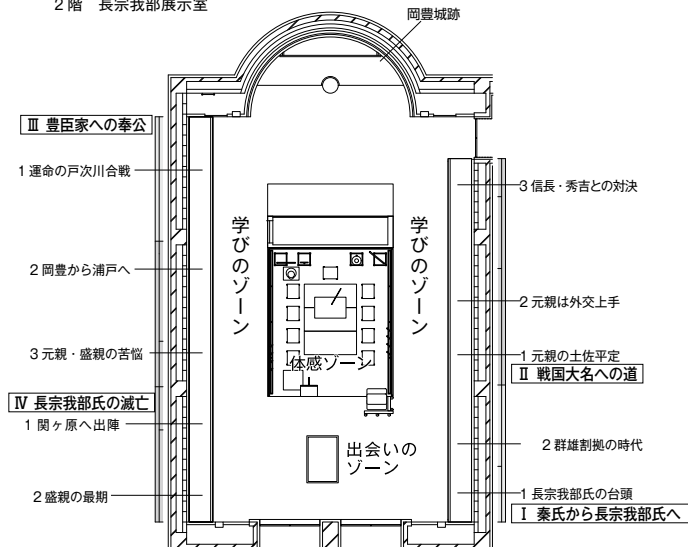
3階 総合展示室



総合展示室

考古	水田跡は語る	4' 13"
	地下から蘇る農耕遺跡	2' 58"
	田村中世環溝屋敷群	4' 03"
	中世の村を歩く I	4' 39"
	中世の村を歩く II	4' 41"
民俗	土佐の鰹漁	3' 57"
	木と山師たち	4' 06"
	稲作の一年	4' 53"
	盆行事のさまざま (データベース)	
	高知県の祭りと芸能 (データベース)	

2階 長宗我部展示室



4 コーナー展

◆総合展示室

1 疫病退散

期 間：令和2年7月4日（土）～9月6日（日）

担 当：梅野・中村・岡本

観覧者数：2,824名

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、春頃からSNSやテレビなどで江戸時代に描かれた疫病退散に効験があるというアマビエの絵が話題になった。高知にも同じく疫病除けになるとされた姫魚の絵が伝えられており、当館に寄託されていることから、コロナウイルスの終息を願って、4月27日から総合展示室の「神と妖怪」コーナーで「姫魚」1点の特別展示を始めた。この展示は「れきみんの日」の企画のひとつであり、9月6日（日）まで展示する予定であった。

その後、夏に予定していた企画展「山本忠興とオリピック」の延期が決定したことから、姫魚のほかに、安政年間に流行したコレラの状況を記録した「真覚寺日記」、物部町の民間信仰・いざなぎ流に伝わる病気の神の物語「てんげしょう祭文」、考古資料の呪符、疱瘡除け・病気除けの郷土玩具をあわせて紹介するコーナー展「疫病退散」を急遽開催することにした。

企画展を掲げる予定だった県道入口と車寄部看板についても「姫魚」をメインにしたデザインとし、9月6日までの開館時と、9月7日以降の休館中では一部を貼り替えるなど変化させながら、次の企画展「わたしたちの30年」に変わるまで、姫魚の絵を使用し、コロナ終息を祈る意味もこめた。コーナー展の資料が看板のメインに出るのは初めてのことである。

アマビエブームの影響で、新聞やテレビなどマスコミの取材は多かった。

●県道入口看板 縦120cm×横237.5cm（表・裏）1枚

●車寄部看板 縦147cm×横331.5cm 1枚

●解説パネル・キャプション等

①コーナータイトル 1枚

②A2 1枚

③キャプション 4枚

④30×30パネル 8枚

⑤B5貼りパネ 3枚

●資料一覧

1 姫魚の絵 四万十町 西尾学氏蔵 1点

2 土佐国職人絵歌合「博士」（複製）

原資料 高知市立市民図書館蔵 1点

3 天藝正祭文（「荒神祭文 祭文縛帳」）

香美市物部町笹 森安幸光氏蔵 1点

4 天下清祭（「祭文縛」）

香美市物部町笹 森安幸光氏蔵 1点

5 天藝正祭文（「諸祭文全」）

香美市物部町笹 森安幸光氏蔵 1点

6 大般若経転読札（複製） 南国市田村城館跡

大永7年（1527）

原資料は高知県立埋蔵文化財センター蔵 1点

7 大般若経転読札 高知市春野町芳原城跡
明応2年（1493） 1点

8 木製呪符 四万十市森沢船戸遺跡 14世紀
高知県立埋蔵文化財センター蔵 1点

9 地震日記（真覚寺日記）四 安政5年（1858）
土佐市宇佐町真覚寺蔵 1冊

10 地震日記（真覚寺日記）五 安政6年（1859）
土佐市宇佐町真覚寺蔵 1冊

11 地震日記（真覚寺日記）六 安政7年（1860）
土佐市宇佐町真覚寺蔵 1冊

12 普門品偈 昭和19年（1944）
香美市物部町笹 森安幸光氏蔵 1点

以下は山崎茂氏寄贈郷土玩具コレクション

13 神農の虎（大阪府） 1点

14 笹野才蔵 古型博多人形（福岡県） 1点

15 赤べこ 会津張り子（福島県） 1点

16 狸々（滋賀県） 1点

17 鴻巣の赤物（埼玉県）

獅子金、鯛車、狸々、だるま 4点

18 ほうこさん 高松張り子（香川県） 1点

19 黄鮒（栃木県） 1点

20 だるま 高崎達磨（群馬県） 1点

21 蘇民将来（長野県信濃国分寺、山形県笹野一刀彫、

京都府八坂神社、福岡県八坂神社、兵庫県祇園

神社、宮城県陸奥国分寺、長野県信濃国分寺八日堂）

7点

22 コロナ退散の虫送りの幟 越知町柴尾 1点

23 越知町柴尾の虫送り写真(P) 平成2年5月27日

1枚

24 2020年の虫送り写真(P) 令和2年6月28日

1枚

25 いの町長引の七夕写真(P) 1枚



疫病退散 看板写真



休館中 看板写真



姫魚 展示風景写真



疫病退散 展示風景写真

2 干支の玩具 丑

当初会期：令和3年3月1日(月)～令和3年4月11日(日)
令和3年度に延期

吊り天井改修工事の延長にともない、再開館が当初の令和3年3月1日(月)から令和3年4月29日(木)に変更になったため、次年度に延期することとした。下記のプレ関連企画は、新型コロナウイルスの感染症拡大対策を行い、旧味元家住宅主屋(山村民家)で実施した。

担当：中村・佐藤

●ワクワクワーク

○土佐和紙漆喰張り子 うしの絵付

令和2年10月3日(土)13時30分～15時30分

講師：草流舎 田村雅昭氏ほか

場所：当館旧味元家住宅主屋(山村民家)

参加者：17名

◆長宗我部展示室

本年度は実施なし

5 フリースペース・ミニギャラリー展示

1 第15回岡豊山フォトコンテスト作品展

※展示は令和3年3月を予定していたが休館期間延長のため、令和3年度(7、8月)に延期。

内容：フォトコンテストの募集、審査は次のとおり。

一般部門38点、ケータイ・スマホ部門22点、合計60点の応募があった。11月15日(日)に天然写真家前田博史氏、当館館長等が審査を行い各賞を選出した。休館中ではあるが、季節折々の作品や応募者獲得を狙い、フォトカレンダーを作成した。なお、令和3年度の作品展開催中に来場者の投票による「みんなのお気に入り賞」を決定し、展示最終日に表彰式を行う予定である。

2 県民参加型展示企画

写真展名	期間	場所
「鏡川写楽の会」写真展	令和2年3月25日(水) 4月9日(木) 全16日間	フリースペース
野澤文夫写真展 「四国遍路より 祈」	令和2年5月18日(月) 7月19日(日) 全62日間	フリースペース

3 エントランスホール

①天然写真家前田博史写真展

「海の処方箋～交わるところ～」

期間：令和2年3月23日(月)～4月5日(日) 14日間

内容：天然写真家・前田博史氏が捉えた海の写真約30点を紹介。

来場者数 4月1日～4月5日 354人

※全会期 973人



「海の処方箋」展示風景写真

Ⅱ 調査・研究と社会貢献

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための当館の臨時休館および調査先の諸機関が休館するなど、県内外への調査も少なからぬ影響を受けた。また、吊り天井改修工事への対応などもあり、調査研究事業は例年と比較すると減少した。

歴史・民俗分野では、株式会社高知放送の依頼を受けてラジオ番組「土佐絵馬物語」に取材協力・出演している。具体的な内容は「6. 社会貢献等」で担当者別に記す。

1 分野別の調査・研究

●考古

本年度は、令和2年度のCOVID-19のため十分な調査ができなかった。また「蹉跎山金剛福寺」展は、企画展示室ですべての作品を展示すると来館者が密になるため、急遽3カ所に展示を分散して行うこととし、変更に伴う金剛福寺の関連資料の追加調査を行った。

現在、土佐国分寺跡の寺域調査に伴う発掘調査が継続されている。当館では、南国市教育委員会の依頼を受け、寺域確認のための発掘調査の指導を行った。

令和2年度四国遍路関係資料の調査研究に向けた準備会のため高知県内の金石文関係資料の内、石造物や神社の遍路の落書きの調査を行い、資料一覧を作成した。

●歴史

本年度も例年通り、寄贈・寄託、一時預かり資料の基本台帳整備、データ入力のための基礎調査を行った。また、企画展・コーナー展開催に向けた予備調査を実施した。それに加え、図録『史料で読み解く長宗我部氏』作成のため、館蔵史料の再調査を行い、高知大学教授津野倫明氏から所見をご教示いただいた。

併せて、「高知県立歴史民俗資料館所蔵山内忠義発給文書」執筆のため、館蔵史料の再調査を行い、福岡市史編さん室の八嶋義之氏から釈文などのご助言をいただいた。

●民俗

本年度も引き続き、山崎茂氏寄贈郷土玩具等の調査を行った。また、県教育委員会文化財課主体の高知県民俗芸能緊急調査が2年目に入った。新型コロナウイルス感染症防止のため、各地の祭りが中止や変更を余儀なくされたが、実施された祭りもあったため、調査を進めた。当館からは梅野が委員として協力し、中村と分担して調査を行った。

一方、コロナウイルス感染症で外出できない状況のなか、家庭での民俗資料の整理や廃棄が進んでおり、当館へも発見された資料に関する問合せがあった。室戸市の個人からの問い合わせに対しては、所蔵者から写真を見せてもらい、室戸ジオパークセンターに資料

の所見も含めて報告し、収蔵が可能となった。南国市でも同様の事例があった。

●美術工芸

企画展開催にあたり、土佐清水市金剛福寺所蔵作品の調査を継続して行った。また、香南市恵日寺が所蔵している木造十一面観音立像（国指定重要文化財）、木造大日如来坐像（金剛界・胎藏界）（いずれも国指定重要文化財）の計3軀を一時寄託するにあたり仏像が納められている堂の環境調査や検認作業を行った。大豊町教育委員会からは町内豊楽寺瑠璃光殿（護摩堂）に安置されている木造天部立像1軀の虫害被害が著しいとの報告があり、被害状況の調査を行い、燻蒸作業のため移動が可能かについても調査を行い協議した。

2 資料調査員

令和2年度は計35名であった。本年度は濱田真尚調査員に室戸市佐喜浜の虚空蔵菩薩像（6/27、写真による調査）、五台山土人形（7/5）、高知市春野町西分の大寺薬師（仏堂）の仏像群（7/23）を、池田十三生調査員に四万十町日野地の五台山土人形（7/1）を、目良裕昭調査員に南国市の学校資料（7/12）を、尾崎誠一調査員に佐川町岩井口の玄蕃踊り（8/2）、越知町片岡の盆踊り（8/14）、安田町の秋祭り（10/18）、黒潮町出口の秋祭り（10/25）、四万十町川口の民俗芸能（11/1）、四万十市竹屋敷・大用の民俗芸能（11/3）、高知市土佐山弘瀬の秋祭り（11/8）を、中脇修身調査員に琴平神社の普請図絵馬（10/20）を、岡林光穂調査員に土佐市蓮池の太刀踊り（11/3）を、中村茂生調査員に奈半利町の林業絵馬（12/16）を、溝渕博彦調査員に当館の山村民家（3/10）の調査をそれぞれ依頼した。

なお、平成19年度から調査員として活躍された香美市の上村敬介調査員が令和3年3月14日に急逝された。長年のご協力と指導に感謝するとともに、哀悼の意を表したい。

3 他機関との共同調査

●考古

①愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界巡礼研究センターとの情報交換を行った。今年度は、新型コロナウイルス感染症のため開催された研究会には参加できなかったが、企画展「蹉跎山金剛福寺」に関する調査成果の情報提供を行った。

②土佐国分寺跡調査指導委員会委員として、寺域発掘調査の指導と出土遺物の検討を南国市教育委員会と行った。他県の類例などを調査し、須恵器の専門家にも依頼した。

③土佐藩主山内家墓所整備活用委員会委員として現地

調査指導などを行い、土佐山内家墓所の墓標劣化の調査や現代における石垣修理などの可能性について高知城歴史博物館と検討した。

- ④土佐遍路道・札所寺院保存検討委員会委員として、室戸市金剛頂寺、安田町神峯寺・神峯神社の文化財調査について検討した。さらに、南国市禪師峯寺において石造物や伽藍の確認調査を行い、今後の調査方針を県文化財課と検討した。
- ⑤愛媛県宇和島市大乘寺に所在する市指定吉田藩主伊達家墓所の第2回吉田藩主伊達家墓所復興会議(8月17日)に参加し、宇和島市教育委員会と墓所の復興に伴う発掘調査及び復元の基本方針の検討を行った。10月15日に第4回吉田藩主伊達家墓所復興会議を行い、発掘調査の成果と今後の検討も行った。
- ⑥「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会「普遍的価値の証明」部の「四国遍路関係資料の調査研究」に向けた準備会に参加し、高知の四国遍路に関する資料の調査を行った。

●歴史

- ①高知県の学校資料を考える会の主催により、高知県立高知城歴史博物館の学芸員とともに、石畑が土佐清水市旧大津小学校の学校資料調査に参加した(6月12日・13日)。
- ②高知県の学校資料を考える会とともに、南国市立北陵中学校所蔵資料の調査を実施した(7月12日)。
- ③高知史料ネットワークとともに、個人蔵の軍医関係資料の調査を実施した(9月3日・8日、10月13日)。

●民俗

平成31年(令和元)度から令和3年度にかけて実施している高知県教育委員会文化財課主体の高知県民俗芸能緊急調査に梅野が委員として参加している。7月29日、12月4日、3月1日、6日、15日に打合会に参加した。調査は歴史としても共同で行うこととし、成果は当館企画展でも公開する予定である。

[梅野]

- 6月28日 越知町柴尾 虫送り
- 8月2日 佐川町岩井口・長竹・横山 玄蕃踊
日高村九頭 火文字
- 8月4日 佐川町室原 玄蕃踊
- 8月8日 中土佐町神母野・奈路 お施餓鬼
- 8月14日 四万十町下津井・下道 施餓鬼念仏
越知町片岡 盆踊り
- 8月17日 越知町横島 盆踊り
- 8月23日 四万十町日野地 こっば・こりゃせ
- 8月24日 四万十町小野 念仏
- 10月11日 安田町別所 太鼓台
- 10月17日 越知町桑藪五在所神社 神相撲
- 10月18日 三原村柚ノ木 花取踊
- 10月25日 黒潮町出口 お伊勢踊・さわらい・花取踊

- 11月1日 四万十町川口 花トビ踊
四万十町若井 花取踊
- 11月3日 四万十市竹屋敷 お伊勢踊・花トビ踊
四万十市大用 花取踊
- 11月5日 四万十町広瀬 花取踊、八社神楽
いの町八代 農村歌舞伎
- 11月6日 いの町新川 行者様
- 11月8日 四万十町相去 お神楽
- 11月12日 佐川町斗賀野 花取踊
四万十町井崎 花トビ踊
- 11月17日 四万十町戸川 花トビ踊
- 11月19日 津野町芳生野 津野山古式神楽
- 11月20日 四万十町小野 花トビ踊・八社神楽
- 11月24・25日 四万十町下津井 冬申し
(神楽・牛鬼・花トビ踊・八社神楽)
- 12月8日 仁淀川町成川 安居神楽
- 1月3日 津野山神楽(県立美術館)
- 1月7日 いの町小川高岩 百万遍
- 1月16日 禰原町東川ほか 胴の口開け
- 3月3日 禰原町下西ノ川 お伊勢踊り
- 3月21日 禰原町東川 お伊勢踊り
- 3月23日 中土佐町上ノ加江
(8月8日、11月6日、1月7日以外は公休)

[中村]

- 8月17日 越知町横島 盆踊り
- 10月18日 須崎市大谷 花取踊
- 10月25日 黒潮町出口 さわらい・花取踊
- 11月3日 高知市大利 太刀踊
- 3月23日 中土佐町上ノ加江 初午大祭
(いずれも公休)

●美術工芸

本年度なし。

4 個別の調査・研究

岡本桂典

- ①明治以降に神社に植栽された植物と土佐藩主山内家墓域に分布する植物について、比較検討するためにいの町相本神社にて植栽調査を行った。その成果の一部については、雑誌に報告する予定。
- ②土佐湾沿岸の津波痕跡と隆起沈降について、現地調査と文献調査、発掘調査における津波痕跡や隆起沈降についての調査を行い、その成果の一部を雑誌に掲載した。
- ③新型コロナウイルス感染症防止に伴い考古学的に感染症の事例について調査、文献収集を行い、感染症と考古学の事例として企画コーナー「疫病退散」で紹介した。
- ④高知県の博物館史について青山文庫の博物館関係資料を調査し、土佐で最初の考古資料の展示が青山文庫で行われたことを突きとめた。その背景について

も調査し、単行本に掲載した。

- ⑤岡豊山古墳について考古学史的な調査を行っているが、昭和期の発掘についての記述のある資料を確認した。
- ⑥土佐藩主山内家墓所と高知城の立地について、調査を実施し、その成果を雑誌に掲載予定。
- ⑦3階総合展示室のケース内のカビの発生とチャタテムシの関係を調査し、その原因の一つが雨水の配管からの雨漏りによるものであることを確認、建築の平面図面や展示ケースの床下の調査を毎日行った。このケースについては、解体後配管工事を行い復元したが、この工事に至る過程について紀要などに掲載する予定。

曾我満子

- ①令和3年度開催予定の企画展「わたしたちの30年」の調査を行った。
- ②受贈資料（木村剛朗氏撮影写真資料等）一覧の作成のための文献と比較調査を行った。

西山浩生

- ①企画展「補陀洛東門開く 金剛福寺」の資料（作品）借用に伴う金剛福寺所蔵作品の調査に同行した。
- ②館の事業説明と併せ、各市町村（学校組合）教育委員会における小中学校の校外学習の現状について教育普及調査の一環として聞き取り調査を行った。
以下、聞き取り調査を行った教育委員会の町教育委員会、佐川町教育委員会、越知町教育委員会、日高村佐川町学校組合教育委員会、日高村教育委員会、高知県教育委員会東部教育事務所（10月23日）
南国市教育委員会、高知市教育委員会（10月26日）
土佐町教育委員会、大川村教育委員会（10月27日）
仁淀川町教育委員会、須崎市教育委員会、大豊町教育委員会（10月28日）
高知県教育委員会西部教育事務所、四万十市教育委員会、宿毛市教育委員会、土佐清水市教育委員会、黒潮町教育委員会（11月2日）
津野町教育委員会、梶原町教育委員会、中土佐町教育委員会、四万十町教育委員会、土佐市教育委員会（11月4日）
三原村教育委員会、大月町教育委員会（11月12日）
本山町教育委員会（11月17日）

石畑匡基

- ①企画展「土佐人 山本忠興と近代オリンピック」の関連調査として高知県立県民体育館などへ調査に赴いた。
- ②企画展「長宗我部氏とその時代」及び企画展「土佐相撲の系譜」（仮）の関連調査として岡山大学附属図書館、久留米市立有馬記念館、大分県立歴史博物

館、山口県文書館へ調査・視察に赴いた（令和2年11月18日～20日）。

- ③社会経済史学会中国四国部会高知大会・高知近代史研究会第103回研究会の準備調査のため、個人蔵の満州建設勤労奉仕隊参加記念アルバムの調査を実施した。
併せて、その成果の一部を論文「満州建設勤労奉仕隊徳島県隊『アルバム』について」（満洲の歴史を語り継ぐ高知の会編『満洲の歴史を語り継ぐ集い記録集』）として公表した。
- ④図録『史料で読み解く長宗我部』作成の関連調査として、高知県立高知城歴史博物館などへ調査に赴いた。
- ⑤土佐藩政史の研究として、県内諸機関（高知県立高知城歴史博物館、オーテピア高知図書館など）へ資料調査及び撮影に赴いた。
その成果の一部は、『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第25号（「5. 研究成果の公表」の「当館刊行物」）と「公表論文・報告、学会・研究会での発表」の石畑論文③④として公表した。

梅野光興

- ①中土佐町教育委員会の要請を受けて、中村とともに民具を視察した（1月28日）。また佐川町（8月4日）と室戸市（2月4日）所蔵の民具の視察も行った。個人からの連絡を受けて、中村と中土佐町久礼（6月5日）、石畑と高知市長浜（9月2日）、越知町（10月17日）、安芸市（2月4日）で民具等の調査を行った。
- ②令和3年度の企画展のために、曾我とともに高知県庁と高知市春野郷土資料館の資料調査を行った（1月13日）。

中村淳子

- ①コーナー展「干支の玩具 丑」に関連して山崎茂氏寄贈郷土玩具コレクション等を調査した。

5 研究成果の公表

●当館刊行物

『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第25号 2021年研究ノート 石畑匡基「山内忠義発給文書目録稿」史料紹介 石畑匡基「高知県立歴史民俗資料館所蔵山内忠義発給文書について」

●公表論文・報告、学会・研究会での発表

岡本桂典

- ①「報告書・会誌新刊一覧」『季刊考古学』第151号 令和2年4月（株）雄山閣
- ②「報告書・会誌新刊一覧」『季刊考古学』第152号 令和2年8月（株）雄山閣
- ③「報告書・会誌新刊一覧」『季刊考古学』第153号 令和2年10月（株）雄山閣
- ④「報告書・会誌新刊一覧」『季刊考古学』第154号 令和3年1月（株）雄山閣

- ⑤小山田和夫・井上博文・岡本桂典『日本仏教全集叢書資料総覧』総目次篇Ⅰ／総目次篇Ⅱ／総索引篇全3巻 オンデマンド書籍 方丈堂出版
- ⑥「口絵」、「土佐湾沿岸の津波痕跡と隆起沈降」『季刊考古学』特集—津波と考古学— 第154号 令和3年1月
- ⑦「高知県の博物館史と考古学史」『21世紀の博物館学・考古学』青木豊先生古稀記念発起会編 (株)雄山閣 令和3年2月25日
- ⑧「四国遍路と世界の巡礼 42 愛大研究センター通信 霊地足摺岬」『へんろ』第441号 伊予鉄不動産株式会社「へんろ」編集部 四国八十八ヶ所霊場会

石畑匡基

- ①「満洲建設勤労奉仕隊と満蒙開拓団—徳島県隊「アルバム」を事例として—、社会経済史学会中国四国部会高知大会・高知近代史研究会第103回研究会、令和2年11月28日(土)・29日(日)、高知市立自由民権記念館
- ②「陸奥三春城主松下長綱の改易と土佐山内家への「御預」」(『海南史学』58号、2020年)
- ③「鷹場にまつわる罪と罰」(奥四万十山の暮らし調査団編『土佐中東部の荘園故地を歩く 第2分冊』、2021年)
- ④「満洲建設勤労奉仕隊徳島県隊『アルバム』について」(満洲の歴史を語り継ぐ高知の会編『満洲の歴史を語り継ぐ集い記録集』、2021年)

梅野光興

- ①「四国お宝巡礼 姫魚の絵」朝日新聞 5月5日

中村淳子

- ①「鬮鶏」(吉原健一郎(他編)『郷土史大系 宗教・教育・芸能・地域文化』朝倉書店、2020年)
- ②「人生の写真」(小林勝利『おもかげの昭和へ』飛鳥出版室、2020年)

6 社会貢献等

各種委員会委員、大学、一般向けの講師、広報目的以外のテレビ・ラジオ出演、研究会の役員など

岡本桂典

- ①高知県文化財保護審議会委員 令和2年5月1日～令和3年4月30日
- ②令和2年度高知県文化財専門委員 令和2年6月1日～令和3年3月31日
- ③高知県史編さん基本方針策定準備検討委員会 令和元年8月22日～
- ④土佐藩主山内家墓所整備活用委員会委員 令和2年7月1日～令和4年3月31日
- ⑤土佐遍路道・札所寺院保存検討委員会委員 令和2年6月1日～令和4年3月31日

- ⑥土佐国分寺跡調査指導委員会委員 令和2年9月1日～令和4年3月31日
- ⑦高知城磨き上げ検討委員会アドバイザー 平成30年11月1日～令和5年10月31日
- ⑧南国市文化財保護審議会委員 令和2年4月1日～令和4年3月31日
- ⑨立正大学史学会評議委員(令和2・3年度) 令和2年7月1日～令和3年6月30日
- ⑩公益財団法人高知新聞厚生文化事業団平尾学術奨励賞の選考に関する委員会委員 令和元年6月4日～令和3年6月定時評議委員会最終の時まで
- ⑪石造文化財調査研究所 本部東京 四国支部研究員
- ⑫(公財)高知市文化事業団「写真コンテスト・高知を撮る」選考委員 令和3年2月10日
- ⑬「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会「普遍的価値の証明」部「令和2年度四国遍路関係資料の調査研究に向けた準備会」
- ⑭埼玉県朝霞市教育委員会『蛇窪遺跡第2地点発掘調査報告書』、『朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報9-弁財上・弁財谷遺跡第1地点・天ヶ久保第三遺跡第2地点-』報告書作成助言

西山浩生

- ①公益財団法人高知県文化財団令和3年度文化事業助成金審査委員 (令和3年3月11日、3月20日)

石畑匡基

- ①本山町本山城調査・検討委員 平成29年6月1日～令和2年5月31日
- ②「日本文化史Ⅱ」非常勤講師 国立大学法人高知大学 令和2年10月7日～令和3年1月27日
- ③RKCラジオ「土佐絵馬物語」12月3日放送(収録は10月20日)
- ④「高知市長浜・浦戸周辺の史跡案内」、土佐観光ボランティア協会研修、10月27日、高知市長浜・浦戸周辺
- ⑤「文学マイスター講座」、高知県立文学館、「殿様のスポーツ」(2月27日)、「民衆が親しんだスポーツ」(3月27日)。
- ⑥高知海南史学会 運営委員
- ⑦社会経済史学会中国四国部会 理事
- ⑧四国地域史研究連絡協議会 世話人

梅野光興

- ①RKCラジオ「土佐絵馬物語」(第2回「祭り・人々の暮らし1」夜須町宝田神社 4月9日/第3回「祭り・人々の暮らし2」夜須町宝田神社 4月16日/第4回「神話と絵馬」夜須町八王子宮 4月23日/第5回「神幸図」夜須町八王子宮 4月30日/第

11回「神札を拾うの図」南国市琴平神社 6月4・11日／第12回「直会絵馬」香美市須賀神社 6月18日／第21回「酒造絵馬」南国市琴平神社 8月20日／第22回「平田舟」南国市琴平神社 8月27日／第34回「普請図」南国市琴平神社 11月19日／第41回「星神社」北川村星神社 1月14日／第42回「お弓まつり」北川村星神社 1月21日／第45回「大川上美良布神社」香美市大川上美良布神社 2月11日／第46回「流材人夫図」香美市大川上美良布神社 2月18日／第47回「祭礼図」佐川町白倉神社 2月25日／第49回「酒造図」高知市朝峯神社 3月11日／第51回「2020年度振り返り」3月25日 ※月日は放送日

収録日は、5月18日琴平神社、直会絵馬、7月28日琴平神社(酒造家+平田舟)、10月20日琴平神社(普請図)、12月16日北川村・奈半利町、1月21日香美市香北町・佐川町斗賀野、2月24日高知市介良の6回。3月8日に振り返りの収録と次年度の打合せを行った。

- ②「地域学概論」高知県立大学文化学部の宇都宮千穂准教授の授業の中でインタビューによる協力。2020年6月18日収録
- ③国立歴史民俗博物館共同研究員「地域における歴史文化研究拠点の構築」(令和2年4月1日～令和3年3月31日)
- ④高知県文化財保護審議会委員(令和2年5月1日から令和4年4月30日)。1月29日の文化財保護審議会に出席。
- ⑤高知県民俗芸能緊急調査委員会委員(令和元年5月20日～令和4年3月31日)
- ⑥高知市文化財保護審議会委員(令和2年6月1日～令和4年5月31日)6月10日の第1回文化財保護審議会へ出席(職免)
- ⑦香南市文化財保護審議会委員(令和2年4月1日～令和4年3月31日)1月18日に文化財保護審議会に出席(職免)
- ⑧四国民俗学会 理事
- ⑨四国民具研究会 幹事
- ⑩民俗芸能学会評議員

中村淳子

- ①RKCラジオ「土佐絵馬物語」(第16回「鰹図」黒潮町 上川口天満宮、7月16日／第17回「鰹一本釣漁図」黒潮町 上川口天満宮、7月23日／第18回「矢井賀大神宮」中土佐町 矢井賀大神宮、7月30日／第19回「鰹一本釣漁図」中土佐町 矢井賀大神宮、8月6日／第25回「津呂王子宮」室戸市 津呂王子宮、9月17日／第26回「古式捕鯨図」室戸市 津呂王子宮、9月24日／第27回「羽根八幡宮」室戸市 羽根八幡宮、10月1日／第28回「珊瑚漁、鮫漁(鱧漁)」室戸市 羽根八幡宮、10月8日)

※月日は放送日

Ⅲ 資料の収集・保存と活用

本年度は考古・歴史の分野で資料の受け入れを行った。また、吊り天井改修工事休館中に展示ケース（3階総合展示室の3-fケース）の改修工事や、2・3階のケースや展示台の換気に努める等、保存環境対策を講じた。なお、それぞれの詳細は、各項目を参照されたい。

考古

個人から5件受贈した。平成20年に受贈した考古学者故木村剛朗氏採集資料（主に高知県西南部地域の遺跡・遺物の調査ノート、モノクロフィルムなど）と一群をなす写真資料等である。

資料情報管理システム（データベース）を用いての情報入力・情報確認を行った。

歴史

本年度も歴史担当学芸員が1名で資料の管理を行っていることから、受贈は1件、受託は2件と厳選して資料を収集した。どれも近世～近現代にかけての資料であり、幅広い活用が期待できる。

特に受託の2件は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛中に発見されたという資料である。

また、近現代資料2件を購入した。今後も毎年歴史担当による企画展が予定されており、資料の調査の時間確保が困難であるため、受贈・受託については数を限定して収集を続けたい。

民俗

新規の受贈・受託は行わず、これまで収集してきた民俗資料の整理・調査を継続的に行い、受贈手続きが滞っていた資料について手続きを行った。

平成7年製作の盆棚の劣化が著しかったので復元模型を製作した。当初から模型化を検討していたが、25年目にしようやく製作することができた。

また、山崎茂氏寄贈の郷土玩具について、分類整理を進めた。資料保存について西畑人形頭2頭の修復と田辺寿男氏民俗写真の白黒ネガフィルム150本のカビ取りを実施した。

美術工芸

恵日寺（香南市）から国指定重要文化財の仏像3軀他を受託した。

本年度、恵日寺で寺堂の屋根工事を行うため、作品盗難防止を含む保護のため文化庁及び県文化財課の指示により公開承認施設である当館への一時寄託を希望された。3軀の仏像はいずれも平安時代後期の作例とされるが、近年、カビや虫害による被害があり、収蔵にあたっては文化庁と協議のうえ燻蒸を行った。

1 資料の受贈

●考古

- ①-1 昭和48年から平成15年にかけて考古学者木村剛朗氏が撮影したモノクロフィルム（ネガケース入り）
45ケース・856コマ 2020-3-00001
- ①-2 木村剛朗氏が撮影した片粕遺跡を主体とするモノクロ写真プリント（封筒入り）16枚 2020-3-00002
- ①-3 高松短期大学教授岡本健児氏執筆の木村剛朗著『四万十川流域の縄文文化研究』[序]の原稿（原稿用紙）4枚 2020-3-00003
- ①-4 木村剛朗氏、平尾学術奨励賞受賞時の白黒写真（謹呈高知新聞社写真部撮影昭和63年5月14日）1枚 2020-3-00004
- ①-5 木村氏本人モノクロ写真ネガフィルム（読賣新聞大阪本社高知支局封筒入り）5コマ 2020-3-00005
計5件、882点
奈良県香芝市 個人（令和3年2月26日）

●歴史

- ①御国絵図 1枚 2020-2-00001
神奈川県横浜市 野嶋祥子氏（令和3年1月10日）

●民俗

本年度なし

●美術工芸

本年度なし

2 資料の受託

●考古

本年度なし

●歴史

- ①南国市立北陵中学校所蔵資料
6件、172点 2020-2-00002
高知県南国市 南国市立北陵中学校長（令和3年1月8日）
- ②軍医吉本其葉関係資料 213件、259点 2020-2-00005
高知県須崎市 国広幸助氏（令和3年3月10日）



吉本其葉陣中日誌明治27年分

●民俗

本年度なし

●美術工芸

①木造十一面観音立像(重要文化財) 1 軀 2020-2-00006

②木造大日如来坐像(金剛界)(重要文化財) 1 軀
2020-2-00007

③木造大日如来坐像(胎藏界)(重要文化財) 1 軀
2020-2-00008

いずれも、高知県香南市 宗教法人恵日寺 代表役員 松浦一弘氏(令和2年6月26日～)

3 資料の返還

●考古

本年度なし

●歴史

八月集ほか 9冊 2000-2-00011～00019
個人 (返還日令和2年10月20日)

●民俗

本年度なし

●美術工芸

本年度なし

4 資料の移管

本年度なし

5 資料の購入

●考古

本年度なし

●歴史

①HANDBALL 1冊 2020-2-00003
神奈川県藤沢市 鶴庵 (令和3年1月10日)

②絵葉書 8枚 2020-2-00004
神奈川県藤沢市 鶴庵 (令和3年1月10日)

●民俗

本年度なし

●美術工芸

本年度なし

●教材用資料

1 コーナー展「干支の玩具 丑」体験展示用資料

①安芸市ワークセンター 干支土鈴 2点

②高知市 すずめ共同作業所 干支土鈴 3点

③いの町 草流舎 6点

計11点

●映像資料

本年度なし

6 資料の複製製作

●考古

本年度なし

●歴史

本年度なし

●民俗

盆棚(復元模型) 南国市岡豊町八幡・国府

2020-1-50001



盆棚模型



参考とした盆棚

●美術工芸

本年度なし

7 資料の管理委託・一時預かり

●考古

本年度なし

●歴史

本年度なし

●民俗

本年度なし

●美術工芸

本年度なし

8 資料の一時返却

●考古

1 令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)

高知市教育委員会蔵資料

高知市春野郷土資料館へ展示のため

※全て高知市春野町芳原城跡出土資料

①銅鏡と蓋 93-3-00006,93-3-00005 各1点(計2点)

<受託資料> (『芳原城跡II』-第2～4次発掘調査報告書-84頁501・502)

②青銅製飾り金具 93-3-00016,93-3-00017 2点

<受託資料> (『芳原城跡II』-第2～4次発掘調査

報告書 - 84 頁 503・504)

- ③小刀 93-3-00013 1振<受託資料> (『芳原城跡Ⅱ』
- 第2~4次発掘調査報告書 - 84 頁 518)

計 3 件, 5 点

2 令和2年4月9日(木)~11月25日(水)

高知県立埋蔵文化財センター蔵資料
NHK 大河ドラマ特別展「麒麟がくる」へ展示のため
南国市岡豊城跡出土天正三年銘瓦片 1 点

計 1 点

3 令和2年4月16日(木)~7月14日(火)

高知県立埋蔵文化財センター蔵資料
高知県立埋蔵文化財センター 30 周年企画展「長宗我
部氏の時代」へ展示のため

※①~⑦は南国市岡豊城跡出土資料

- ①地鎮の遺構出土土師質土器皿と銭貨『岡豊城跡』
P1-11 1 枚
②地鎮の遺構出土土師質土器皿と銭貨『岡豊城跡』
P1-10 1 枚
③天目茶碗『岡豊城跡Ⅱ』Fig.25-302 1 口
④軒丸瓦片『岡豊城跡』図 42-292 1 点
⑤軒平瓦片『岡豊城跡』図 43-299 1 点
⑥弾丸『岡豊城跡Ⅱ』Fig.28-345 1 点
⑦懸仏の尊像『岡豊城跡』第 48 図 353 1 軀

計 7 点

4 令和2年10月6日(火)~令和3年4月21日(水)

高知県立埋蔵文化財センター蔵資料
高知県立埋蔵文化財センター 30 周年特別展「発掘の
軌跡」へ展示のため

※①~⑦は南国市岡豊城跡出土資料

- ①地鎮の遺構出土土師質土器皿(大、銭貨入り)『岡
豊城跡』P1-11 1 枚
②地鎮の遺構出土土師質土器皿(小、銭貨入り)『岡
豊城跡』P1-10 1 枚
③天目茶碗『岡豊城跡Ⅱ』Fig.25-302 1 口
④軒丸瓦片『岡豊城跡』図 42-292 1 点
⑤軒平瓦片『岡豊城跡』図 43-299 1 点
⑥弾丸『岡豊城跡Ⅱ』Fig.28-345 1 点
⑦懸仏の尊像『岡豊城跡』第 48 図 353 1 軀
⑧土佐市居徳遺跡群出土土偶(複製) 1 点

計 8 点

5 令和2年11月25日(水)~令和3年4月21日(水)

高知県立埋蔵文化財センター蔵資料
お城 EXPO 博へ展示のため
南国市岡豊城跡出土天正三年銘瓦片 1 点

計 1 点

●歴史

本年度なし

●民俗

本年度なし

●美術工芸

本年度なし

9 資料の貸出

●考古

1 高知市教育委員会(高知市春野郷土資料館常設展)

貸出期間: 令和2年4月1日(水)~令和3年3月31日(水)

※②~⑦は高知市春野町芳原城跡出土資料

- ①大寺廃寺軒丸瓦 1 点
②椀 90-3-00347 1 口<県移管資料> (『芳原城跡発
掘調査報告書』105 頁 図-22 の9)
③箸 90-3-00345 4 本<県移管資料> (『芳原城跡
発掘調査報告書』105頁のうち当館保管のもの)
④下駄 90-3-00796,90-3-00344 2 点<県移管資料>
(『芳原城跡発掘調査報告書』107頁 図-24の1・5)
⑤鋤状木製品 90-3-00827 1 点<県移管資料>
(『芳原城跡発掘調査報告書』109 頁 図-26 の17)
⑥大足 90-3-00676 1 点<県移管資料> (『芳原城
跡発掘調査報告書』107 頁 図-24 の3)
⑦柄杓 90-3-00346 1 点<県移管資料> (『芳原城
跡発掘調査報告書』106 頁 図-23 の11)

※芳原城跡出土護符(大般若経転読札 1493 年銘)
については平成 22 年度より貸出を中止し、当
館の常設展示へ展示中。

計 7 件, 11 点

2 令和2年度四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展

~海と人々2~ 古墳時代~近世-(松山市考古館ほか)
展示期間: 令和2年4月25日(土)~7月5日(日)

【松山市考古館】

令和2年7月12日(日)~9月13日(日)

【高知県立埋蔵文化財センター】

令和2年9月28日(月)~12月11日(金)

【香川県埋蔵文化財センター】

令和3年1月8日(金)~3月14日(日)

【徳島県立埋蔵文化財総合センター】

貸出期間: 令和2年3月5日(木)~令和3年4月25日(日)
平城宮跡出土木簡「土左国交易籠六斤」(複製)(原資料は
独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所所蔵)
(90-3-00292) 1 点

計 1 点

3 日本学術振興会科学研究費助成事業基礎研究(C)

「農耕文化の波及に際する伝統文化の保持についての
考古学的研究」にかかる 3D レプリカ資料の作成のため
(高知大学人文社会科学部准教授 宮里 修氏)

貸出期間: 令和2年8月20日(木)~8月27日(木)
土佐市居徳遺跡群出土土偶(胴部片)複製 1 点

<原資料は高知県保護有形文化財 高知県立埋蔵文化財

センター所蔵>『居徳遺跡群VI』2004年3月 Fig.94-589

計1点

●歴史

1 NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」(大阪歴史博物館・岐阜市歴史博物館)

展示期間(大阪会場):令和2年4月25日(土)~6月14日(日)

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い開催中止

展示期間(岐阜会場):令和2年9月18日(金)~11月3日(火・祝)

貸出期間:令和2年4月9日(木)~11月25日(水)

- ①大身槍 銘(島田)助宗 1口
- ②木造長宗我部元親坐像(複製) 1軀
- ③絹本著色長宗我部元親像 1幅
- ④十二間黒漆塗突盛形筋兜 1頭
- ⑤百足蝶蜂漆絵椀 2口

計5件,6点

2 30周年企画展「長宗我部の時代」(高知県立埋蔵文化財センター)

展示期間:令和2年4月26日(日)~7月5日(日)

貸出期間:令和2年4月16日(木)~7月14日(火)

- ①百足蝶蜂漆絵椀(天正四年銘・複製) 1口
- ②石谷家文書 長宗我部元親書状(複製) 1通

計2点

3 企画展「手紙の世界-龍馬で古文書ことはじめ-」(高知県立坂本龍馬記念館)

展示期間:令和2年7月7日(火)~9月22日(火)

貸出期間:令和2年7月2日(木)~9月29日(火)

- ①論告板 1枚
- ②藩札(慶応3年発行) 2枚
- ③太刀 銘「備州」 1振
- ④大石圓藏刀添状他関係書類 1通

計4件,5点

4 常設展「慎太郎の書状と書の特徴」及び複製作成(中岡慎太郎館)

展示期間:令和2年9月28日(月)~12月20日(日)

貸出期間:令和2年9月17日(木)~令和3年2月28日(日)

- ①中岡慎太郎書状 杉本拙蔵宛 七夕 1幅

計1点

5 高知市立自由民権記念館開館30周年記念企画展 楠瀬喜多没後100年「民権ばあさんと女性参政権」(高知市立自由民権記念館)

展示期間:令和2年10月10日(土)~12月20日(日)

貸出期間:令和2年10月6日(火)~12月4日(金)

- ①高知新聞部 1冊

計1点

6 企画展「龍馬の知恵袋・福井藩」(高知県立坂本龍馬記念館)

展示期間:①の展示期間は令和2年12月26日(土)~

令和3年2月14日(日)、②の展示期間は

令和3年2月18日(木)~4月4日

貸出期間:令和2年12月21日(月)~令和3年4月30日(金)まで

- ①大震行 1幅
 - ②山内容堂・後藤象二郎・福岡孝弟・神山郡廉書状合装 1幅
- 計2点

●民俗

1 高知市教育委員会(高知市春野郷土資料館常設展)

貸出期間:令和2年4月1日(水)~令和3年3月31日(水)

- ①西畑人形 頭(娘) 1頭
- ②西畑人形 頭(武士) 1頭
- ③西畑人形 手 2対 4本
- ④西畑人形 衣装(振袖) 1枚
- ⑤西畑人形 衣装(襦袢) 1枚
- ⑥西畑人形 衣装(帯) 1本
- ⑦西畑人形 衣装(男物着物) 1枚
- ⑧西畑人形 衣装(袴) 1腰
- ⑨西畑人形 刀 1振
- ⑩西畑人形 拍子木 1対 2点

計10件,14点

2 高知市教育委員会(高知市立自由民権記念館常設展)

貸出期間:令和2年4月1日(水)~令和3年3月31日(水)

- ①鯨舟 山崎茂氏寄贈郷土玩具コレクション 2点
- ②坊さんかんざし 同上 3点
- ③土佐面 同上 1点
- ④紙びな 同上 1点
- ⑤女だるま 同上 2点
- ⑥土佐凧 同上 1点

計6件,10点

3 横山隆一記念まんが館企画展「クセがつよい妖怪展」

展示期間:令和2年7月18日(土)~9月6日(日)

貸出期間:令和2年7月7日(火)~9月10日(木)

- ①土佐お化け草紙(複製) 1点

計1点

●美術工芸

本年度なし

●展示物品の貸出

1 芸西村筒井美術館企画展「田辺寿男民俗写真 ぼくの村は山をおりた 芸西久重地区」

展示期間:令和3年2月14日(日)~5月9日(日)

貸出期間:令和3年2月10日(水)~5月12日(水)

- ①平成11年当館企画展「田辺寿男の民俗写真 ぼくの村は山をおりた」写真パネル 23点
(企画展用の写真パネル。サイズは全倍および全紙。位置づけは物品だが、田辺氏がオリジナルプリントをパネル貼りしたもので記載した。)

10 資料等撮影等

資料撮影等は、昨年から1件減少し、93件の利用があった。内訳は下の表のとおり。なお、利用方法内訳の件数については複数の項目に亘る事例があるため、申請分野内訳の件数を上回っている。

①資料撮影等申請分野内訳		②資料撮影等利用方法内訳	
申請分野	件数	利用方法	件数
歴史	44	データ	76
坂本龍馬湿板写真	17	撮影	12
考古	16	複写	1
民俗	12	閲覧	4
美術工芸	4	その他(二次含)	6
計	93	計	99

11 保存修理

【保存管理】

●刀剣保守

歴史担当学芸員1名が保守点検を実施した。

●刀剣研磨

本年度は、館蔵刀剣資料のうち、刀1振の研磨を(有)藤代に委託して実施した。

●表装

本年度は、館蔵資料のうち、下記①②の改装と下記③④の裏打ちを表具浮月に委託して行った。

①戦陣訓	1幅
②山内忠義黒印状	1巻
③長宗我部信親判物写	1通
④山内忠義黒印状	1通

【保存修理】

●考古

本年度なし

●歴史

本年度なし

●民俗

平成28年度より継続中の西畑人形頭の保存修復を、公益財団法人元興寺文化財研究所に委託し、本年度は2頭(No.⑥・No.③④)について実施した。また、平成23年度より継続している田辺寿男氏写真資料の白黒フィルムのカビ取り・Agガード・白黒ベタ製作を写真のたけよしに委託し、本年度は150本実施した。

●美術工芸

本年度なし

●模型の修理

本年度なし

12 燻蒸

●燻蒸庫燻蒸

燻蒸庫燻蒸を計4回、マツダ住宅サービスに委託して実施した。

第1回 令和2年7月2日(木)～7月7日(火)
(民俗資料・国分寺書籍資料・香南市恵日寺仏像3軀)

第2回 令和2年7月15日(水)～7月20日(月)
(民俗資料・国分寺書籍資料・香南市恵日寺仏像台座)

第3回 令和2年12月7日(月)～12月12日(土)
(歴史資料・国分寺書籍資料)

第4回 令和3年3月25日(木)～3月30日(火)
(企画展資料・四万十町民俗資料・写真展造物)

※燻蒸判定結果：殺虫殺卵・殺カビ効果100%

●収蔵庫燻蒸

本年度なし

●依頼燻蒸

今年度は2件の依頼があった。エキヒュームによる燻蒸庫を備えている博物館は本県では当館が唯一であるため、燻蒸依頼は増えている。

①国分寺	書籍資料 第1～3回
②恵日寺	仏像3軀 第1、2回
③四万十町	民俗資料2点 第4回

●包み込み燻蒸

本年度なし

●燻蒸庫装置保守管理

令和2年10月25日(日)、26日(月)、27日(火)の3日間、関西クリーンエンジニアリングに委託して保守管理を実施した。内容は以下のとおりである。

- ①燻蒸ガス吸着装置活性炭取替廃棄処理
- ②電気系統保守点検
- ③燻蒸ガス投薬用流量計及び配置点検
- ④燻蒸ガス投薬用配管洗浄
- ⑤気化器フィルターパッキン取替
- ⑥気化器内洗浄
- ⑦燻蒸庫内投薬ヘッダー及び防虫網洗浄
- ⑧燻蒸ガス濃度測定器吸引ポンプ調整点検及びオイル交換
- ⑨燻蒸庫内気化器温度調整器点検補修
- ⑩燻蒸庫内点検補修(電動アクチュエーターなど)
- ⑪燻蒸庫扉ゴムパッキン交換
- ⑫燻蒸ガス投薬用ステンレス配管取替工事
- ⑬ガス漏れ点検調整(気化器接続部ガス漏れ検査)

●エキヒューム検知器点検

日本液炭(株)に依頼して、ガス検知器を調べる携帯用の検知器の点検補を行った。

●低酸素法殺虫

本年度なし

● DDVP 封入殺虫

本年度なし

13 収蔵庫収納棚耐震化工事

本年度なし

14 環境管理

通常展示・企画展示資料及び収蔵資料の保護のため、例年どおり館内の環境管理を行った。また、吊り天井改修工事休館中に展示ケースの改修工事を行った。

令和2年度に文化庁へ公開承認施設の継続承認申請を行ったところ、展示環境（温湿度と空気環境）について改善するよう指導を受け、次回承認に向けての改善計画を策定し、具体的な改善策を進めることとした。

【虫害管理】

●虫害モニタリング

館内 38 箇所有害虫トラップを設置し、文化財害虫等の進入状況を把握した。なお、昨年度に引き続き、捕獲した害虫の分析をイカリ消毒（株）へ委託した。

トラップ回収・設置を令和2年4/30, 7/22, 10/21, 令和3年1/27の計4回実施した。

なお、4/30のトラップ回収は、令和元年度（令和2年1/29）に設置した分である。

また、3f ケース他においても、虫害・展示環境の把握のため、臨時に調査を実施し、チャタテムシを採集した（詳細な分析は行っていない）。

●収蔵庫ほかの定期清掃

虫害モニタリングの結果をうけて、収蔵庫3室・収蔵廊下・収蔵庫予備室・荷解室の清掃作業を令和2年11/18, 12/23, 令和3年1/26, 2/24の計4回実施した。

【温湿度管理】

●温湿度記録

館内の収蔵・展示空間とそこに準ずる全ての空間31ヶ所（令和3年3月時点）に温湿度記録計（SATOもしくはHOBOのデジタル式）を設置して、定期的に測定・記録した。一部の展示ケースについては、吊り天井改修工事実施中は無線式温湿度記録計を併用した。

開館・閉館前後の温湿度変化を緩和するため、空調時間の延長と防火扉の閉鎖タイミングの工夫を行ったが、効果は限定的であった。

エアタイトケースについては、調湿剤による湿度管理がある程度可能であるが、その他の展示室空間・通気型ケースの温湿度制御については、現空調機では困難であり、空調更新への検討を県と開始した。

●調湿剤

企画展、通常展ともに $55 \pm 5\%$ を維持するため、エアタイトケース内に調湿剤を設置した。

【空気環境管理】

●空気環境の調査

北川式検知管による展示・収蔵環境の有機酸・アンモニア・ホルムアルデヒドの3種のガス濃度調査を3回実施した（業務委託先は光明理化学工業（株））。

今後は、1年に1度夏季に同調査を行うことで、展示環境の現状把握を行い、適正な環境の維持・改善に供する。

1回目	8/12 19箇所	現状把握のため
2回目	9/18 19箇所	ガス発生源を特定するため
3回目	10/10 14箇所	経過観察と換気等の効果を検証するため

●空気環境（有機酸・アンモニア）の改善策

文化庁の指導を受け、吊り天井改修工事中に展示室・ケースより展示資料と展示台を撤去し、独立ケースと展示台については工事のため多目的ホール等に保管し、換気を行った。令和2年9月9日～令和3年4月7日の期間に開扉し、日中のみ扇風機やファンを用いて換気した。展示室の壁付ケース及び独立ケースの内装材や展示台のクロス表面について、令和2年9/11, 9/15, 10/14, 10/15, 10/16, 10/18, 10/20, 10/25, 10/27, 10/28, 令和3年3/31, 4/4, 4/5, 4/6, 4/7の計15日、掃除機による吸引や水拭きを実施した。

また、企画展示室ののぞき型エアタイトケース（管理番号1990-8）1台について、ステージ台を有機酸・アンモニアガスの発生を抑制した材料を用いた台に更新した。

ほかに、新型コロナウイルス対策の一環で3階総合展示室入口付近に大型の空気清浄機（フィルターを取り替えると、有機酸・アンモニアガスの対策としても使用可）を1台設置した。

来年度より通常展示も含めて、計画的にガス吸着シートの設置も行う予定である。



展示ケースのふきとり



展示ケースの換気



のぞき型エアタイトケースの有機酸・アンモニアガス発生を抑制した材料を用いたステージ台

【展示室の大規模清掃】

吊り天井耐震化工事終了後の令和3年3月24日～26日、29日、30日に、展示室の高所、展示ケースの内外、ケース下空気取り入れ口等の大がかりな清掃をイカリ消毒（株）に委託し、展示復元前に環境を整えた。

【展示ケースの改修工事】

吊り天井工事に伴いケース内の資料と展示台撤去時、総合展示室の展示ケース（3-f）西壁において、カビの発生を確認した。以前より同ケース付近では、チャタテムシが確認されており、カビの発生が高温によるものと想定された。

今回壁面に発生したカビが確認されたことにより、躯体に雨水管から水が浸入していることが想定された。建築図面とリニューアル工事の図面・写真を確認すると、雨水管がケース天井部とケース西壁に通っていることが判明した。解体後、そこを通っている雨水管からの雨漏りが確認された。なお、展示資料・台、独立ケース撤去後の工事期間中や工事後にも雨天の日に漏水が確認された。県と協議し、雨水管の状況を把握するため、1ケース（3-f）を解体した。ケース解体後、雨水管の上部の曲がったところに孔が確認されたため、緊急で孔をふさぐ工事をした。その後、館内の雨漏り工事の一環で雨水管の取換を行い、もれがないことを確認した。工事後は、両サイドのケースも含め送排風機で、ケース下部の乾燥を行い、消毒やふき取りも行った。その後ケースの復元を行った。

3-f ケースの解体工事復元前の令和3年3月16日に県がアルコール吹きつけ及び拭き取りによる消毒作業

をイカリ消毒（株）に委託し、実施した。

なお、復元後は、ケース内に発生するガスを取り除くため送排風機を用いて環境を整えた。さらに展示復元まで周辺のケース下部の乾燥を継続して実施した。



展示ケース（3-f）の改修工事 内装壁を撤去した状況



3-f ケース撤去後の床と壁面の消毒作業



3-f ケースの改修工事 内装壁を復元した状況と換気

15 資料情報管理システム

平成30年度より導入のクラウド型システム（ASP・SaaS型）により、資料情報の管理を行っている。令和3年3月31日現在の登録件数については以下のとおり。

全体登録数	38,191
①民俗資料	12,911
②歴史資料	895
③考古資料	2,366
④未分類（美術工芸含む）	1,531
⑤田辺写真資料	20,475
⑥「ポケット学芸員」専用	13

また、12月10日より付帯のシステムを利用して、展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の公開（26項目）を行っている。

これまでのところ、システムは資料管理にのみ用いており、資料情報の公開は行っていない。

16 図書資料の整理

館内のプロジェクトチーム（PT）を中心に、資料室書庫及び書棚の再整理、未配架書籍等の再点検、廃棄公文書の確認を行った。昨年度末に設置した新しい書棚（2階資料室5台、3階DS1台）を活用することで、ジャンルごとの配架スペースを見直し、未配架書籍等の配架を進めることができた。また、年度始めに一斉作業の日を設定したことで、PTの枠を超えて職員の協力を得ることができた。

●一斉作業

4月22日（水）

- ・未配架書籍や資料類を所定の場所へ移動し、整理・分類
- ・3階DS：種別の配置確定、移動・整理
- ・2階DS：種別の移動先決定・移動・整理
- ・2階資料室：新しい開架場所及び種別の確認、未配架書籍の移動・配架

●プロジェクトチーム（PT）の活動

①4～5月

- ・各自で作業（書棚の整理、未配架書籍の分類）

②7月9日（木）

- ・2階資料室の配架計画確認
- ・未配架書籍等の移動・整理
- ・廃棄公文書の確認・仕分け

③10月6日（火）

- ・2階資料室の書架再配置確認及び作業

④11月11日（水）

- ・未配架書籍等の確認
- ・廃棄公文書の確認・仕分け（リストアップ）

⑤12月25日（金）

- ・書籍等の配架の進捗状況確認
- ・未開架書籍の仕分け・整理及び保管場所の検討

17 館蔵資料数

令和3年3月31日現在の常設展示資料を含んだ収蔵資料の概数は約147,300点であり、各分野の概数は以下のとおりである。

●考古

1 懐徳館からの移管資料	約 2,500 点
2 高知県立埋蔵文化財センターからの移管資料	約 770 点
3 歴史民俗資料館受贈受託購入資料	約 18,400 点
4 他施設からの預かり資料など	40 点
5 常設展示等借用資料（リニューアル後）	2,550 点
6 令和2年度新収蔵資料	882 点
計	約 25,100 点

●歴史

1 郷土文化会館からの移管資料	580 件	約 5,800 点
2 歴史民俗資料館受贈受託購入資料		39,437 点
3 懐徳館からの移管資料		242 点
4 令和2年度新収蔵資料		441 点
計		約 45,900 点

●民俗

1 郷土文化会館からの移管資料		約 1,300 点
2 教育センター（鴨部）からの搬入資料		約 1,400 点
3 懐徳館からの移管資料		約 300 点
4 歴史民俗資料館受贈受託資料		73,282 点
5 令和2年度新収蔵資料（模型）		1 点
計		約 76,300 点

18 収蔵資料目録の刊行

- ①収蔵資料目録 郷土玩具・城田政治氏寄贈コレクション
平成7年4月28日刊行
- ②平成13年度収蔵資料目録第2集 寺石正路関係資料目録Ⅰ 歴史分野 絵葉書・封書編①
平成14年3月31日刊行
- ③平成14年度収蔵資料目録第3集 寺石正路関係資料目録Ⅰ 歴史分野 絵葉書・封書編②
平成15年3月31日刊行
- ④平成15年度収蔵資料目録第4集 古鏡目録
平成16年3月31日刊行
- ⑤平成15年度収蔵資料目録第5集 堀見家図書目録
平成16年3月31日刊行
- ⑥平成16年度収蔵資料目録第6集 堀見家文書目録Ⅰ 歴史分野 古文書①
平成17年3月31日刊行
- ⑦平成16年度収蔵資料目録第7集 平井・西山家資料目録 歴史分野
平成17年3月31日刊行
- ⑧平成16年度収蔵資料目録第8集 考古資料図版目録Ⅱ 考古分野 弥生時代篇（青銅器）
平成17年3月31日刊行
- ⑨平成17年度収蔵資料目録第9集 寺石正路関係資料目録Ⅰ 歴史分野 絵葉書・封書編③
平成17年10月30日刊行
- ⑩平成17年度収蔵資料目録第10集 堀見家文書目録Ⅰ 歴史分野 古文書②
平成18年3月31日刊行
- ⑪平成18年度収蔵資料目録第11集 四国遍路関係資料目録Ⅰ
平成19年3月31日刊行
- ⑫平成18年度収蔵資料目録第12集 田辺寿男写真資料目録Ⅰ 白黒フィルム編
平成19年3月31日刊行
- ⑬平成19年度収蔵資料目録第13集 寺石正路関係資料目録Ⅱ 歴史分野 一般書籍・和本編
平成20年3月31日刊行
- ⑭平成20年度収蔵資料目録第14集 寺石正路関係資料目録Ⅲ 考古分野 古鏡拓本編
平成21年3月31日刊行

IV 教育普及

当館の普及事業は、大きく①一般対象 ②学校等対象 ③イベント参加者対象の3つである。ただ、本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため予定していた講演会や参加体験型のワークショップ、イベントの多くが中止あるいは予定より規模を縮小して実施したりするなど、大幅な計画変更を余儀なくされた。

①一般対象の事業では、知識や経験を深めたい一般県民の方々に対し、企画展に関連した講座やミュージアムトークなどにより学芸員の調査成果を公開した。

館外での事業は旧大栃高校民俗資料一般公開等を中止とした。なお歴史関係について詳しく知りたい方や研究者への学芸員の対応も、ほとんどが電話対応であった。

刊行物は、広報誌『岡豊風日』や企画展パンフレットの他、長宗我部氏に関する館蔵資料を中心にまとめた図録『史料で読み解く長宗我部』を刊行するなど、調査研究の成果を県民に広く発信した。

②学校を対象とした児童・生徒・学生への事業については、春季は新型コロナウイルス感染症の影響、秋季は館内の吊り天井改修工事のため休館し、学校からの来館は1件のみであった。職場体験は申込みのあった4件は全て中止となった。学校への歴史体験メニューを中心にした「学びの多様性」の提供を通じた協力は、学校への出張授業、大学での講義など限定的

な実施にとどまった。

③各種イベントでは、地域との連携イベントが新型コロナウイルス感染症の影響あるいは吊り天井改修工事による休館のため中止となった他、「れきみんの日」は休館中のため開催中止とした。

また、これらの取組にはカルチャーサポーターにも可能な限り参加していただき、活動を支えていただいた。

1 一般対象の普及事業や刊行物

(1) 講演会・講座等

本年度の企画展実施は「補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺」のみであり、関連する講座2件、ミュージアムトーク1回、コーナー展「疫病退散」に関するミュージアムトーク2回を行った。講座は定員を予定の半数に減じるなど、いずれも規模を縮小して実施した。

ワクワクワークは、屋外展示の旧味元家住宅主屋(山村民家)を活用した実施のみであった。

また、当館のある南国市岡豊地区周辺の歴史遺産等を史跡解説付きで巡る「まほろばウォーク」は、近年好評を得ており年間8回を計画していたが、秋季及び冬季の計5回の実施であった。

以下、項目ごとに本年度の実施状況を表にまとめた。

講演会

	実施日	演 題	講 師	聴講者数(人)
1	4月26日(日)	蹉跎山金剛福寺	四国霊場第三十八番 金剛福寺住職 長崎勝教氏	中止
2	5月9日(土)	二十八部衆の起源	(公財)中村元東方研究所 専任研究員 慶應義塾大学講師 田中公明氏	中止
計	0回			0

講座

	実施日	演 題	講 師	聴講者数(人)
1	6月6日(土)	仏教考古学講座 お経のタイムカプセル - 経塚 -	副館長 岡本桂典	36
2	6月20日(土)	仏教考古学講座2 お経のタイムカプセル - 土佐の経塚 -	副館長 岡本桂典	54
計	2回			90

ミュージアムトーク

	実施日	演 題	担当学芸員	聴講者数(人)
1	6月14日(日) 当初計画していた5月5日(火・祝)、5月24日(日)は、新型コロナウイルスの感染防止のため中止	補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺 (定員オーバーのため多目的ホールで開催)	副館長 岡本桂典	45
2	8月16日(日)	疫病退散	チーフ 梅野光興 学芸専門員 中村淳子	4
計	2回			49

ワクワクワークなど

	実施日時	名称	講師	内容	参加者数(人)
1	5月4日(月・祝)	ワクワクワーク 「仏像の切り絵」体験	当館職員	厚紙をデザインカッターで切り抜いて仏像の絵を作り上げる	中止
2	8月1日(土)～ 8月23日(日)	赤べこってなんだ?	当館職員	折り紙や厚紙で切ったり貼ったりして赤べこをつくる	103
3	8月1日(土)～ 8月23日(日)	姫魚ってなんだ?	当館職員	「描いて見たら病をまぬがれる」と伝わる姫魚のぬり絵	111
4	8月8日(土)	振動で動くおもちゃをつくろう	高知県立高知東工業 高等学校 情報技術部	モーターを取り付けたタイヤ付きの土台に好みの装飾を施し、モーターの振動で動くおもちゃを製作する	27
5	8月16日(日)	木製グライダーをつくろう	高知県立高知東工業 高等学校 機械工作部	間伐材を利用した素材を使い、各パーツを組み合わせた接合したりして木製グライダーを製作する	30
6	10月3日(土)	ワクワクワーク 土佐和紙漆喰張り子 丑の絵付	草流舎 田村 雅昭氏	干支の丑にちなんだ牛の張り子を絵付する (参加費 1,500円)	17
7	11月7日(土)	ワクワクワーク 障子はり	学芸専門員 中村 淳子	山村民家(登録文化財 旧味元家住宅主屋)の障子を貼り替える	7
計	6件				278

史跡めぐり

	実施日	名称	内容
1	11月14日(土) 〔中止〕	れきみんツアー幕末維新の道を歩く - 津野山街道と維新の群像 -	幕末期の土佐の志士に関連の深い吉村虎太郎邸(津野町)や維新の門等、梶原町の史跡を訪問し、同町の郷土資料館を観覧する(現地での案内は梶原町観光ガイドに依頼)。これらの史跡、資料館と合わせ、同町中心地の隈研吾氏の建築物を見学する。併せて、カルチャーサポーターにも研修としてツアーへの参加を求め(5名程度をめぐり)、維新史及び津野山地域と当館の繋がりへの知識を深めるとともに、梶原町観光ガイドの活動を体感してもらうこととした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、催行人数に達せず中止となった。
		講師	旅程
		梶原町観光ガイド	
		担当	
		当館総務事業課長 野中 当館学芸専門員 中村	8:00 県民文化ホール前 → 8:10 J R高知駅前バス停 → 9:00 高知県立歴史民俗資料館 → 10:30 津野町 吉村虎太郎邸 → 11:10 梶原町 農家レストランくさぶき(昼食) 12:00 発 → 12:10 梶原町歴史民俗資料館 → 脱藩の道ウォーク(ゆすはら座…六志士の墓…茶堂…掛橋和泉邸…雲の上の図書館…神幸橋…三嶋神社…脱藩の道…維新の門)…梶原町歴史民俗資料館 16:00 発 → 道の駅かわうその里 → 17:50 高知県立歴史民俗資料館 → JR高知駅前 → 県民文化ホール前 18:30 頃着
		旅行会社	とさでんトラベル株式会社
		参加費	会員 2,500円/人 一般 3,500円/人
参加人数 (募集人数)	申込 16人 (23人)		

土佐のまほろばウォーク 土佐のまほろば地区振興協議会・当館共催

	実施日時	名称	日程	講師	参加費(円)	参加者数(人)
1	4月25日(土) 8:30～11:30	『れきみん』とまほろばクエストQ1 ここにもある!岡豊の古墳を探索せよ!	歴史民俗資料館→芝の前古墳・野津古古墳・小蓮古墳・天神前古墳など→歴史民俗資料館	土佐のまほろば地区振興協議会 村上隆夫氏	500	中止
2	5月28日(木) 8:30～11:30	『れきみん』とまほろばクエストQ2 長宗我部と明智家重臣の関係を探索せよ!(1)	歴史民俗資料館→石谷土居跡・蓮如寺跡・谷土居跡・伝長宗我部一族の墓など→歴史民俗資料館	土佐のまほろば地区振興協議会 村上隆夫氏	500	中止
3	9月19日(土) 8:30～11:30	『れきみん』とまほろばクエストQ3 岡豊城跡を制覇せよ!	歴史民俗資料館→岡豊城跡→歴史民俗資料館	土佐のまほろば地区振興協議会 村上隆夫氏	500	22
4	10月25日(日) 8:30～11:30	『れきみん』とまほろばクエストQ4 長宗我部家と明智家重臣の関係を探索せよ!(2)	歴史民俗資料館→石谷土居跡・蓮如寺跡・谷土居跡・伝長宗我部一族の墓など→歴史民俗資料館	土佐のまほろば地区振興協議会 村上隆夫氏	500	21

5	11月27日(金) 8:30～14:00	『れきみん』とまほろばクエストQ5 土佐神社の石碑の謎を探索せよ!	歴史民俗資料館→一宮 大塚・旧関川家住宅・土 佐神社など※途中自由昼 食→歴史民俗資料館	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	21
6	12月19日(土) 8:30～11:30	『れきみん』とまほろばクエストQ6 岡豊城下を探索せよ!	歴史民俗資料館→岡豊 城下→歴史民俗資料館	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	中止
7	1月27日(水) 8:30～11:30	『れきみん』とまほろばクエストQ7 国分寺でお宝を目撃せよ!	歴史民俗資料館→土佐 国分寺・土佐国分僧寺 跡→歴史民俗資料館	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	22
8	2月21日(日) 8:30～11:30	『れきみん』とまほろばクエストQ8 長宗我部氏家臣の所在を探索せよ!	歴史民俗資料館→岡豊 城下→歴史民俗資料館	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	19
計	5回					105

希望者にはQ3, 4, 6, 8で山城（麒麟）談義を予定していたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。



講座 6月20日



ミュージアムトーク 8月16日



ワクワクワーク 障子はり 11月7日



土佐のまほろばウォーク 11月27日

(2) 刊行物

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響や吊り天井改修工事による休館があり、例年より刊行数は減少したが、『年報』や『研究紀要』、広報誌『岡豊風日』、年間カレンダーを刊行した。また、企画展の展示パンフレットを1冊、長宗我部氏に関する館蔵資料を中心とした『史料で読み解く長宗我部』を1冊刊行した。『岡豊風日第110号』は、夏の企画展が変更になったため、急遽コーナー展『疫病退散』をメインに通常の半分（4頁）で発行した。



岡豊山フォトカレンダー

利用のご案内

令和3年、歴史は開館30周年を迎えます！

30周年記念特別講演会

REKIMIN CALENDAR 2021.4-2022.3

30周年 今年 365日

みどころいっぱい！岡豊山歴史公園と土佐のまほろば

高知県立歴史民俗資料館

2022年 年間カレンダー

4月 土佐人山本徳興と近代リビウ

5月 宇野の乱

6月 軍艦がたの日 日露戦争

7月 田辺義興の民権闘争

8月 手取の乱

9月 宇野の乱

10月 宇野の乱

11月 宇野の乱

12月 宇野の乱

2022年 1月 2月 3月

年間カレンダー

高知県立歴史民俗資料館

補陀洛東門開く 蹉陀山金剛福寺

企画展「補陀洛東門開く 蹉陀山金剛福寺」パンフレット 表紙

企画展「補陀洛東門開く 蹉陀山金剛福寺」パンフレット 表紙

千支の玩具 丑

高知県立歴史民俗資料館

コーナー展「千支の玩具 丑」解説パンフレット 表紙

高知県立歴史民俗資料館

研究紀要 第25号

2022 (令和4年度)

高知県立歴史民俗資料館

「高知県立歴史民俗資料館研究紀要」第25号 表紙

史料で読み解く 長宗我部

高知県立歴史民俗資料館

「史料で読み解く長宗我部」表紙

刊行物

名称	判型	部数	発行日	備考
『高知県立歴史民俗資料館 令和元(平成31)年度年報』 No.29	A4 120頁	1,000	令和2年7月31日	活動記録
『岡豊風日』第110号	A4 4頁	3,500	令和2年7月20日	広報誌
『岡豊風日』第111号	A4 8頁	4,000	令和3年3月31日	広報誌
『補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺』	A4 34頁	800	令和2年7月10日	企画展パンフレット
岡豊山フォトカレンダー 2021	A4 24頁 中綴じ	250	令和2年12月18日	フォトコンテスト 作品カレンダー
『史料で読み解く長宗我部』	A4 100頁	1,000	令和3年3月1日	長宗我部展示室 関連図録
『干支の玩具 丑』	A5 8頁	1,500	令和3年3月31日	コーナー展解説 パンフレット
高知県立歴史民俗資料館 年間カレンダー 令和3年4月-令和4年3月	210×495mm 5折	30,000	令和3年3月31日	催物の案内
『令和2年度 高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第25号 2020	A4 60頁	600	令和3年3月31日	研究成果

●当館広報誌

令和2年度

①『岡豊風日』第110号(令和2年7月20日発行)

- 中村淳子「資料見聞 疫病退散の郷土玩具」
- 梅野光興「コーナー展 疫病退散」
- 梅野光興「足元の歴史や文化を振り返ろう」
- 福田道則「新任のご挨拶」
- 野中浩二「新任のご挨拶」

②『岡豊風日』第111号(令和3年3月31日発行)

- 梅野光興「資料見聞 高知県立歴史民俗資料館完成予想図」
- 梅野光興「開館30周年記念企画展 わたしたちの30年-歴史の歩みと平成の土佐-」
- 中村淳子「コーナー展『干支の玩具 丑』」
- 西山浩生「吊り天井改修工事終わりました」
- <くれきみんニュース>
- 石畑匡基「図録『史料で読み解く長宗我部』ついに発売!」
- 総務事業課「岡豊山フォトコンテスト」
- 総務事業課「岡豊山でひとひねり。岡豊山投句箱」
- 総務事業課「御城印バインダー、新発売!」



岡豊風日 第110号 表紙



岡豊風日 第110号 2-3 p



岡豊風日 第111号 表紙



岡豊風日 第111号 2-3 p

(3) 動画制作・配信

本年度は、県教育委員会事業「志・とき学びの日」の関連企画として、こうちミュージアムネットワークに参加している各施設が学校教育向けの動画を制作し公開する企画があり、当館も館と岡豊山を解説する動画を1本制作し、公開した。

○「国史跡・岡豊城跡 探検!」(5分)
3月31日配信

<https://www.kochi-mn.net/動画紹介/>

2 学校教育への支援

学校等団体の来館にあたっては引率教員と事前に打ち合わせを行い、展示解説や体験学習等の要望に対応した。併せて、学校の教育活動における館の利用促進を図るため、学校が来館するにあたり事業者からバスを借り上げた際の費用の一部を支援する学校教育活動支援事業を実施した。また、出張授業の依頼があった場合は担当教員と時間・内容について事前に打ち合わせを行い、必要に応じて体験的な活動を組み込むなどの対応をした。体験活動の実施は新型コロナウイルス感染拡大防止のため限定的ではあったが、カルチャーサポーターの協力も得ることができた。職場体験は事前に問合せのあった学校は全てキャンセルになった。

博物館実習は新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら実施した。

(1) 学校等団体の来館利用への支援

本年度、授業や遠足で当館を訪れる予定であった学校等団体は、新型コロナウイルス感染症のためキャンセルになるなど、結果的にのべ3校であった。学校には展示解説と体験学習を行い、体験活動は、火おこし、むかし遊びを行った。また、岡豊山は大学の授業での活用（1校：2回）があった。

以下、中止になったものも含め、本年度に来館及び予定のあった学校を表にまとめた。

本表は小・中・義務教育学校の団体入館に加えて幼

令和2年度学校来館一覧

月日	時間	学校名	学年	児童生徒数	引率教員数	保護者等数	合計	自由見学	通史解説	長宗我部展示室解説	ポイント解説	企画展解説	クイズ	多目的ホールビデオ視聴	岡豊山	民家	体験学習	調査・調べ学習	解説補助員		学芸員、契約職員	岡豊山案内	カルサポ	備考
																			解説	オリエンテーション				
6月26日(金)	10:30~13:50	馬路村立魚梁瀬小学校	2~6	10	8	0	18	○	○											土居	西山・中村・曾我・久保・佐藤	1	学校教育活動支援事業	
計				10	8	0	18	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2							

※予約があったが中止となった学校等

1	4月30日(木)	PM	高知市立初月小学校	6	(130)		0	○																中止
2	5月1日(金)	9:30~14:00	高知市立昭和小学校	6	(90)			○							○		勾玉							中止
3	5月8日(金)	13:00~14:30	高知市立大津小学校	6	(99)	(3)									○									中止
4	7月16日(木)	9:45~11:30	香美市教育支援センターふれんどるむ	小中	(2~4)	(2)			○						○		甲冑							中止
5	8月4日(火)		こうち総文																					中止
6	3月4日(木)	9:00~11:00	香南市立佐古小学校	6	(50)	(3)											勾玉・火おこし							中止

（本表は小・中・義務教育学校の団体入館に加えて幼稚園・保育園・高等学校・大学・教育関係機関などの団体入館、また、学校等の岡豊山公園のみの利用について事前申込があったものを含んだものによる。）



体験活動

旧大榑高校への民具見学一覧

日時	学校名	学年・児童生徒数	学習内容	担当職員
8月31日(月) 13:30~14:30	香美市立大宮小学校	第3学年・29人 (教員2人)	「昔のくらしの道具」 (旧大榑高校民具見学)	梅野光興
11月30日(月) 13:20~14:40	香美市立楠目小学校	第3学年・38人 (教員2人)	「昔のくらしの道具」 (旧大榑高校民具見学)	梅野光興
計	2回	67人(教員4人)		

(2) 学校教育活動支援事業

本事業は、学校等による学習の場としての館利用を促進するため、教育活動の一環として館での活動を計画し、バスを借り上げて来館する場合に要するバス等借り上げ経費の一定額を館が負担するものである。県内の市町村立または私立の小・中・義務教育及び特別支援学校を対象としており、同一の学校等の利用を年度内で1回までとし、1校（1回）につき5万円を上限とした他、支援を希望する学校等から提出いただく事業実施計画（別紙様式1）や申請書（別紙様式2）はできるだけ簡素化し、支援額を当館が直接業者へ支払うこととするなど、学校等の事務的な負担軽減を図るとともに、経済的な負担軽減にもつなげることをしている。各教科の授業や遠足等の学校行事など、各校の教育課程に応じて利用できるようにしており、今年度は小学校1校の利用があった。

・支援実施校

①令和2年6月26日（金）

学校名：馬路村立魚梁瀬小学校

人数：2～6年生10名、引率教員8名、計18名

内容：3階総合展示室通史解説、体験活動
（火おこし、むかし遊び）

支援額：50,000円

高知県立歴史民俗資料館学校教育活動支援事業実施要領	
(目的)	第1条 次代を担う子どもたちに高知県の歴史や文化に関心を深めてもらうため、学校が実施して教育活動を行う場として高知県立歴史民俗資料館（以下「館」という。）の展示、体験学習等の機能、事業の活用を促進するとともに、学習活動を通して館の良さを知ってもらうことで、学習の場としての定着を図ることを目的とする。
(対象となる学校等)	第2条 高知県内の市町村立又は私立の小学校、中学校、義務教育学校（前期・後期課程）及び特別支援学校（小学部、中学部、高等部）（以下「学校等」という。）を対象とする。
(支援の内容)	第3条 学校等が教育活動の一環として館での活動を計画し、バス等を借り上げて来館する場合に要するバス等借り上げ経費の一部または全額を申請により負担する。ただし、路線バスや市町村・学校等が所有しているバスを利用した場合にかかる経費は含まないものとする。
(支援金額)	第4条 同一の学校等の利用は当該年度内で1回までとし、1校（1回）につき50,000円（税込）を上限とする。
(募集校数)	第5条 当該年度内につき予算の範囲内で対応可能な数とする。
(内示)	第6条 館は、支援を希望する学校等の事業実施計画（別紙様式1）を前年度に募集し、希望多数の場合は選考のうえ、支援を行う学校等に対し、原則として実施年度の4月20日までに内示を行うものとする。
(申請方法)	第7条 支援の内示を受けた学校等は、別紙様式2「申請書」に必要事項を記入のうえ、原則として実施日の2週間前までに、バス事業者から学校等宛の見積書（写）を添付し館へ提出するものとする。
(支援の決定及び通知)	第8条 館は申請書の受理後、その内容が適当であると認められた場合は支援を決定し、申請者に金額等を通知するものとする。また、バス事業者には申請者から決定金額を連絡するものとする。
(内容の変更)	第9条 申請者は、支援が決定された後、実施日等、申請時の内容に変更が生じた場合は、すみやかに館へ報告するものとする。その際、館は申請者と協議を行い、対応を決定するものとする。なお、バス事業者には申請者から変更内容（変更金額を含む）を連絡するものとする。
(支援金額の支払い)	第10条 館での活動終了後、館はバス事業者からの請求によって支援金額の支払いを行う。
(その他)	第11条 この要領に定めのない事項又は事例については、館は申請者及びバス事業者と協議のうえ決定するものとする。
(附 則)	1 この要領は、令和元年12月18日から施行する。 2 令和元年度における第6条及び第7条の取扱いについては、別に通知する。

学校教育活動支援事業実施要領

(3) 学校などへの講師派遣（出張授業）

本年度は、小学校へのお出張授業で2件、中学校へのお出張指導で1件、夏休み期間中の放課後児童クラブへの派遣で1件、大学での専門的な講義で1件それぞれ対応した。小学校での「よろいかぶと」に関する授業では、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら資料に触れたり代表児童に試着してもらったりするなど、体験的な要素を組み入れて実施した。また、校外学習へ同行して現地で史跡に関する説明を行った。中学校では調べ学習における調べ方・まとめ方等に関する助

言、児童クラブではコマ回しや竹トンボなどのむかし遊びの体験を行った。



南国市立久礼田小学校 南国市の史跡めぐり 11月20日

出張授業

日 時	学校名	学年・児童生徒数	学習内容	派遣職員	カサボ(人)
1 7月10日(金) 10:45～12:20	南国市立久礼田小学校	6年生・29人 (教員1人)	「よろいかぶと」に関する説明 及び試着体験	西山浩生 久保由美	-
2 8月4日(火) 10:00～12:00	潮江小学校第一・ 第二放課後児童クラブ	1～6年生・65人	「むかし遊びを楽しむ」 (体験学習)	中村淳子 久保由美 佐藤ゆみ	1人
3 10月29日(木) 11月5日(木)	南国市立北陵中学校	3年生・18人	総合的な学習の時間における 調べ学習のまとめ方や内容に ついての助言	曾我満子	-
4 11月20日(金)	南国市立久礼田小学校	6年生・28人 (教員1人)	南国市の史跡めぐり	曾我満子 西田由紀	-
5 10月5・12・19・26日、 11月2・9・20・30日、 12月7・14・21日、 1月11・23・25日、2月1日 各回16:30～18:00	国立大学法人高知大学 人文社会科学部	2～4年・73人	日本文化史Ⅱ (山内忠義にみる日本文化史) ※全回オンラインにて実施	石畑匡基	-
計 5回		213人			1人

(4) 資料などの学校等への貸出

学校の授業での活用の他、県内の多くの市町村で4月から約1か月間臨時休校になったことを受け、新型コロナウイルス感染症対応として「家庭学習支援動画ライブラリー」（授業動画）作成のため高知県教育委員会から教材貸出への依頼があった。

①体験学習用教材

- ・『甲冑 1領』『軍配 1本』
期 間：令和2年4月25日～5月2日
学校等：高知県教育委員会事務局中部教育事務所

②体験学習用教材

- ・『兜 2頭』『陣羽織 1領』『パネル 1枚』
期 間：令和2年6月13日～6月27日
学校等：土佐町立土佐町中学校

③レプリカ教材

- ・『刀』（大1振、小1振）
期 間：令和2年7月12日～7月18日
学校等：土佐町立土佐町中学校

(5) 職場体験の受け入れ

職場体験は、4校から依頼があったが、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症防止のため、全校とも中止となった。

職場体験

	期 間	学校名・学年	人数
1	5月13日(水)～ 15日(金)〈3日間〉	南国市立香長中学校 第3学年	中止
2	5月20日(水)～ 22日(金)〈3日間〉	南国市立鷹ヶ池中学校 第2学年	中止
3	7月7日(火)～ 9日(木)〈3日間〉	高知市立愛宕中学校 第3学年	中止
4	7月7日(火)～ 9日(木)〈3日間〉	高知市立介良中学校 第3学年	中止
計	12日	4	0

いずれも新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止

(6) 博物館実習の受け入れ

1大学1人の博物館実習を夏季に受け入れた。博物館の運営や学芸員の業務に関する講義と、体験活動のサポートや資料の保存・管理や活用に関する実務など7日間のカリキュラムを組んで実施した。

博物館実習

	期 間	大学名・年次	人数
1	8月21日(金)～ 8月30日(日) 〈7日間〉※8月22日、26日、 27日休み	高知大学 教育学部 科目等履修生	1
計	7日	1大学	1

(7) 教員のための研修

本年度は申請がなく、実施していない。

(8) 学校教育関連事業の共催

本年度は申請がなく、実施していない。

3 展示解説

館利用にあたって展示解説を希望する団体には、解説補助員が対応している。専門的な解説を希望する場合は、学芸員が対応している。

(1) 解説補助員

解説補助員は展示解説を主な業務とし、受付やグッズ販売、監視業務なども行っている。最前線で来館者に対応する「館の顔」であり、来館者の好感度も高い。その他、状況に応じて展示室内の温湿度や文化財害虫をチェックし、適宜学芸員に報告するなど業務は多岐にわたる。また、近年は各種スタンプラリーが増え、業務の範囲は広がっている。

本年度は吊り天井改修工事による休館に伴い、9月7日(月)から令和3年4月28日(水)まで屋外展示の山村民家（登録有形文化財 旧味元家住宅主屋）に常駐し、来園者に対する受付や案内の他、「岡豊城跡をめぐる 土佐の七雄スタンプラリー」への対応を行った。

(2) 学芸員等による展示解説

学芸員等による展示解説への要望は、長宗我部展示室や特別展、企画展に関する場合が多い。本年度は、9月7日(月)からの吊り天井改修工事による休館中に屋外展示の山村民家（登録有形文化財 旧味元家住宅主屋）の活用を図り、呈茶や火焚きの際に学芸員が実施前に山村民家の説明を行う場を設定するなど、解説の場面を増やした。実績としては、昨年度より22件少ない28件の解説希望及び対応があった。以下、学芸員、副館長、解説補助員が展示解説を行った団体等を列記した。解説補助員の名前には※印を付した。

学芸員・解説補助員等による団体への解説や研修

- ① 4月2日(木) FM高知6名 石畑
- ② 4月5日(日) 解説希望者1名 ※藤
- ③ 4月6日(月) こうち旅ひろば4名 ※藤
- ④ 5月7日(木) 高知新聞1名 西山・曾我
- ⑤ 5月11日(月) 金剛福寺3名 西山
- ⑥ 5月12日(火) 宗安寺2名 岡本副館長
- ⑦ 5月13日(水) 解説希望者2名 岡本副館長
- ⑧ 5月25日(月) とさてらす1名 西山
- ⑨ 6月3日(水) 高知新聞社1名 岡本副館長
- ⑩ 6月7日(日) 朝日新聞1名 岡本副館長
- ⑪ 6月10日(水) 吸江寺2名 岡本副館長・西山
- ⑫ 6月12日(金) すずめ通所センター26名 西山・中村・曾我・久保※体験活動のみ

- ⑬ 7月10日(金) 大乘寺・吸江寺・宗安寺計3名
岡本副館長
- ⑭ 7月11日(土) 円明院・和歌山県博館長計2名
岡本副館長
- ⑮ 7月12日(日) 学校資料を考える会4名 石畑
- ⑯ 7月17日(金) 土佐清水市教育委員会12名 石畑
- ⑰ 7月18日(土) 金剛福寺2名 岡本副館長
- ⑱ 8月3日(月) 解説希望者1名 ※筒井
- ⑲ 8月15日(土) 解説希望者6名 中村
- ⑳ 9月30日(水) 高知県立大学「地域学実習」20名
曾我
- ㉑ 10月18日(日) 高知県立大学「地域学実習」20名
曾我
- ㉒ 11月11日(水) 高新観光15名 曾我
- ㉓ 11月21日(土) 呈茶(山村民家)22名 中村
- ㉔ 11月22日(日) 呈茶(山村民家)26名 曾我
- ㉕ 11月23日(月) 呈茶(山村民家)37名 中村
- ㉖ 12月18日(金) クラブツーリズム14名
※筒井・藤
- ㉗ 1月16日(土) 火焚き(山村民家)7名 中村
- ㉘ 3月20日(土) 火焚き(山村民家)10名 中村



火焚き 1月16日

4 カルチャーサポーター

当館のカルチャーサポーター(以下カルサポ)はワークショップやイベントの運営をサポートしている。本年度は28人が登録し、25回の活動に延べ37人が参加した。ワクワクワークの事前研修なども実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策としてカルサポ会を中止したことをはじめ、館内の行事の中止や変更が相次いだ影響から参加延べ人数は例年の1/3程度に減少した。以下、カルサポの会と活動を表にまとめた。



カルチャーサポーターの活動 10月3日

カルチャーサポーターの活動

日時	活動内容	参加人数
6月26日	(教育普及) 魚梁瀬小学校むかし遊び	1人
8月1日	(教育普及) サマーミュージアム	1人
2日	(教育普及) サマーミュージアム	2人
3日	(教育普及) サマーミュージアム	2人
4日	(教育普及) 潮江小学校児童クラブ	1人
6日	(教育普及) サマーミュージアム	1人
7日	(教育普及) サマーミュージアム	1人
8日	(教育普及) サマーミュージアム	3人
9日	(教育普及) サマーミュージアム	3人
10日	(教育普及) サマーミュージアム	1人
12日	(教育普及) サマーミュージアム	1人
15日	(教育普及) サマーミュージアム	2人
16日	(教育普及) サマーミュージアム	3人
22日	(教育普及) サマーミュージアム	1人
23日	(教育普及) サマーミュージアム	1人
9月1日	(その他) 作業(吊り天井改修工事関係)	1人
8日	(その他) 作業(吊り天井改修工事関係)	1人
9日	(その他) 作業(吊り天井改修工事関係)	1人
10日	(その他) 作業(吊り天井改修工事関係)	1人
10月3日	(教育普及) 張り子絵付け体験	4人
11月6日	(教育普及) 障子はり準備	1人
7日	(教育普及) 障子はり	1人
12月16日	(教育普及) いろり火吹き竹製作	1人
17日	(教育普及) いろり薪割	1人
19日	(教育普及) いろり火焚き	1人
	25回	37人

5 れきみんサークル

本年度の会員は57人で、年齢構成や地域的分布は下記の通りである。本年度は休館期間があり新規の会員獲得には至っていない。継続中の会員には新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館と工事のための休館期間相当を会員期間の延長で対応した。また、カルチャーサポーター研修を兼ねて11月14日(土)に予定していたバスツアーは、応募者が最少催行人数に達せず、中止とした。

①都府県・市町村別会員数

高知市 28人	南国市 8人	安芸市 2人
香南市 2人	香美市 4人	土佐市 1人
須崎市 1人	四万十町 1人	
越知町 1人	土佐清水市 1人	
香川県 3人	徳島県 1人	大阪府 1人
愛知県 1人	東京都 1人	千葉県 1人

②男女別会員数

男性 30人 女性 27人

③年齢別会員数

10代 0人 20代 3人 30代 1人
40代 9人 50代 18人 60代 18人
70代 4人 80代 4人

6 参考業務等

県民や報道機関などから電話やメールで寄せられる問い合わせに対応する参考業務、および県民や研究者の調査来館は下記のとおりである。各学芸員が内容に応じて調査や対応をしている。本年度は長期休館したが、電話などによる参考業務の件数や対応時間は昨年度を大幅に上回り、当館の専門性が求められていることがわかる。

また、参考業務とは若干異なるが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い外出を控える傾向が強まり、家の中の片付けなどをする機会が増加したことから、家の押し入れや納屋を整理したり、倉庫や蔵を解体する際に出てきた資料についての相談・問合せもあった。

(1) 参考業務 (レファレンスサービス)

文化財・文化全般・博物館

1 保存管理・環境	0件	0分
2 指定物件に関すること	0件	0分
3 その他	0件	0分
合計	0件	0分

考古分野

1 展示資料に関すること	3件	70分
2 岡豊城跡とその他の城跡に関すること	1件	50分
3 その他	4件	165分
合計	8件	4時間45分

歴史分野

1 展示資料に関すること	11件	330分
2 収蔵資料に関すること	10件	350分
3 長宗我部氏関連	14件	480分
4 幕末維新関連	10件	305分
5 その他	19件	820分
合計	64件	38時間5分

民俗分野

1 展示資料に関すること	9件	572分
2 収蔵資料に関すること	4件	220分
3 その他	60件	3128分
合計	73件	65時間20分

美術工芸分野

1 展示資料に関すること	0件	0分
2 収蔵資料に関すること	0件	0分
3 その他	0件	0分
合計	0件	0分

総合計 144件のべ所要時間 106時間30分

(2) 調査来館対応

考古分野

資料閲覧等

合計 2件 9時間

歴史分野

板垣退助書簡・土陽新聞・ブラジル移民関係等

合計 6件 10時間20分

民俗分野

いざなぎ流・年中行事等

合計 3件 13時間

美術工芸分野

合計 0件 0分

総合計 11件のべ所要時間 32時20分

7 イベント

イベントは、新規来館者の開拓や来館者増に寄与しているものの、本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から高知県の休館要請により中止したイベントや、感染防止を徹底したうえで開催したものもあった。

感染症のため中止となったものは、春の時期の「第11回岡豊山さくらまつり」、「れきみんの日」、「第11回長宗我部フェス」である。

令和2年1月に国内初の感染者が確認され、令和2年度に全国的に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、多数の観客を集めることを前提とする現在のイベントについて、今後の在り方の検討を迫る大きな契機となっている。

大人数のイベントは現在、転換期にあり、参加者や主催者の安全と安心を確保することを大前提に、イベントの目的を実現でき、参加者の満足度を確保できる開催方法について、オンライン配信の活用などバーチャルな方法を含め、今後、幅広く検討していくことが求められている。

なお、主催が当館以外の団体の場合は、その旨を記した。

(1) 第11回岡豊山さくらまつり【中止】

桜の名所・岡豊山をPRするため、当館駐車場等を特設会場とするイベントを企画・進行していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、また、従来借用していた駐車場が感染症対策のため借用できなくなったことから令和2年3月9日(金)の実行委員会にて中止を決定した。

主催: 岡豊山さくらまつり実行委員会

(2) れきみんの日【中止】

観覧無料の開館記念日で、5月3日に19回目を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、4月10日から5月10日まで休館としたため、中止とした。

(3) 第11回長宗我部フェス【中止】

戦国武将・長宗我部氏を顕彰するイベント。前年好評であった「破天航路」の公演や豊後大友宗麟鉄砲隊（大分県）の演武など企画・進行していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため令和2年4月6日（月）、予定を前倒して実行委員会を開催し、中止を決定した。

主 催：長宗我部フェス実行委員会

(4) れきみん！サマーミュージアム

夏休み子ども向け企画として平成23年から開催（当初は「れきみんの夏祭り」として開催）しており、今年度は新型コロナウイルスの感染防止を考慮して、①8月1日（土）から23日（日）まで毎日参加できるプログラムと、②8月8日（土）、16日（日）のスペシャルプログラムの2つの構成とした。

①毎日実施したプログラム

・クイズに挑戦！

・姫魚ってなんだ？／赤べこってなんだ

2階ロビーに、コーナー展「疫病退散」にちなみ写真パネルによる展示「姫魚ってなんだ？」「赤べこってなんだ？」を開催した。「姫魚」は長さ3mに拡大印刷した姫魚の図を中央に貼り、姫魚と類似した妖怪たちを、湯本豪一記念日本妖怪博物館の協力を得て写真展示した。その展示の前で、姫魚の塗り絵を4種用意し、「赤べこってなんだ？」は、折り紙や色画用紙を使って参加者が工作できるコーナーを設けた。

・教えて！学芸員

高校生以下を対象として、夏休みの自由研究の応援プログラム（予約制）を用意したが、利用者はゼロであった。周知方法が今後の課題である。

・竹の水てっぽう・竹とんぼキット進呈

8/1～23の土日祝限定で中学生以下、先着10名にいずれかのキットをプレゼントし、中庭に体験できるスペースを設けた。

②スペシャルプログラム day

学校との連携で、高知県立高知東工業高等学校に「モノづくり体験コーナー」を昨年に引き続き実施してもらった（8/8は『振動で動くおもちゃをつくろう』、8/16は『木製グライダーをつくろう』）。その他、学芸員によるミュージアムトーク、グループで楽しめるゲームのプログラムや琥珀勾玉のキット販売も行った。

8月8日(土)・16日(日)日程

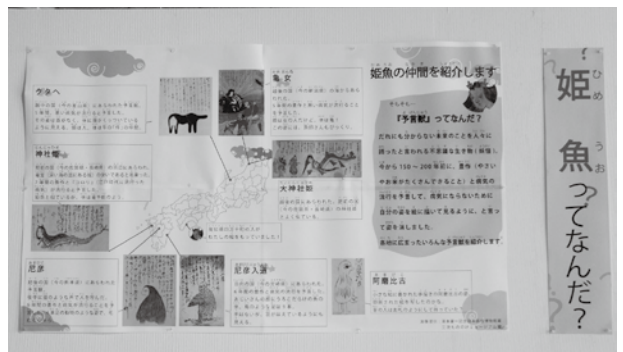
- 9：00～ 琥珀勾玉キット販売
 - 10：00～15：00 東工業高校のモノづくり体験コーナー（8/8情報技術部、8/16機械工作部）
 - 10：00～10：30 宝さがし@山村家
 - 10：00～15：30 謎解きゲーム「れきみんからの脱出」
 - 14：00～14：30 ミュージアムトーク
- 参加者数：1,136人（8月8日173人、8月16日242人）
カルチャーサポーターの応援：のべ22人



サマーミュージアム（風景）



姫魚パネル



姫魚ってなんだ？



サマーミュージアムチラシ

(5) 岡豊城跡をめぐる

土佐の七雄スタンプラリー

約半年予定されていた休館中、岡豊山歴史公園での自由散策をより楽しんでもらえるよう、スタンプラリーを企画した。公園内の案内看板（民家を含め8カ所）にスタンプを設置、山村民家にて記念品（岡豊城の「御城印」か「お城缶バッジ」、いずれも非売品）をプレゼント。押印するスタンプは戦国期の土佐の七雄と言われる国人の家紋を採用し、スタンプ台紙では県下に散らばる七雄に関する史跡の情報も得られるものとした。さらに新型コロナウイルス感染症への対策として、専用アプリ（COCOAR2）によるデジタル版スタンプラリーも同時開催した。休館中にもかかわらず、4県を除く全国からの参加があり、緊急事態措置がとられた期間があるものの約4割が県外からの参

加者であった。

また、11月21日（土）～23日（月・祝）に「元親と茶の湯－「呈茶席」もうけます」として、秋の民家の風情を併せて楽しんでもらう企画を実施し、65名（参加費：500円）が参加した。この企画では、岡豊城跡から出土した「天目茶碗」を高知県立埋蔵文化財センターで展示していたことから、連携企画として同センター観覧者に参加費の割引券を配布してもらうなど協力をいただいた。

期間：令和2年9月11日（金）～3年4月18日（日）

※休館期間延長に伴い延長

参加者（記念品交換）：2,379人 ※3/31まで

（4/18までの総数2,541人）



土佐の七雄スタンプラリー 記念品（左：お城缶バッジ 右：「御城印」）



土佐の七雄スタンプラリー ちらし

(6) れきみんのお正月【中止】

吊り天井改修工事で休館のため。

(7) 長宗我部元親 R A L L Y 10th

毎年、秋～冬の観光周遊促進を目的に開催。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スタンプ押印箇所を6カ所に絞ったが、10周年記念に特別に企画した「重ね押しスタンプ」が好評であった。また、高知県立埋蔵文化財センターで10周年記念のポスター展も開催した。

令和3年1月8日に東京都や神奈川県などで緊急事態措置がとられるなど、感染防止対策が強化され、特に県外からの集客は難しい状況であった。

開催期間：令和2年12月11日（金）～令和3年1月31日（日）

受付時間：9:00～16:30

主 催：長宗我部フェス実行委員会・南国市観光協会

参加者数：（スタンプラリー）193人



長宗我部元親 RALLY 10th ちらし

V 情報の発信

1 広報活動

当館では、館の認知度を高め、活動を広く外部へ発信し、観覧をはじめ、館の利用につなげるために企画展を軸として広報活動を行っている。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止や当初から予定されていた吊り天井改修工事による休館期間が延長になったため、開催を予定していた企画展の会期が変更されたり延期となった影響により、例年どおりの広報活動ができなかった。

館の活動全体の広報のため、館のリーフレット・『年間カレンダー』を観光案内所、旅館・ホテル等へ例年どおり配布したが、その効果は先に記載した理由により、限定的となった。

館のHP更新を主とした広報も行った。他機関運営の情報掲載サイトの活用は限定的であった。

SNS (Facebook, Twitter) による情報発信は継続して行い、休館情報・企画展・イベント等のお知らせ等において、いち早い情報発信を行うことができた。また新たに、来年度の開館30周年記念事業のプレ企画として「#さかのぼり歴史」と題し、これまでの企画展・特別展の内容の紹介文を発信した。

吊り天井工事による休館中は、屋外展示の山村民家(登録有形文化財 旧味元家住宅主屋)に職員が常駐し、来園者へのインフォメーション機能をもたせた上で「岡豊城跡をめぐる 土佐の七雄スタンプラリー」を実施し、その情報発信に努め、県内外から多くの来訪者を得た。

また、12月10日より展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」による展示解説情報を公開した。今後もコンテンツの充実を図る予定である。

本年度末には、吊り天井工事に伴う休館後の再開館告知広告を地元新聞・テレビ・ラジオの媒体を用いて行った。

他に、(公財)高知県文化財団の印刷物「イベントガイド」に情報提供するなどのPR活動も行った。

(1) 広報誌『岡豊風日』、企画展ポスター等の送付先と件数

以下のとおり企画展等の印刷物を配布し、PRを行っている。(各項目の数字は件数)

県内施設(図書館・市民会館等含)	95
県内マスコミ	15
県内大学	8
小・中・高等・特別支援学校、教育委員会	409
国立・県外博物館	254
県外マスコミ	37
県外大学	40
県外図書館	5
関係者等	67

史談会	13
観光、バス会社、道の駅等	153
デイケア等	134
企業等	20
官公庁、関係機関、評議員等(高知・南国市内持参)	169
寄贈・寄託者、個人	347
(公財)高知県文化財団関係者	37
資料収集委員会、資料調査員	37
合計	1,840件

(2) 展示・催しなどの報道機関等への情報提供

- ・文化振興課を通じて県政記者室へ情報提供
- ・南国市内14校(全校)と高知市内一部の14校の小学校へ家庭数のちらし送付

2 マスコミほかによる情報掲載等

(1) 企画展

◆企画展共通広報

- ・(公財)日本博物館協会『博物館研究』の「もよおし」
- ・(株)吉川弘文館『日本歴史』
- ・県政だより『さんSUN高知』「県立施設のご案内」
- ・高知県庁電子掲示板
- ・県内コンビニ等チラシ配架
- ・(公財)高知県観光コンベンション協会とさてらす営業所デジタルサイネージ
- ・(公財)高知勤労者福祉サービスセンター 会報誌「クンベル高知」
- ・『高知新聞』「こみゅっと」
- ・『高知新聞』「K+」
- ・『高知新聞』「ミリカ」
- ・こうちファミリーサポートセンター『ふぁみサポ通信』
- ・(株)ほっとこうち『ほっとこうち』
- ・朝日エリアコム(株)『こじゃんと』
- ・(株)イベントバンクWEBサイト「イベントバンク」
- ・弘文印刷(株)WEBサイト「高知イーブックス」
- ・(株)BTCompanyWEBサイト「美術手帖」
- ・(株)高陽堂印刷 こうちドン!事業部WEBサイト「高知のクチコミナビ こうちドン!」

◆補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺

1 報道機関

- ① 5/26 RKCラジオ「市町村ガイド」(岡本出演)
- ② 6/8 『朝日新聞』高知版「観音霊場 修復の仏像公開」
- ③ 6/9 NHK高知放送局ラジオ 夕方のニュース
- ④ 6/10 NHK高知放送局ラジオ 朝のニュース
- ⑤ 6/11 『高知新聞』朝刊「金剛福寺の仏像 初展示」
- ⑥ 6/14～20 KSSさんさんテレビ「プラスナビ」
- ⑦ 6/22 KUTVテレビ高知 夕方のニュース
- ⑧ 7/17 『毎日新聞』高知版「金剛福寺の仏像32体を展示」

2 その他

- ① 4/26～7/5 高知県立埋蔵文化財センター
企画展「長宗我部の時代」チラシ
- ② 5/1 (株)アドブレーション『こうち探検ミュージアム』
5.6月号 Vol.79
- ③ 5/28 『週刊仏教タイムス』「講座・講演会」
- ④ 6/5～7/19 (一社)南国市観光協会 WEBサイト
- ⑤ 6/11 『週刊仏教タイムス』「講座・講演会」
- ⑥ 7/1 藍生俳句会『藍生』第358号

(2) コーナー展

◆コーナー展「疫病退散」

1 報道機関

- ① 4/13 NHK 高知放送局 「姫魚の絵」
- ② 5/5 『朝日新聞』「四国お宝巡礼 姫魚の絵」
(梅野執筆)
- ③ 5/19 RKC 高知放送 「こうち eye」
- ④ 5/19 『朝日新聞』高知版「疫病封じの使 我も我も」
- ⑤ 7/5 『読売新聞』
- ⑥ 7/9 『高知新聞』「「疫病退散」の文化紹介」
- ⑦ 7/21 『毎日新聞』高知版「疫病よけの歴史知って」
- ⑧ 7/24 KUTV テレビ高知 「イブニング高知」
- ⑨ 8/10 NHK 高知放送局 ラジオ朝のニュース

2 その他

- ① 7/1 (株)アドブレーション『こうち探検ミュージアム』
7.8月号 Vol.80
- ② 7/1 (株)ほっとこうち『ほっとこうち』
- ③ 8/1 (株)BTCompanyWEB サイト「美術手帖」
- ④ 8月 (公財)高知県観光コンベンション協会
とさてらす発行チラシ「イベントガイド」
- ⑤ 9月 朝日エリアコム (株)『こじゃんと』9月号
- ⑥ 11/15 土佐神社奉賛会『志那祢 第15号』「災厄除
けの民俗信仰」

(3) 館全体

1 報道機関

- ① 4/1 RKC ラジオ「あさドレッ!わいど」(梅野出演)
- ② 5/15 『京都新聞』「ソフィア京都新聞文化会議
土佐への遠流、京とのゆかり」(石畑執筆)
- ③ 7/17 『高知新聞』「読もっか」
- ④ 9/13 『高知新聞』朝刊「岡豊城跡で家紋印集めを」
- ⑤ 11/27 『高知新聞』朝刊「元親に思いはせ茶の湯楽しむ」
- ⑥ 12/10 『高知新聞』「元親ラリー あすから」
- ⑦ 12/22 『高知新聞』「岡豊城 聞いて楽しんで」
- ⑧ 1/15 RKC 高知放送 「こうち eye」
- ⑨ 3/19 RKC 高知放送 ぶちぬき FRIDAY in 南国市
(岩本出演)
- ⑩ 3/21 『高知新聞』「長宗我部氏の盛衰 図録に」
- ⑪ 3/26 『高知新聞』「龍馬記念館と歴史館に新館長」

2 その他

- ① 4月 (株)イベントバンク WEBサイト「イベントバンク」
- ② 5月 (株)KADOKAWA WEBサイト「Walkerplus」
- ③ 12/27 (株)ワン・パブリッシング『日本100名城

- と続日本100名城に行こう』
- ④ 12/28 (一財)四国電気保安協会『電気と保安』
No.287「新・四国名所図会46」
- ⑤ 1月 (株)ほっとこうち『トサコレ』
- ⑥ 2月 (株)JTBパブリッシング『るるぶ高知 四万十'22』
- ⑦ 2月 TAC出版(株)『おとな旅プレミアム四国'
21～'22年版』
- ⑧ 2月 西日本高速エンジニアリング四国(株)『四
国の風』「土佐のまほろば風景街道」
- ⑨ 3/6 (株)PHP研究所『歴史街道』
- ⑩ 3月 (一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンター
『全福ネットガイドブック 2021年度版』
- ⑪ 3月 (株)朝日新聞出版『地域別だからわかる戦国史』
- ⑫ 3月 (公財)高知県観光コンベンション協会
『タクシー・ハイヤーで巡る「土佐の旅」』
- ⑬ 3月 (一社)物部川DMO協議会『高知県公式ガ
イドブック』
- ⑭ 通年 (公財)高知県観光コンベンション協会 とさてらす
営業所 「高知県自然&体験キャンペーン
公式ガイドブック」Vol.4
- ⑮ 通年 高知県「高知旅 ガイドブック 志国・高
知順礼」
- ⑯ 通年 高知県バリアフリー観光に関する特設 WEB サイト
- ⑰ 通年 (株)ナビタイムジャパン ナビゲーションアプリ

◆れきみん!サマーミュージアム

1 報道機関

- ① 7/23 『高知新聞』「ミリカ」
- ② 8/8 『高知新聞』朝刊「歴史館 夏休みの学び応援」
- ③ 8/10 『朝日新聞』「疫病退散 姫魚を描こう 南国」
- ④ 8/19 『毎日新聞』「きれいに飛ぶかな?」

2 その他

- ① 8/1 (株)暮らしの情報社『暮らしの情報』8月号
- ② 8月 (株)ほっとこうち「ほっとこうち」WEB
- ③ 8月 朝日エリアコム(株)『こじゃんと』8月号
- ④ 8月 南国市『広報なんこく』8月号
- ⑤ 8月 県内コンビニ等チラシ配架
- ⑥ 8月 (公財)高知県観光コンベンション協会
とさてらす営業所 デジタルサイネージ
- ⑦ 8月 (公財)高知県観光コンベンション協会
とさてらす営業所チラシ

◆岡豊城跡をめぐる 土佐の七雄スタンプラリー

1 報道機関

- ① 9/13 『高知新聞』朝刊「岡豊城跡で家紋印集めを」
- ② 9/24 『高知新聞』「K+」
- ③ 9/27 『読売新聞』高知版「スタンプラリーで御城印」
- ④ 9/30 KUTV テレビ高知「からふる」
- ⑤ 10/5 『高知新聞』朝刊「新聞を読んで 自力で楽
しむ岡豊城跡」(宅間一之氏執筆)

2 その他

- ① 9月 (株)ほっとこうち『ほっとこうち』WEB
- ② 10～3月 (株)高陽堂印刷 こうちドン!事業部
WEBサイト「高知のクチコミナビ こうちドン!」

- ③ 11月 高知県生涯学習支援センター WEB サイト
「まな Viva! Search」
- ④ 1月 朝日エリアコム (株)『こじゃんと』1月号
- ⑤ 2月 (一社)物部川 DMO 協議会 WEB サイト

累計アクセス数 585,276 件

3 IT (情報技術) による情報発信

(1) 館公式ホームページ

1999年11月より(公財)高知県文化財団の一員として館の公式ホームページを開設している。掲載項目は「お知らせ」「展示と催し」「ご利用について」「刊行物」「国史跡・岡豊城跡」「ミュージアムショップ」「旧味元家住宅主屋」「その他のメニュー」「リンク」「サイトマップ」「プライバシーポリシー」「更新履歴」「Facebook」「Twitter」。また、平成22年度末よりトップページと一部項目については外国語(英語・中文(簡体字)・中文(繁体字)・ハングル)対応ページ、4言語版の館リーフレットのPDFファイルを掲載している。

ホームページアドレスは次のとおり。

<https://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/>

◆ホームページの掲載・更新

合計 43 回更新

◆ホームページアクセス数

- ① 2000.5.26 ~ 2001.3.31 6,460 件
- ② 2001.4.1 ~ 2001.10.31 6,683 件 (累計 13,143 件)
- ③ 2001.11.1 ~ 2002.4.24 6,095 件 (累計 19,238 件)
- ④ 2002.4.25 ~ 2002.10.31 8,429 件 (累計 27,667 件)
- ⑤ 2002.11.1 ~ 2002.11.12 528 件 (累計 28,195 件)
- ⑥ 2002.11.13 ~ 2003.2.19 4,607 件 (累計 32,802 件)
- ⑦ 2003.2.20 ~ 2003.3.8 975 件 (累計 33,777 件)
- ⑧ 2003.3.9 ~ 2003.3.31 962 件 (累計 34,739 件)
- ⑨ 2003.4.1 ~ 2003.6.6 3,979 件 (累計 38,718 件)
- ⑩ 2003.6.7 ~ 2003.10.2 10,412 件 (累計 49,130 件)
- ⑪ 2003.10.3 ~ 2004.2.14 10,746 件 (累計 59,876 件)
- ⑫ 2004.2.15 ~ 2004.3.31 2,076 件 (累計 61,952 件)
- ⑬ 2004.4.1 ~ 2005.3.31 19,614 件 (累計 81,566 件)
- ⑭ 2005.4.1 ~ 2006.3.31 28,042 件 (累計 109,608 件)
- ⑮ 2006.4.1 ~ 2007.3.31 23,093 件 (累計 132,701 件)
- ⑯ 2007.4.1 ~ 2008.3.31 24,084 件 (累計 156,785 件)
- ⑰ 2008.4.1 ~ 2009.3.31 26,654 件 (累計 183,439 件)
- ⑱ 2009.4.1 ~ 2010.3.31 16,114 件 (累計 199,553 件)
- ⑲ 2010.4.1 ~ 2011.3.31 28,316 件 (累計 227,869 件)
- ⑳ 2011.4.1 ~ 2012.3.31 21,226 件 (累計 249,095 件)
- ㉑ 2012.4.1 ~ 2013.3.31 32,290 件 (累計 281,385 件)
- ㉒ 2013.4.1 ~ 2014.3.31 31,156 件 (累計 312,541 件)
- ㉓ 2014.4.1 ~ 2015.3.31 36,020 件 (累計 348,561 件)
- ㉔ 2015.4.1 ~ 2016.3.31 40,981 件 (累計 389,542 件)
- ㉕ 2016.4.1 ~ 2017.3.31 43,274 件 (累計 432,816 件)
- ㉖ 2017.4.1 ~ 2018.3.31 44,673 件 (累計 477,489 件)
- ㉗ 2018.4.1 ~ 2019.3.31 35,020 件 (累計 512,509 件)
- ㉘ 2019.4.1 ~ 2020.3.31 40,387 件 (累計 552,896 件)
- ㉙ 2020.4.1 ~ 2021.3.31 32,380 件 (累計 585,276 件)

令和2年度アクセス数 32,380 件

◆ホームページリンク

現在当館 HP 掲載のリンク先は、高知県の HP、(公財)高知県文化財団、南国市観光協会のほか、高知県内の観光施設および文化施設 11 件、高知県外の観光施設および文化施設 7 件、その他の団体 4 件の計 25 件となっている。(当館から外部ホームページへのリンクは博物館等のほかは認めていない。)

本年度、外部から当館 HP へのリンク申請は以下の 1 件であった。

7/1 こうちファミリーサポートセンター

<https://kumpel-kochi.com/family-support.html>

(2) SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の利用

平成31年1月3日より「高知県立歴史民俗資料館」のアカウントで館公式 Facebook と Twitter による情報発信を行っている。企画展をはじめとする館主催の催しや岡豊山歴史公園等をテーマに SNS の即時性を活かして情報発信を行っている。

4 広告

(1) 企画展

◆補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺

- ① 4/9(木) 『日本経済新聞』『日経REVIVE』2020年4月号

(2) 館全体・その他

- ① 3/19(金)~5/18(火) ヤフー(株)YAHOOインフォード
- ② 3/26(金) (株)デイリーインフォメーション関西「Biz Life Style」No.69
- ③ 3/26(金)~31(水) RKC ラジオ 20秒20本
- ④ 3/26(金)~31(水) KUTV テレビ高知 15秒21本
- ⑤ 3/28(日) 『高知新聞』半5段

5 他機関との連携、様々な機会をとらえた情報発信

(1) 他機関と連携した PR

- ① 4/1 ~ 2/28 (公社)高知市観光協会「楽!楽!高知で泊まるきキャンペーン Ver.3」への参画
- ② 4/1 ~ 3/31 四国旅客鉄道(株)「駅から観タクン」への協賛
- ③ 4/1 ~ 3/31 (公財)高知県観光コンベンション協会「MY 遊バス」への協賛
- ④ 4/1 ~ 3/31 (公財)高知県観光コンベンション協会「龍馬パスポート」への参画
- ⑤ 4/1 ~ 3/31 (株)リロクラブ「RELO CLUB」優待サービスとの提携
- ⑥ 7/18 ~ 2/28 高知県自然・体験型キャンペーン実行委員会「『リョーマの休日』ビンゴでゲット!周遊ラリー」への参画
- ⑦ 8/1 ~ 9/6 (公財)高知県文化財団「ミュージアムスタンプラリー」への参画

(2) 他機関主催イベントなどの場での PR

- ① 7/29 ~ 9/11 (株)丹青社内インターネットミュージアム

ジウム事務局「ミュージアムキャラクターアワード」への参加

- ② 12/19,20 お城 EXPO 実行委員会「お城 EXPO 2020」にて「土佐の七雄スタンプラリー」等のチラシ配布

6 広報プロジェクトチームの活動

吊り天井改修工事による休館からの再開館等の告知についての企画立案と実施（新聞・テレビ・ラジオの有料広告）を令和3年3月に行った。

また、「ポスター貼ります隊」の登録隊員9名によるポスター掲示による企画展等の広報活動も行った。

隊員の登録は年度毎としており、次年度以降も募集し、県民密着・参加型の広報活動の一環として継続を図りたい。



令和2年6月11日（木）『高知新聞』朝刊



令和2年7月21日（火）『毎日新聞』



令和2年9月13日（日）『高知新聞』朝刊



令和2年12月22日（火）『高知新聞』



令和3年3月28日（日）『高知新聞』半5段

Ⅵ ネットワーク

当館は、県内外の博物館や立地する岡豊山周辺、民具を保管する香美市物部町などさまざまな施設や地域と連携しているが本年度も新型コロナウイルス感染防止のため、会合や事業が中止となった。

1 日本博物館協会

公益財団法人日本博物館協会は、博物館に関する諸事業の実施を通じて、博物館の健全な発達を図り、社会教育の進展に資するとともに、我が国の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動している。『博物館研究』の発刊（月刊）の他、全国博物館大会を開催（毎年）し、講演会、シンポジウム等を通して博物館に関する諸問題について研究協議を行ったり、全国博物館長会議を開催（毎年）し、行政報告のほか、時宜に適したテーマについて研究協議を行ったりしている。平成25年に公益財団法人に移行してからは、当館からは参与として館長が参加している。

○令和2年度全国博物館長会議

新型コロナウイルス感染防止の観点から中止

○第68回全国博物館大会

会 期：令和2年11月25日（水）～11月26日（木）

会 場：横浜市開港記念会館（神奈川県横浜市）他

テーマ：「変化の中の博物館－新たな役割と可能性－」

参加者：福田道則館長

（担当 西山）

2 四国地区博物館協議会

四国地区博物館協議会は、四国にある美術館、博物館、動物園、水族館が集まり、博物館事業の発展のために話し合いを進めている協議会で、四国4県から公立・私立問わず77館が加盟し、年に1回、総会を開いて情報を交換している。令和2・3年度は愛媛県美術館が会長館となり、当館も副会長館の一つとして県内の各加盟館との連絡調整にあたるなど運営に携わった。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため役員会・総会が紙面開催となった他、研修・視察は中止となった。議題の内容を記す。

令和2年12月

議 題・令和元年度事業報告、決算報告及び監査報告

- ・令和2年度役員の改選について
- ・令和2年度事業計画及び予算
- ・ホームページの情報更新等について
- ・その他

ホームページ事業

四国地区博物館協議会設立50年記念事業として平成23年に制作・開設したホームページを引き続き維持管理し、広く加盟館情報を提供・発信する。今回の作業において、登録していた当館の施設概要について情報を修正した。

（担当 西山）

3 こうちミュージアムネットワーク

同ネットワークは、県内の博物館等の文化施設及び行政・教育機関が、情報共有や研修会等の開催を通して職員の資質向上を図り、文化施設の活性化及び県民への文化的サービスの提供を促進することを目的に、平成15年度に発足し、平成24年度からは独立した組織として活動を行っている。当館は幹事館として参加している。

本年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、「志・とさ学びの日」の関連企画として、来館しなくても博物館の作成した動画を見ることができる「インターネットミュージアム」を立ち上げた。当館でも館と岡豊山の概要を解説する動画を1本制作した（教育普及参照）ほか、NPOの高知文化財研究所制作の「国登録文化財 旧味元家住宅」がアップされている。

また、外出を控える家庭などで資料や文化財の廃棄が進むことから、捨てる前にネットワークに連絡してもらう「歴史・文化・自然史資料の保存・継承について県民の皆様並びに諸機関へお願い」と題した文書を配布・発信し、事務局から対応を依頼された「軍医吉本其葉関係資料」を調査し、受託することになった（収集保存参照）。

そのほか、本年度は下記の会合等に参加・出席した。

①総会（新型コロナウイルス感染症の感染状況拡大により書面表決（令和2年6月30日（火）提出締切）となり、情報交換会は中止）

②第1回幹事会（令和2年6月25日（木）、場所：高知県立高知城歴史博物館）

③第2回幹事会（令和2年9月9日（水）、場所：高知県立高知城歴史博物館）

④志・とさ学びの日 動画撮影・編集のための研修会（令和2年10月8日（木）、場所：高知県立高知城歴史博物館）

⑤第3回幹事会（令和2年11月12日（木）、場所：高知県立高知城歴史博物館）

⑥第4回幹事会（令和3年2月6日（土）、場所：高知県立高知城歴史博物館）

（担当 石畑）

4 土佐のまほろば地区振興協議会

本年度は、土佐のまほろば地区振興協議会の会員をガイドに「土佐のまほろばウォークー「れきみん」とまほろばクエスト」を「龍馬パスポートⅢ協賛体験プログラム」（高知県観光コンベンション協会主催）及び「高知家健康パスポート」（高知県健康長寿政策課主催）の指定イベントとして開催した。休館中の屋外イベントを充実させるため、通常の2倍となる計8回を計画し、9月19日（土）、10月25日（日）、11月27日（金）、令和3年1月27日（水）、2月21日（日）

に実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月25日（土）、5月28日（木）、12月19日（土）は止む無く中止とした。いずれも定員を上回る申し込みがあり、中止となった回の再企画の要望もあった。

参加者：105人

（具体的な内容は「Ⅳ教育普及」参照）

また、12月2日（水）午前、県道入り口から岡豊山擁壁部分にパンジーやビオラなど450株を女性部10名と当館職員で植栽した。休館中ではあるものの、岡豊城跡や山村民家への導入部として明るい雰囲気づくりができた。

しかし、例年協力いただいている「岡豊山さくらまつり」、「長宗我部フェス」がいずれも中止となり、「れきみん！サマーミュージアム」では新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小したことなどによりイベントへの参画はなかったが、次年度以降、実行委員やボランティアとしての活動を期待し、ともに取り組んでいきたい。

（担当 総務事業課）



小春日和の植栽風景（12月2日）

5 旧大栃高校の活用

平成23年6月から香美市旧大栃高校の体育館（906.95㎡）と多目的棟3階格技場（412.8㎡）に当館所蔵の民俗資料の一部を保管している。旧大栃高校の活用を促進するため、平成24年9月からは地域と連携して「いざなぎ流と物部川流域の文化を考える会」を発足させ、調査研究、公開普及事業、情報発信などを実施してきた。

本年度も当初は第9回となる旧大栃高校民俗資料一般公開を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のために開催を見合わせた。一方では視察が2件、小学校2校の見学があった。

また奥物部美術館（香美市物部町大栃）が「いざなぎ流」展開催の計画をしており、展示内容などの相談に対応した。

①小学校等の見学

8月31日 香美市立大宮小学校3年生29人、教員2名

11月30日 香美市立楠目小学校3年生38人、教員2名

②視察

5月18日 香美市立大栃小中学校教員等7名

令和3年1月22日 高知県議会議員3名

（担当 梅野）



大宮小学校の見学（8月31日）

6 共催・後援事業

〔後援事業〕

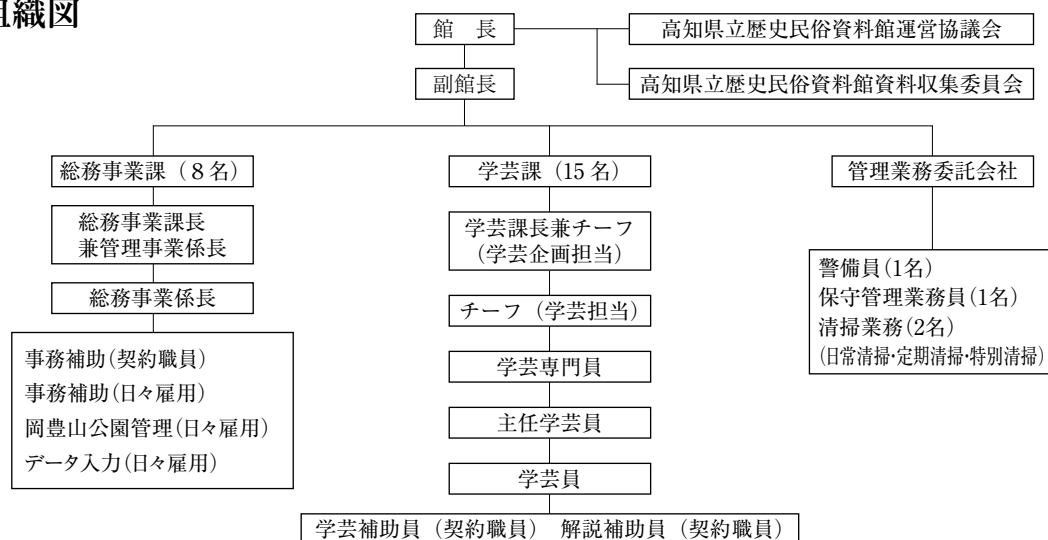
①第4回「堺事件から150年記念式典」

令和3年2月23日（火・祝）に開催が予定されていたが中止となった。

主催：堺事件を語り継ぐ会

Ⅶ 管理運営・マネジメント

1 組織図



2 職員名 (令和2年度)

館長	福田 道則
副館長	岡本 桂典
総務事業課	学芸課
課長兼管理事業係長	課長兼チーフ (企画担当)
野中 浩二	西山 浩生
総務事業係長	チーフ (学芸担当)
岩本 佐代	梅野 光興 (民俗)
契約職員	学芸専門員
小松 香織 (事務補助)	中村 淳子 (民俗)
契約職員	主任学芸員
葛目 梨香 (事務補助)	曾我 満子 (考古)
日々雇用	学芸員
吉田 桃子 (事務補助)	那須 望 (美術工芸)
日々雇用	学芸員
田所 秀夫 (岡豊山公園管理)	石畑 匡基 (歴史)
日々雇用	契約職員
中沢 正文 (岡豊山公園管理)	久保 由美 (学芸補助員)
日々雇用	契約職員
中内 雅士 (データ入力)	佐藤 ゆみ (学芸補助員)
	契約職員
	西田 由紀 (学芸補助員)
	契約職員
	北村 優子 (学芸補助員)
	契約職員
	岩根令以子 (学芸補助員)
	契約職員
	土居 典子 (受付・解説補助員)
	契約職員
	筒井美貴子 (受付・解説補助員)
	契約職員
	藤 清恵 (受付・解説補助員)
	契約職員
	式地沙耶香 (受付・解説補助員)

3 事務分掌

総務事業課

- 1 公印の管理に関する事。
- 2 庶務に関する事。
- 3 入館料等の徴収に関する事。
- 4 減免等申請手続きに関する事。
- 5 予算・決算及び経理に関する事。
- 6 館内施設、公園等屋外施設の管理に関する事。
- 7 入館券、招待券、図録、販売物などの管理に関する事。
- 8 事業会計に関する事。
- 9 自主事業の企画推進に関する事。
- 10 れきみんサークルの管理に関する事。
- 11 その他、他課の所掌に属さない事。

学芸課

- 1 展示物・展示室の管理に関する事。
- 2 企画展示に関する事。
- 3 入館者の案内、展示解説に関する事。
- 4 資料の収集・整理・保存に関する事。
- 5 講座・体験学習等教育普及に関する事。
- 6 考古・歴史・民俗・美術工芸の調査研究に関する事。
- 7 研究図書、資料データ等情報の整理保存に関する事。
- 8 県内他館との連絡調整に関する事。
- 9 博物館実習、職場体験等の受入に関する事。
- 10 調査・研究協力に関する事。
- 11 広報活動に関する事。
- 12 カルチャーサポーターに関する事。
- 13 運営協議会・資料収集委員会に関する事。

4 予算

●令和2年度各事業の当初予算

(単位：千円)

事業名称		金額
歴史民俗資料館管理費		126,100
歴史民俗資料館事業費		28,850
内 訳	企 画 展	9,491
	通常展示・事業運営	4,537
	基礎事業 (資料収集・保存・調査・研究)	5,918
	教育普及	1,589
	広報活動	1,985
	旧大栃高校活用事業	383
	民活促進事業	451
	事業企画活動	4,496
計		154,950

●歴史民俗資料館事業費内訳

(単位：千円)

科目	企画展1	企画展2	企画展3	企画展4	企画展計	通常展示 (含むミニ企画)・ 事業運営	基礎事業 (資料収集・保存・調査・研究)	教育普及	広報活動	旧大栃高校活用事業	民活促進事業	事業企画活動	合計
	66日 福寺4月24日～6月28日	補陀洛東門開く 52日間 7月17日～9月6日	土佐人山本忠興と近代オリ ンピック										
賃金支出	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金支出	430	150			580	125	440	190	24	55	175	252	1,841
会議費支出	11	14			25	0	0	33	0	6	0	5	69
旅費支出	147	149			296	512	407	13	0	84	35	351	1,698
交際費支出	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費支出	133	55			188	822	1,030	365	0	20	10	99	2,534
修繕費支出	0	0			0	0	20	30	0	0	0	0	50
印刷製本費支出	773	729			1,502	1,704	319	462	832	109	0	330	5,258
水道光熱費支出	0	0			0	0	0	6	0	0	0	0	6
通信運搬費支出	90	90			180	138	32	0	141	54	28	30	603
手数料支出	0	0			0	10	16	0	0	0	0	40	66
保険料支出	200	20			220	0	42	36	0	5	13	0	316
広告料支出	0	0			0	0	0	0	900	0	0	133	1,033
委託料支出	3,742	2,654			6,396	1,165	3,216	0	88	50	0	2,138	13,053
使用料及び賃借料支出	0	100			100	0	396	454	0	0	190	1,118	2,258
什器備品購入費支出	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金補助及び交付金支出	0	0			0	61	0	0	0	0	0	0	61
租税公課費支出	2	2			4	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	5,528	3,963	0	0	9,491	4,537	5,918	1,589	1,985	383	451	4,496	28,850

5 運営協議会

高知県立歴史民俗資料館運営協議会は平成10年度に発足し、本年度で23年目となる。会議では館の運営に関する報告を行い、委員からは調査研究の方向性、教育普及のあり方、資料の収集方針、ボランティア活動など館運営全般についてのご意見をいただいている。

本年度は、館蔵品の情報公開、展示解説ガイドアプリ、吊り天井改修工事の内容やその休館中の業務、新型コロナウイルス対策、他館・学校との連携、民家の活用、「市民学芸員」などについてのご意見を書面にていただき、館から回答をお返すするという方法をとった。

委員は各学術分野の学識経験者、報道機関、学校長、館利用者で構成されていて、下表のとおりである。

●高知県立歴史民俗資料館運営協議会委員 7名

氏名	所属役職等
天野 弘幹	高知新聞社編集局 学芸部長 マスコミ
大野 充彦	高知市史編纂委員会近世部会 歴史【会長】
門脇由紀子	カルチャーサポーター 利用者
佐藤 恵里	高知県立大学名誉教授 近世演劇・民俗芸能【副会長】
島内 祥夫	南国市立岡豊小学校長
常光 徹	国立歴史民俗博物館名誉教授 民俗
時枝 務	立正大学文学部教授・立正大学博物館長 考古・博物館

(任期：令和2年8月1日～令和4年7月31日)

●令和2年度 運営協議会

新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、書面で開催した。

日時：令和3年2月22日 委員へ資料送付

令和3年3月31日 委員へご意見まとめ送付

審議事項：1 前回のご意見と対応状況について

2 令和2年度事業実績について

3 令和3年度事業計画について

4 令和3年度活動重点事項

5 令和2、3年度収支予算書

6 資料収集委員会

高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会は平成13年度に発足し、本年度で20年目となる。委員会では、当該年度における受贈・受託や購入等による受入資料に関する報告を行い、委員からは収集資料に関する意見や収集への対応などに関する提言をいただいている。

●高知県立歴史民俗資料館資料収集委員 5名

氏名	所属役職等
池田 宏	東京国立博物館名誉館員
松島 朝秀	国立大学法人高知大学准教授
神野 善治	武蔵野美術大学名誉教授
久保 智康	京都国立博物館名誉館員 叡山学院教授【副委員長】
津野 倫明	国立大学法人高知大学教授【委員長】

(任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日)

●令和2年度 資料収集委員会

新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、書面で開催した。

日時：令和3年2月16日 委員へ資料送付

令和3年3月31日 委員へご意見まとめ送付

議題：1 前回のご意見への今年度の対応

2 令和2年度の収集資料について

3 民俗分野の資料収集について

7 資料調査員

昭和62年度、当館の開館準備を援助する目的で設置された。開館後は各分野の資料調査の協力員として、さまざまな調査を依頼している。

●高知県立歴史民俗資料館 資料調査員 35名

調査員氏名	主な担当地域・分野
朝倉 千代	(民俗資料)
池田 十三生	四万十町
井出 幸男	(民俗芸能)
岡林 光穂	(民俗資料)
尾崎 誠一	(民俗資料)
掛水 一公	仁淀川町
片岡 剛	(歴史資料)
上村 敬介	香美市 R 3.3.14 逝去
熊田 光男	津野町
香崎 和平	須崎市
後藤 孝一	(建造物)
小林 和香	安芸市
小松 勝記	(遍路資料)
芝藤 敏彦	(和船)
田岡 重雄	いの町
高橋 俊和	(近・現代資料)
田中 恵	香美市物部町
戸田 猛夫	(民俗資料)
豊田 満広	(歴史資料)
中村 茂生	(歴史資料)
中脇 修身	(建造物)
野々村 昭美	(民俗資料)
野本 亮	(歴史資料)
橋本 雄幸	馬路村
濱田 眞尚	(歴史資料・工芸)
堀田 幸生	芸西村
松島 朝秀	(保存科学)
松本 孝	(民俗資料)
溝渕 博彦	(建造物)
港谷(原田)英祐	東洋町
宮崎 朝子	(民俗資料)
宮里 修	(考古資料)
目良 裕昭	(歴史資料)
矢木 伸欣	宿毛市
吉松 靖峯	(歴史資料)

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

8 多目的ホールの利用

7件(412人)ホールの利用(学校のビデオ視聴等を含む)があった。また、エントランスホールのみで「前田博史写真展 海の処方箋 交わるところ」(会期:令和2年3月23日~4月5日)を開催した。

9 旧味元家住宅主屋の利用とメンテナンス

本年度の旧味元家住宅主屋の利用(貸出を含む)とメンテナンスについては、下記のとおりである。なお、休館中には、土佐の七雄スタンプラリーの受付やチェックポイントとなったほか、呈茶やワクワクワークを行い、12月以降は月1回程度、囲炉裏に火を入れた。

●民家の利用

- 9月11日(金)~令和3年4月18日(日)
土佐の七雄スタンプラリー 2,541名
10月3日(土) ワクワクワーク
「土佐和紙漆喰張り子 うしの絵付」17名
11月7日(土) ワクワクワーク「障子はり」 7名
11月21日(土)~11月23日(月祝) 呈茶 65名

●民家のメンテナンス

- 4月23日(木) 茅屋根葺き棟梁の川上義範氏による
雨漏りの場所の確認とメンテナンス
7月28日(火) 茅屋根修繕
9月5日(土) 台風に備えワイヤーを張る
12月19日(土) 囲炉裏の火焚き
令和3年
1月16日(土) 囲炉裏の火焚き(7名体験)
1月31日(日) 囲炉裏の火焚き用薪割
2月20日(土) 囲炉裏の火焚き
3月10日(水) 資料調査員の溝渕博彦氏による民家
の傾きの有無の調査
3月20日(土) 囲炉裏の火焚き(10名体験)
3月31日(火) 茅屋根葺き棟梁の川上義範氏による
雨漏り修繕

10 岡豊山歴史公園管理

歴史公園の管理は2名で実施した。本年度も、新型コロナウイルス感染症の中、県内外の来園者があり、詰、二ノ段などの園路階段の草刈り、プロアールによる清掃を行った。大雨前後に園内の落葉等、排水溝の落葉の撤去を実施した。

令和3年5月には風雨により折れる桜の木等が目立ち始め、来園者の安全確保や樹木の適正な管理のため6月に危険な枝等の伐採を行った。

数年間本格的なツツジの剪定を実施していなかったため遊歩道に枝が張り出し、通行に支障が出たことから民家から県道までのツツジの剪定を11月に行った。また、蜂の巣が確認され駆除も実施した。

岡豊山歴史公園内の桜の老木化が進んでいるが、公益財団法人高知県森と緑の会から病気の枝の剪定や施肥について協力の申し出があり、1月17日に作業を実施した。また、それに先立ち桜の木の下草刈を委託して実施した。

令和3年になり、桜の木の立ち枯れなどが目立ち枯れ

があり歩行者、車への安全確保のため伐採と伐採木の処分を行った。

岡豊城跡詰の南東に位置する樹木が高木となり、岡豊山からの眺望がきかなくなっていることから、42本の高木を低木化、枯れ木を伐採した。

3月には岡豊山歴史公園の全体の草刈り作業を行った。



「詰からの眺望」

11 令和2年度高知県立歴史民俗資料館修繕工事等

- 歴史民俗資料館展示物養生委託業務
業務番号:委文振第2-1号
履行期間:令和2年8月17日~令和3年3月31日
- 歴史民俗資料館吊り天井改修工事
工事番号:建第2-14号
履行期間:令和2年7月1日~令和3年3月7日
東日本大震災を契機に改正された建築基準法施行令で定められた大規模な天井の脱落対策として、総合展示室、長宗我部展示室及びエントランスホールの天井に落下防止ネットを設置する工事を高知県が実施した。また、この工事に合わせて防犯カメラを更新した。工事の施工には展示資料の撤去が必要であったため、令和2年9月7日から令和3年4月28日まで休館した。
- 歴史民俗資料館吊り天井改修工事監理委託業務
業務番号:第2-31号
履行期間:令和2年7月17日~令和3年3月15日
- 歴史民俗資料館展示ケース内装解体・復旧作業委託業務
業務番号:委文振第2-4号
履行期間:令和3年1月12日~令和3年3月26日
- 歴史民俗資料館雨漏り対策修繕工事
工事番号:建第2-44号
工期:令和2年12月14日~令和3年2月26日
- 高知県立歴史民俗資料館展示室殺菌・清掃業務
業務番号:委文振第2-5号
履行期間:令和3年3月16日~令和3年3月30日

○その他、修繕等

内 容	完了日
消防設備 誘導灯本体・消火器取替修繕	5月29日
空調設備 外気ダンパ及び中性能フィルター取替	11月30日
第1受水槽定水位弁本体交換	2月13日
公用車ダイナモ(発電機)交換、点検・整備	3月20日

12 防災及び危機管理体制

①危機管理体制

高知県立歴史民俗資料館では、館職員と警備・環境管理業者と自衛消防団を組織し、非常時に備えている。緊急時には夜間でも職員に連絡を取り、出勤する体制としている。

②防災訓練

毎年実施しており、本年度は4月14日(火)に南国市消防署立会の下、総合訓練を実施した。

③消防設備の点検

6月11日(木)、12月10日(木)に消防用設備の自主点検を実施し、不備の箇所については速やかに是正した。

13 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年1月に国内初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和2年度においても全国的に感染が拡大し、国は令和2年4月7日に、7都府県を対象に5月6日まで緊急事態宣言を初めて発した。これを受けて県から休館要請がなされ、当館は4月10日から4月26日まで休館した。

その後も全国的に感染が拡大し、全国対象の緊急事態宣言が4月16日から5月6日まで、さらに5月31日まで発せられた。これを受けた県の休館要請に基づき、当館では休館期間を5月6日まで、さらに5月10日までと2回延長し、5月11日の再開館まで31日間休館した。その後、緊急事態宣言が本県については5月14日に、全都道府県については5月25日に解除された後も、県の「高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安」に示された、その時々々の感染状況に応じたステージごとの対応方針に沿って、展示、教育普及やイベント等の館の活動全般について、延期、中止、開催内容の変更などの対応を取った。

企画展では、「補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺」(令和2年4月24日から6月28日)の会期を令和2年5月11日から7月19日に変更した。「土佐人 山本忠興と近代オリンピック」(令和2年7月17日から9月6日)は、緊急事態宣言により展示資料の運搬が困難となったため、5月29日に会期を令和3年3月26日から5月23日に変更した。その後、吊り天井改修工事について、発注者・県が10月に工法変更により工事完成期限を令和3年1月20日から3月7日に延長し再開館時期が遅れたため、会期を令和3年7月16日から9月5日に再度、変更した。

教育普及事業では、学校の当館への受け入れ、学校への派遣ともに例年よりも大幅に減少したほか、毎年夏休みに行っているサマーミュージアムは感染予防と両立できるよう開催内容を見直して実施した。

イベントでは、開館記念日(5月3日)のれきみんの日、例年4月開催の岡豊山さくらまつり、例年5月開催の長宗我部フェスはいずれも中止となった。

来館者及び職員の感染予防策として、入口への非接触式体温計の設置、入口、洗面、エレベーター内などへの手指消毒液の設置、飛沫防止用のシートやアクリルパネ

ルの設置、感染予防効果を高めるため空調設備用自動制御機器の修繕、総合展示室への空気清浄機の設置を行った。また、手すり、休息室のテーブルなど共用部分については、委託業者による清掃に加え、館の職員が毎日、定期的に消毒を行った。

●臨時休館

4/10(金)～5/10(日)

●延期した企画展

「補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺」

当初：令和2年4月24日～6月28日(60日間)

変更後：令和2年5月11日～7月19日

(69日間、7月1日は休館)

「土佐人 山本忠興と近代オリンピック」

当初：令和2年7月17日～9月6日(52日間)

変更1：令和3年3月26日～5月23日(59日間)

変更2：令和3年7月16日～9月5日(52日間)

●延期したコーナー展

「干支の玩具 丑」

当初：令和3年3月1日(月)～4月11日(日)

(42日間)

変更後：令和3年4月29日(木祝)～6月6日(日)

(39日間)

●中止した主な催し

企画展開連

講演会 4/26(日)「蹉跎山金剛福寺」

5/9(土)「二十八部衆の起源」

ミュージアムトーク 5/5(火・祝)、5/24(日)

ワクワクワーク「仏像の切絵体験」5/4(月・祝)

第11回岡豊山さくらまつり

(第11回食1グランプリと同時開催)4/4(土)、4/5(日)

れきみんの日 5/3(日・祝)

第11回長宗我部フェス 5/16(土)

土佐のまほろばウォーク

－「れきみん」とまほろばクエスト

全8回のうち3回を中止 ①4/25(金)、②5/28(木)、

③12/19(土)

第9回旧大柵高校民俗資料一般公開

令和2年秋開催予定

カルチャーサポーター研修会 12/19(土)

14 吊り天井改修工事による休館中の岡豊山活用対応

展示室の吊り天井改修工事による休館(令和2年9月7日～令和3年4月28日)中にも、岡豊山歴史公園は開園中であることを広報し、公園内の山村民家に職員が常駐し来園者へのインフォメーション機能を持たせたいと、国史跡・岡豊城跡や登録文化財・旧味元家住宅主屋1棟(山村民家)を活用した催しを開催し誘客に努めた。そのうち岡豊城跡をめぐる「土佐の七雄スタンプラリー」は、土佐の戦国期と城跡を紹介するものであるが、「高知家健康パスポート」の対象事業として健康づくりウォーキングの場としても広報するなど、岡豊山の魅力を発信した。

また、土佐のまほろばウォークでは例年の4回から8回へと倍増させて企画し、岡豊山を起点として周辺史跡も含めた地域全体の歴史を伝える場を増やした。

あわせて、要望のあった図録や新たに制作した御城印バインダーを含むオリジナルグッズを山村民家で販売し、来場推進とサービスに努めた。

主な取組

- ・岡豊城跡散策
通年
- ・岡豊城跡をめぐる「土佐の七雄スタンプラリー」
令和2年9月11(金)～令和3年4月18日(日)
- ・元親と茶の湯－「呈茶席」もうけます－
令和2年11月21日(土)～11月23日(祝・月)
- ・吟行のススメ 岡豊山でひとひねり。岡豊山投句箱
令和3年3月1日(月)～5月13日(木)

15 利用者サービスの向上

吊り天井改修工事による休館(令和2年9月7日～令和3年4月28日)中も、岡豊山歴史公園は開園中であることを広報し、公園内の登録文化財味元家住宅主屋(山村民家)に職員を配置し、インフォメーション機能もたせ、続100名城スタンプ対応やグッズの一部販売も行った。

また、岡豊城跡をめぐる「土佐の七雄スタンプラリー」を開催し、休館中の来園者にも利用してもらうようにした。城跡内のスタンプは、毎日点検・消毒を行い、説明パネルの清掃にも努めた。また、御城印ファイルの販売を令和3年3月1日から開始した。

●介助犬の同伴

平成15年10月1日より介助犬を同伴での入館が可能となっている。本年度は同伴の入館はなかった。

16 職員の研修等

①令和2年度著作権セミナー

実施日：令和2年9月3日(木)

場 所：かるぽーと

参加職員：野中浩二、小松香織、葛目梨香

②こうちミュージアムネットワーク動画制作研修会

実施日：令和2年10月8日(木)

場 所：高知県立高知城歴史博物館

参加職員：西山浩生・曾我満子・西田由紀
北村優子・岩根令以子・葛目梨香

③職員自主企画研修

(「自治体職員のための契約事務入門」受講)

実施日：令和2年11月19日(木)～20日(金)

場 所：日本経営協会 関西本部

参加職員：岩本佐代

17 日録抄等

令和2年

開催中～4月5日(日)

前田博史写真展「海の処方箋～交わるところ～」

開催中～4月9日(木)(臨時休館に伴い期間短縮)

フリースペース・ミニギャラリー展示

「鏡川写楽の会写真展」

4月10日(金)～5月10日(日)

(*新型コロナウイルス感染拡大防止の為臨時休館)

4月14日(火) 消防総合訓練

5月11日(月)～7月19日(日)

企画展「補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺」

5月18日(月)～7月19日(日)

フリースペース展示

野澤文夫写真展「四国遍路より 祈」

6月6日(土) 仏教考古学講座1

「お経のタイムカプセルー経塚ー」

6月11日(木) 消防設備自主点検

6月14日(日) ミュージアムトーク

6月20日(土) 仏教考古学講座2

「お経のタイムカプセルー土佐の経塚ー」

7月1日(水) 臨時休館(館内清掃)

7月4日(土)～9月6日(日)

コーナー展「疫病退散」

8月1日(土)～8月23日(日)

れきみん!サマーミュージアム

[8月8日(土)・8月16日(日)]

スペシャルプログラム day]

8月21日(金)～8月30日(日)

博物館実習

(22日(土)・26日(水)・27日(木) 休み)

9月7日(月)～令和3年4月28日(水)

吊り天井改修工事のため休館

9月11日(金)～令和3年4月18日(日)

岡豊城跡をめぐる土佐の七雄スタンプラリー

9月19日(土) 土佐のまほろばウォーク③

10月3日(土) ワクワクワーク(於山村民家)

「土佐和紙漆喰張り子 福の丑の絵付」

(午前:カルチャーサポーター研修)

10月6日(火) おもてなし一斉清掃

消防点検

10月25日(日) 土佐のまほろばウォーク④

11月7日(土) ワクワクワーク(於山村民家)

「山村民家 障子張り」

11月14日(土) れきみんツアー(定員に達せず中止)

11月21日(土)～23日(月・祝) 呈茶(於山村民家)

11月27日(金) 土佐のまほろばウォーク⑤

12月2日(水) 岡豊山花植え

12月10日(木) 消防設備自主点検

12月11日(金)～(令和3年)1月31日(日)

長宗我部ラリー10

令和3年

1月27日(水) 土佐のまほろばウォーク⑦

2月20日(土) 民家囲炉裏火焚き

2月21日(日) 土佐のまほろばウォーク⑧

3月1日(月) 岡豊山投句箱設置

3月20日(土) 民家囲炉裏火焚き

3月23日(火) 館内ワックスがけ

3月24日(水) ~ 26日(金)、29日(月)、30日(火)
展示室清掃

Ⅷ 観覧者統計

1 小・中・義務教育・高等学校等の入館校数（連合の小中学校を含む）、2 高齢者団体の入館者数（月別）、3 病院、デイ・サービス等の入館者数（月別）、4 一般団体等の入館者数（月別）5 各年度入館者等、6 令和2年度入館者実績、7 各年度別企画展等の観覧者数、8 常設（通常）展と企画展開催中の入館者数比較表、9 各年度別企画コーナー・テーマ展示・コーナー展等の一覧、10 各年度別館外展示・写真展・1階エントランスのフリースペース・休息室ミニギャラリー展の一覧を表示したものである。

1 小・中・義務教育・高等学校等の入館校数（連合の小中学校を含む）（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計（校）
小学校	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	1
中学校	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
義務教育学校	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
高等学校	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
特別支援学校	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
専修学校・大学等	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
合計（校）	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	1
合計（人）	0	0	18	0	0	0	-	-	-	-	-	-	18

2 高齢者団体の入館者数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	0	0	1	1	0	0	-	-	-	-	-	-	2
人数	0	0	17	12	0	0	-	-	-	-	-	-	29

※病院、デイ・サービス以外の高齢者団体（団体に有料入館者が含まれていた場合でも過半数が高齢者の場合は高齢者団体とした。）

3 病院、デイ・サービス等の入館者数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
人数	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0

4 一般団体等の入館者数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	1	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	2
観光業者数	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
合計（人）	10	0	26	0	0	0	-	-	-	-	-	-	36

5 各年度入館者等

年度	大人 （人）	中高生 （人）	小学生 （人）	乳幼児 （人）	身障者・長寿者・ 介護者等 （人）	入館者 合計 （人）	入館料 （円）	図録等 販売高 （円）	合計 （円）
平成 3	37,701	3,587	10,645		10,863	62,796	15,775,102	1,416,290	17,191,392
平成 4	18,212	1,977	7,590		4,899	32,678	7,433,354	1,603,450	9,036,804
平成 5	19,075	2,464	6,793		6,752	35,084	7,653,512	1,081,660	8,735,172
平成 6	19,350	1,949	7,012		7,184	35,495	7,607,292	2,644,580	10,251,872
平成 7	16,587	1,797	6,724	1,049	7,373	33,530	6,501,256	1,295,050	7,796,306
平成 8	34,480	2,549	7,875	1,318	12,822	59,044	21,675,374	10,243,953	31,919,327
平成 9	10,788	1,137	5,264	468	5,460	23,117	4,166,488	3,088,429	7,254,917
平成 10	16,181	1,819	8,258	1,256	8,563	36,077	9,727,412	2,452,119	12,179,531
平成 11	8,645	974	4,311	504	4,539	18,973	3,327,288	2,233,719	5,561,007
平成 12	7,605	651	4,584	395	4,594	17,829	3,291,192	1,951,876	5,243,068
平成 13	10,820	720	3,531	708	7,035	22,814	5,064,297	2,210,581	7,274,878
平成 14	7,205	668	3,595	519	5,868	17,855	3,103,218	1,368,937	4,472,155
平成 15	16,613	1,641	6,589	1,771	5,938	32,552	8,981,640	3,428,583	12,410,223
平成 16	7,388	725	3,133	422	4,656	16,324	3,927,805	2,079,472	6,007,277
平成 17	7,497	604	3,848	534	5,457	17,940	3,238,317	1,506,715	4,745,032
平成 18	9,396 (8,345)	707	2,975 (3,390)	380	7,177	20,635 (11,735)	4,019,769	1,431,850	5,451,619
平成 19	13,625	1,097	5,176	1,188	10,393	31,479	5,976,704	1,008,450	6,985,154
平成 20	8,290	1,057	3,969	462	8,634	22,412	3,897,032	2,148,250	6,045,282
平成 21	8,499	877	3,369	778	9,652	23,175	4,077,280	847,665	4,924,945
平成 22	40,868	2,513	7,405	1,670	17,779	70,235	28,209,071	1,473,810	29,682,881
平成 23	13,586	1,155	4,277	981	13,247	33,246	6,139,244	532,750	6,671,994
平成 24	8,808	872	2,741	482	10,506	23,409	4,089,930	825,510	4,915,440
平成 25	9,290	865	2,877	491	11,671	25,194	4,033,831	423,650	4,457,481
平成 26	9,915 (6,643)	702 (151)	2,852 (207)	393 (125)	9,939 (6,446)	23,801 (13,572)	4,358,606 (7,526,260)	1,518,400 (1,335,600)	5,877,006 (8,861,860)
平成 27	12,452	850	3,827	729	11,131	28,989	5,666,701	905,050	6,571,751
平成 28	9,552	630	3,123	433	9,987	23,725	4,346,756	1,086,200	5,432,956
平成 29	12,865	841	2,609	533	17,650	34,498	8,472,670	2,096,400	10,569,070
平成 30	8,667	845	2,354	458	11,460	23,784	3,831,120	556,050	4,387,170
令和元	10,367	814	2,621	567	14,953	29,322	4,908,709	1,068,300	5,977,009
令和2	2,013	80	306	116	2,849	5,364	1,037,340	433,450	1,470,790
合計	416,340	37,167	140,233	18,605	269,031	881,376	204,538,310	54,961,199	259,499,509

※ 18年度の（ ）は特別企画「伊能大図展（於：くろしおアリーナ）」実績、26年度の（ ）は「四国霊場開創1200年記念4県連携事業 空海の足音 四国へんろ展（於：高知県立美術館）」実績で両展とも企画・運営は当館。合計には含まない。

6 令和2年度 入館者実績

	個人		団体		割引券		観覧料後納		学校共済		れきみんサークル		前売券		無料										減免			合計								
	一般		業者		一般		業者		一般		業者		一般		業者		高校生	中学生	小学生	乳幼児	長寿者	身障者	療育者	精障者	介護者	戦傷病者	被爆者	招待者	引率者	社会研修	校外推進	その他	入館者数	観覧料収入		
	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料	入館者数	観覧料
4月	31	14,570	0	0	0	0	22	8,140	0	0	0	5	7,200	0	0	3	2	24	9	154	6	3	0	8	0	0	32	0	0	0	0	0	0	356	655	29,910
5月	68	47,600	0	0	0	0	61	34,160	0	0	0	9	9,600	0	0	1	1	12	9	152	16	1	2	12	0	0	87	0	0	0	0	0	0	431	91,360	
6月	225	157,500	0	0	0	0	270	151,200	0	0	0	12	2,400	0	0	1	2	36	9	599	61	2	6	38	0	0	140	8	0	0	4	1,413	311,100			
7月	230	135,700	0	0	0	0	240	114,250	0	0	0	5	2,400	0	0	3	3	30	26	233	23	1	3	22	0	0	104	0	0	0	2	925	252,360			
8月	407	191,200	0	0	0	0	360	133,200	0	0	0	11	3,600	0	0	38	23	198	60	228	40	7	12	32	0	0	104	0	0	0	283	1,803	328,090			
9月	26	12,220	0	0	0	0	30	11,100	0	0	0	1	0	0	2	1	6	3	39	7	0	0	3	0	0	18	0	0	0	1	137	23,320				
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,200		
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	987	558,880	0	0	0	0	983	452,060	0	0	0	43	26,400	0	0	48	32	306	116	1,405	153	14	23	115	0	0	485	8	0	0	646	5,364	1,037,340			

7 各年度別 企画展等の観覧者数(平成3～令和2年度) ※は特別料金(記載の無いものは常設展込)

年度	企画展名	会期(休館日を除く開館日数)	観覧者数
平成3 (1991)	第一回寺田寅彦展 —内なる世界の具現—	H3.5.3～7.14 (63日) ※500円(常設展別)	3,048
	歴史と美術 —土佐名品展—	H3.9.14～10.20 (32日)	7,861
	近世 土佐文人画展	H3.11.1～12.15 (39日)	7,903
	土佐を掘る —第一回発掘された遺跡展—	H4.1.18～3.15 (50日)	5,790
平成4 (1992)	仮面の神々 —土佐の民俗仮面展—	H4.4.29～5.31 (29日)	5,110
	第二回寺田寅彦展	H4.7.18～8.30 (38日)	4,136
	鯨の郷・土佐 —くじらをめぐる文化史—	H4.10.10～11.15 (32日)	5,905
	土佐の戦国時代を掘る	H5.1.15～3.21 (57日)	5,297
平成5 (1993)	土佐古絵図展 —描かれた土佐の歴史—	H5.4.29～5.30 (28日)	5,410
	山内家のよろいとかぶと	H5.7.24～8.29 (32日)	5,219
	土佐の肖像画	H5.10.30～11.23 (21日)	3,613
	土佐の古墳を掘る —特別企画新発見の銅剣—	H6.1.22～3.27 (56日)	5,368
平成6 (1994)	坂本龍馬 - 里帰り展 -	H6.4.29～6.5 (33日)	10,166
	翁・尉・男・女・霊・鬼 —土佐・能面の展開—	H6.7.30～9.4 (32日)	4,012
	四国の戦国群像 —元親の時代—	H6.10.15～11.23 (34日)	7,739
	土佐維新の書	H7.2.11～3.26 (38日)	2,893
平成7 (1995)	おもちゃ —遊びのかたち—	H7.4.28～6.11 (39日)	6,437
	死と再生の文化	H7.7.14～9.17 (57日)	5,924
	土佐歴史と刀剣	H7.10.20～11.26 (33日)	7,040
	土佐藩主 山内家の名宝Ⅰ	H8.2.9～3.20 (35日)	5,778
平成8 (1996)	土佐藩主 山内家の名宝Ⅱ	H8.4.19～5.19 (28日)	7,002
	土佐を掘る '94-'95	H8.8.2～9.8 (33日)	3,768
	特別巡回展 新発見考古速報展 '96 —発掘された日本列島—	H8.9.15～10.6 (19日) ※600円	7,358
	半蔵浪漫紀行 からくり200年	H8.11.19～11.24 (6日)	2,391
	開館5周年記念巡回展 秀吉と桃山文化 —大阪城天守閣名品展—	H8.12.3～1.26 (41日) ※800円	26,691
平成9 (1997)	土佐神社の名宝	H9.4.4～6.1 (51日)	4,575
	四万十川 —漁の民俗誌—	H9.7.18～9.23 (57日)	4,437
	いざなぎ流の宇宙 —神と人の物語—	H9.11.14～1.25 (56日)	4,716
	歴史と美術 —維新の群像—(前期)	H10.3.20～4.19 (10日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	996
平成10 (1998)	歴史と美術 —維新の群像—(前期)	H10.3.20～4.19 (17日)(開催日数・観覧者数は4月1日から)	1,227
	歴史と美術 —維新の群像—(後期)	H10.4.26～5.31 (27日)	2,636
	特別展 からくり —夢と科学の世界—細川半蔵とその時代—	H10.7.17～9.23 (56日) ※700円	20,862
	昔のくらしと道具 —大津民具館の資料から—	H10.10.30～1.17 (63日)	4,101
	土佐・郷土史の父 寺石正路の足跡	H11.2.11～3.28 (40日)	2,362
平成11 (1999)	田辺寿男の民俗写真 —はくの村は山をおりた—	H11.4.23～6.27 (57日)	5,221
	土佐藩主の装い	H11.8.6～9.19 (39日)	3,064
	道具が語る食の文化	H11.10.8～12.5 (51日)	5,658
	記された歴史のメッセージ —収蔵品を中心として—	H12.3.17～5.21 (13日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	951
平成12 (2000)	記された歴史のメッセージ —収蔵品を中心として—	H12.3.17～5.21 (44日)(開催日数・観覧者数は4月1日から)	2,964
	近世土佐の砲術史 —徳弘孝蔵とその時代—	H12.7.20～9.3 (40日)	3,272
	おばあちゃんの見た山村の80年 —物部村岡ノ内の民具生活誌—	H12.10.13～13.2.18 (104日)	7,684
	開館10周年関連企画展 居徳遺跡	H13.3.16～5.13 (14日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	675
平成13 (2001)	開館10周年関連企画展 居徳遺跡	H13.3.16～5.13 (37日)(開催日数・観覧者数は4月1日から)	2,924
	開館10周年記念特別展 土佐・2000年 —21世紀へ伝える文化遺産—	H13.8.3～9.16 (39日) ※600円	4,567
	山内一豊入国400年共同企画 長宗我部元親・盛親の栄光と挫折	H13.10.19～12.16 (51日)	5,676
	開館10周年関連企画展 ふるさと土佐のおもちゃとおひなさま	H14.2.2～4.7 (50日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	6,563
平成14 (2002)	開館10周年関連企画展 ふるさと土佐のおもちゃとおひなさま	H14.2.2～4.7 (6日)(開催日数・観覧者数は4月1日から)	555
	金太郎さんと土佐のおもちゃ ハッケヨイ! 郷土玩具	H14.4.26～6.30 (57日)	5,153
	歴史と美術	H14.10.4～12.1 (51日)	3,618
	おばやんの知恵袋	H15.1.17～5.25 (63日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	3,877

年度	企画展名	会期(休館日を除く開館日数)	観覧者数
平成 15 (2003)	おばやんの知恵袋	H15.1.17～5.25(48日)(開催日数・観覧者数は4月1日から)	3,702
	特別展 あの世界・妖怪・陰陽師—異界万華鏡—	H15.7.19～8.31(38日) ※600円	21,270
	石の仏—土佐の石造美術Ⅰ—	H16.3.5～5.23(23日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	1,555
平成 16 (2004)	石の仏—土佐の石造美術Ⅰ—	H16.3.5～5.23(46日)(開催日数・観覧者数は4月1日から)	3,228
	特別展 土佐国分寺 四国八十八ヶ所霊場①	H16.10.1～11.7(33日) ※600円	4,484
	特別展 発掘された日本列島 2004	H16.12.4～H17.1.10(27日) ※700円	3,180
	土佐を掘る 1	H17.1.16～1.30(13日)	375
	土佐を掘る 2	H17.3.4～5.15(23日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	703
平成 17 (2005)	土佐を掘る 2	H17.3.4～5.15(39日)(開催日数・観覧者数は4月1日から)	2,830
	鬼	H17.7.30～10.10(63日)	5,476
	新収蔵古絵図展～描かれた土佐の浦々～	H17.11.26～H18.2.26(73日)	4,546
平成 18 (2006)	いのちの河・くらしの川—田辺寿男の民俗写真2—	H18.4.29～6.11(44日)	3,060
	開館15周年関連企画展 土佐の歴史玉手箱—歴史15年の歩み展—	H18.7.22～9.24(65日)	2,898
	開館15周年関連企画展 長宗我部盛親—土佐武士の名誉と意地—	H18.10.7～11.26(51日)	9,274
	土佐古絵図の世界	H19.2.24～3.11(16日)	603
	特別企画(イベント)伊能大図フローア—展 in くろしおアリーナ	H19.3.1～3.4(4日)	11,735 ※当館入館者数には含まない
平成 19 (2007)	竹 バンブー・スタイル—高知 タケとひとのくらし—	H19.4.21～6.10(51日)	7,289
	特別展 3館合同企画展 暗殺140年!—時代が求めた“命”か?—坂本龍馬・中岡慎太郎展—	H19.7.28～8.28(32日) ※500円	5,716
	土佐発掘物語—土佐の発掘史—	H19.10.6～11.25(51日)	3,223
	なつかしのおもちゃ—高橋俊和さんのコレクション—	H20.1.2～3.9(68日)	10,300
平成 20 (2008)	鯉—カツオと土佐人—	H20.4.12～6.8(58日) ※500円	5,136
	土佐発掘物語Ⅱ—謎!弥生時代の青銅器 発見と発掘—	H20.7.18～8.31(45日) ※500円	3,087
	絵葉書のなかの土佐—移ろいゆく時代の記憶—	H20.9.26～11.24(60日) ※500円	4,825
	昔のくらし博物館—失われゆく衣食住の民具—	H20.12.19～H21.3.1(68日) ※500円	5,055
平成 21 (2009)	特別展 兜—もののふの美意識—	H21.4.24～6.21(59日) ※500円	8,237
	復元!からくりの世界	H21.8.1～8.31(31日) ※500円	4,730
	特別展 発掘された日本列島 2009	H21.10.3～11.9(38日) ※500円	4,894
平成 22 (2010)	土佐勤王党盟主 武市半平太の手紙—拝啓おとみ殿—	H22.4.24～6.20(58日) ※500円	10,556
	2010年NHK大河ドラマ特別展 龍馬伝	H22.7.31～8.31(32日) ※1,000円(65歳以上500円)	35,648
	幕末維新土佐庶民生活誌	H22.10.8～11.23(57日) ※500円	5,363
	昔のおもちゃ博物館—山崎茂さんの全国郷土玩具行脚—	H23.1.2～3.6(64日) ※500円	6,076
	勤王志士たちの遺墨・遺品展	H23.3.5～6.26(27日) ※500円(開催日数・観覧者数は3月31日まで)	2,593
平成 23 (2011)	勤王志士たちの遺墨・遺品展	H23.3.5～6.26(87日) ※500円(開催日数・観覧者数は4月1日から)	8,290
	特別展 おもちゃと模型のワンダーランド展	H23.7.8～8.31(55日) ※500円	7,738
	土佐を撮る 田辺寿男の民俗写真3	H23.9.10～12.18(100日) ※500円	7,171
	特別展 発掘された日本列島 2011	H24.1.2～2.14(44日) ※500円	3,273
平成 24 (2012)	蔵のなかの民具たち	H24.4.28～6.10(44日) ※500円	5,219
	船のおもちゃ図鑑—山崎茂さんの郷土玩具から—	H24.7.20～9.2(45日) ※500円	4,320
	高知・岡山文化交流事業Ⅰ 特別展 刀 武士(もののふ)の魂—備前の名刀と土佐ゆかりの刀剣—	H24.10.6～12.23(79日) ※500円	9,071
平成 25 (2013)	命の碑—土佐の地震・津波碑—	H25.4.27～6.30(65日) ※500円	6,611
	江戸時代の南国—地域資料にみる人々のくらし—	H25.7.27～9.1(37日) ※500円	3,393
	高知・岡山文化交流事業Ⅱ 特別展 備前焼—薪と炎が織りなす土の美—	H25.10.19～12.8(51日) ※500円	4,099
	おもちゃの牧場—干支の馬—	H26.1.2～3.9(67日) ※500円	4,039
平成 26 (2014)	椿姫の里・三原—四国西南端の村の伝説と民俗—	H26.4.26～6.15(51日) ※510円	5,784
	マンダラ—チベット・ネパールの仏たち—	H26.6.28～7.31(34日) ※510円	3,146
	四国霊場開創1200年記念 空海の足音 四国へんろ展 高知編 (会場:高知県立美術館、企画・運営:高知県立歴史民俗資料館)	H26.8.23～9.23(32日) ※1,200円 (前売1,000円・団体960円)、大学生800円(前売700円・団体640円)	13,572 ※当館入館者数には含まない
	高知・岡山文化交流事業Ⅲ 特別展 長宗我部氏と宇喜多氏—天下人に翻弄された戦国大名—	H26.10.11～12.7(58日) ※510円	4,361
	田辺寿男の民俗写真4—たましいの四季—	H27.1.2～3.22(80日) ※510円	3,666
	前田博史天然写真展 太洋	H27.3.28～4.19(4日)(開催日数・観覧者数は3月31日まで) ※510円	524

年度	企画展名	会期(休館日を除く開館日数)	観覧者数
平成 27 (2015)	前田博史天然写真展 大洋	H27.3.28～4.19 (19日) (開催日数・観覧者数は4月1日から) ※510円	1,752
	大坂夏の陣 400年 長宗我部遺臣それぞれの選択	H27.4.29～6.21 (54日) ※510円	6,388
	小さいもの見つけた! —海洋堂のニッポン・ミニチュアカタログ—	H27.7.17～9.6 (52日) ※510円	8,687
	里帰り! 土佐の出土品 —東京国立博物館所蔵品から—	H27.10.9～12.6 (59日) ※510円	3,796
	おさるの楽園	H28.1.2～3.21 (80日) ※510円	4,863
平成 28 (2016)	いざなぎ流の里・物部 —神々と精霊の棲むムラ—	H28.4.29～6.26 (59日) ※510円	6,515
	前田博史天然写真展 樞史	H28.7.15～9.19 (67日) ※510円	5,832
	特別展 発掘された日本列島 新発見考古速報 2016	H28.11.12～12.18 (37日) ※510円	2,223
	幕末の土佐 —書跡にみる人物群像—	H29.1.29～5.10 (62日) (開催日数・観覧者数は3月31日まで) ※510円	3,818
平成 29 (2017)	幕末の土佐 —書跡にみる人物群像—	H29.1.29～5.10 (40日) (開催日数・観覧者数は4月1日から) ※510円	4,383
	志士幕末を駆ける —半平太らの遺したもの—	H29.5.27～7.2 (37日) ※510円	2,200
	大政奉還を「象」った男 後藤象二郎	H29.7.15～9.18 (65日) ※8月7日(金)は台風のため臨時休館 ※510円	5,737
	特別展 今を生きる禅文化 —伝播から維新を越えて— 堺事件 —150年の時を経て—	H29.10.14～11.26 (44日) ※1,200円(前売り1,000円、団体960円) H30.1.20～3.25 (65日) ※510円	11,564 5,150
平成 30 (2018)	安政地震、幕末を揺るがす —土佐・阿波の地震・津波碑が語るもの—	H 30.4.28～7.1 (65日) ※510円	4,815
	絵巻を継ぐものたち —当館所蔵初公開作品を中心に—	H 30.7.14～9.17 (65日) ※9月4日(火)は台風のため臨時休館 ※510円	4,737
	維新が変えた庶民の暮らし —絵馬や民具から読み解く高知の近代—	H 30.10.6～12.9 (65日) ※510円	4,209
	郷土玩具にみる明治のおもかげ	H 31.1.2～3.24 (82日) ※510円	4,995
平成 31 令和元 (2019)	土佐・木の民具ものがたり	H 31.4.26～R1.6.30 (66日) ※510円	5,098
	昭和から平成へ —くらしのうつりかわり—	R1.7.19～9.16 (59日) ※8月15日(木)は台風のため臨時休館 ※510円	8,776
	開創 700年記念 吸江寺	R1.10.4～12.1 (59日) ※700円	4,058
	遠流の地 土佐	R2.1.10～3.5 (56日) ※520円 ※3月6日(金)～8日(日)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館	4,277
令和 2 (2020)	補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺	R2.5.11～7.19 (69日) ※700円 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期変更	2,404

8 常設(通常)展と企画展開催中の入館者数比較表

年度	全入館者数 (開館日数)		1日平均 入館者数 (人)	企画展入館者数 (開館日数)		1日平均 入館者数 (人)	年間入館者数に おける企画展 入館者の割合 (%)	常設(通常)展示 のみ開催時 の入館者数 (人)	備考
	人数	日数		人数	日数				
平成 3	62,796	279	225	24,602	184	134	39	38,194	開館年度
平成 4	32,678	307	106	20,448	156	131	63	12,230	
平成 5	35,084	305	115	19,610	137	143	56	15,474	
平成 6	35,495	306	116	24,810	137	181	70	10,685	
平成 7	33,530	304	110	25,179	164	154	75	8,351	
平成 8	59,044	284	208	47,210	127	372	80	11,834	特別展 2 回開催
平成 9	23,117	299	77	14,724	174	85	64	8,393	
平成 10	36,077	287	126	31,188	203	154	86	4,889	特別展 1 回開催
平成 11	18,973	300	63	14,894	160	93	79	4,079	
平成 12	17,829	300	59	14,595	202	72	82	3,234	
平成 13	22,814	287	79	19,730	177	111	86	3,084	特別展 1 回開催
平成 14	17,855	303	59	13,203	204	65	74	4,652	企画展 3 回
平成 15	32,552	290	112	26,527	109	243	81	6,025	特別展 1 回開催
平成 16	16,324	291	56	11,970	142	84	73	4,354	特別展 2 回開催
平成 17	17,940	299	60	12,852	175	73	72	5,088	企画展 3 回
平成 18	20,635	354	58	15,835	176	90	77	4,800	
平成 19	31,479	348	90	27,974	214	131	89	3,505	特別展 1 回開催
平成 20	22,412	356	63	19,482	233	84	87	2,930	特別展 2 回開催
平成 21	23,175	207	112	21,040	151	139	91	2,135	特別展 2 回開催
平成 22	70,235	338	208	60,236	278	217	86	9,999	常設展リニューアル、龍馬伝
平成 23	33,246	352	94	30,272	327	93	91	2,974	特別展 2 回開催
平成 24	23,409	267	88	22,199	191	116	94	1,210	特別展 1 回開催
平成 25	25,194	357	71	19,747	234	84	78	5,447	特別展 1 回開催
平成 26	23,801	358	66	17,481	227	77	73	6,320	へんろ展含まず
平成 27	28,989	358	81	25,486	264	97	88	3,503	
平成 28	23,725	347	68	18,388	225	82	78	5,337	特別展 1 回開催
平成 29	34,498	342	101	29,034	251	116	84	5,464	特別展 1 回開催
平成 30	23,784	356	67	18,756	277	68	79	5,028	
令和元(平成31)	29,322	341	86	22,209	240	93	76	7,113	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(3/6～22)
令和 2	5,364	127	42	2,404	69	35	45	2,960	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(4/10～5/10) ※前日天井改修工事のため長期休館(9/7～4/28)
集 計	881,376	9,249	95	672,085	5,808	116	76	209,291	

9 各年度別 企画コーナー・テーマ展示・コーナー展等の一覧(平成4～令和2年度)

年 度	展 示 名 ※平成3年度は未実施	期 間
平成4 (1992)	土佐の藩札	H 4. 4. 1～7. 4
	蓑	H 4. 4. 1～12. 27
	土佐の考古学の先駆者Ⅰ —松浦佐用彦・寺石正路—	H 4. 7. 24～8. 30
	豪農と民権	H 4. 9. 1～H 5. 2. 28
	桶	H 5. 3. 1～3. 31
平成5 (1993)	桶	H 5. 4. 1～11. 4
	受贈資料紹介 佐川郷土 堀見家の刀	H 5. 4. 15～7. 30
	土佐考古学発掘史 —縄文時代Ⅰ—～城ノ台洞穴遺跡・不動ヶ岩屋洞穴遺跡～	H 5. 7. 31～9. 31
	船大工の道具箱	H 5. 11. 6～H 6. 4. 14
	堺事件	H 5. 12. 9～H 6. 3. 31
	さいわいさん～土佐の年中行事より～	H 6. 1. 6～1. 30
平成6 (1994)	受託資料紹介 平井・西山家資料の紹介	H 6. 4. 14～7. 31
	竜神と海女～回り舞台の引幕～	H 6. 4. 15～7. 1
	機と七夕	H 6. 7. 2～H 7. 3. 16
	戦国の城 —岡豊城跡—	H 6. 8. 2～11. 30
	受託資料紹介 吉本家資料	H 7. 1. 25～3. 31
	竜神と海女～回り舞台の引幕～	H 7. 3. 17～(6. 6)
平成7 (1995)	竜神と海女～回り舞台の引幕～	(H 7. 3. 17)～6. 6
	戦時資料(1)—女子資料にみる戦時体制—	H 7. 4. 30～6. 30
	機と七夕	H 7. 6. 7～H 8. 2. 22
	戦時資料(2)—高知大空襲—	H 7. 7. 1～10. 31
	館蔵資料から —鏡—	H 7. 11. 1～H 8. 3. 31
	郷土玩具 —城田楠子さんの寄贈資料から—	H 8. 2. 23～(5. 30)
平成8 (1996)	郷土玩具 —城田楠子さんの寄贈資料から—	H 8. (2. 23)～5. 30
	山本家資料(2)—女学校と学徒動員—	H 8. 5. 1～8. 30
	機と七夕	H 8. 5. 24～H 9. 2. 22
	高知城跡	H 8. 10. 12～11. 24
	商屋「木屋」資料の紹介	H 9. 2. 4～3. 28
	おひなさま(民俗)	H 9. 2. 14～3. 30
平成9 (1997)	竜神と海女	H 9. 4. 25～6. 21
	国民学校と少国民	H 9. 7. 2～9. 31
	四万十川 —祭りと行事—	H 9. 7. 27～
	堀見家資料より —熙助と勸業博覧会—	H 9. 10. 1～H 10. 1. 31
	堀見家の考古資料 —銅鐸の拓本—	H 10. 2. 3～(6. 30)
平成10 (1998)	堀見家の考古資料 —銅鐸の拓本—	H 10. (2. 3)～6. 30
	男の子の節句人形	H 10. 5. 5～6. 5
	からくり郷土玩具	H 10. 7. 17～9. 23
	あねさま	H 10. 10. 31～12. 22
	まわれ!まわれ!!こまのいろいろ	H 10. 12. 23～H 11. 1. 30
	おひなさま	H 11. 2. 7～3. 14
平成11 (1999)	くいしんぼのおもちゃたち	H 11. 10. 2～12. 26
	おひなさま	H 12. 2. 17～3. 29
平成12 (2000)	男の子の節句人形	H 12. 4. 22～5. 31
	重要文化財 絵画銅剣	H 12. 5. 25～10. 12
	まつりのおもちゃ	H 12. 8. 24～11. 3
	おばあちゃんの見た山村の80年・第2展示	H 12. 11. 7～H 13. 3. 4
	龍馬の手紙	H 13. 3. 22～(5. 31)
平成13(2001)	龍馬の手紙	H 13. (3. 22)～5. 31
平成14 (2002)	速報展 居徳人骨 —殺傷痕・損傷痕を有する人骨の出土—	H 14. 4. 19～5. 19
	ミニ企画 夏休みふくろうギャラリー ほくたち・わたしたちが描いたよ!郷土玩具	H 14. 7. 27～8. 25
	おひなさま	H 15. 2. 13～3. 8
	有田焼の皿鉢	H 15. 3. 5～
	はりまや橋で相合傘	H 15. 3. 11～(H 16. 1. 21)
平成15 (2003)	はりまや橋で相合傘	(H 15. 3. 11)～H 16. 1. 21
	おひなさま	H 16. 1. 22～3. 13
平成16 (2004)	県保護有形文化財 居徳遺跡群の出土遺物	H 16. 4. 23～5. 7
	坂本龍馬湿板写真調査報告	H 16. 6. 12～6. 27
	郷土の英雄 坂本龍馬	H 16. 12. 4～H 17. 1. 10
	おひなさま	H 17. 3. 4～(4. 9)

年 度	展 示 名 ※平成3年度は未実施	期 間
平成 17 (2005)	おひなさま	H 17. (3. 4) ~ 4. 9
	端午の節供のおもちゃたち	H 17. 4. 29 ~ 5. 28
	石の仏 —土佐の石造美術—磨崖仏と磨崖碑	H 17. 4. 29 ~ 11. 5
	船の模型	H 17. 11. 26 ~ H 18. 2. 3
	特別公開 新発見四国霊場第 38 番札所秘仏三面千手観音菩薩像内納入品	H 18. 2. 4 ~ 2. 19
平成 18 2006	おひなさま	H 18. 2. 4 ~ 3. 31
	ぼくの村は山をおりた AGAIN	H 18. 4. 1 ~ 6. 11
	端午の節供のおもちゃたち	H 18. 4. 29 ~ 5. 10
	竹	H 18. 7. 22 ~ H 19. 2. 3
	職場体験展示 土佐町東石原字中尾出土の備前播鉢	H 18. 7. 23 ~ 9. 24
	テーマ展示 長宗我部氏と岡豊文化	H 18. 10. 17 ~ 12. 26
平成 19 (2007)	テーマ展示 要法寺の名宝 —山内家と菩提寺—	H 18. 11. 1 ~ 11. 25
	おひなさま	H 19. 2. 4 ~ 3. 31
	テーマ展示 板垣退助 —新収蔵資料大公開—	H 19. 4. 27 ~ 5. 23
	テーマ展示 中世、木の道具 —南国市田村遺跡群出土木製品—	H 19. 10. 20 ~ 11. 25
	おひなさま	H 20. 2. 3 ~ 3. 31
平成 20 (2008)	テーマ展示 崎山比佐衛とブラジル移民	H 20. 5. 2 ~ 6. 29
	鯉節をつくる	H 20. 6. 9 ~ 10. 21
	写真で見る岡豊城跡	H 20. 7. 9 ~ 8. 31
	テーマ展示 出土品が語る岡豊城跡	H 20. 7. 18 ~ 11. 24
	食のこころ	H 20. 10. 22 ~ 12. 26
	正月と節分	H 21. 1. 2 ~ 1. 31
	なつかしのブリキ玩具 —今井章博さんのコレクション—	H 21. 1. 2 ~ 3. 1
	テーマ展示 維新の志士たちの遺品 —高知県文教協会蔵資料から—	H 21. 1. 2 ~ 3. 31
おひなさま	H 21. 2. 1 ~ 3. 31	
平成 21 (2009)	<テーマ展示・企画コーナーは実施していない>	
平成 22 (2010)	特別展示 国指定重要文化財 仁淀川町養花院の木造菩薩坐像	H 23. 1. 8 ~ 1. 30
	坂本龍馬湿板写真特別展示	H 23. 2. 10 ~ 2. 20
平成 23 (2011)	テーマ展示 土佐の夏の民俗行事	H 23. 4. 23 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 辰	H 23. 11. 12 ~ 12. 18
	コーナー展 おひなさま	H 24. 2. 22 ~ 3. 25
平成 24 (2012)	コーナー展 歴民館の名品紹介 —最近の収蔵資料から—	H 24. 4. 28 ~ 5. 20
	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 24. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 巳	H 24. 11. 19 ~ 12. 23
平成 25 (2013)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 25. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 26. 1. 2 ~ 2. 24
	コーナー展 おひなさま	H 26. 2. 2 ~ 3. 16
平成 26 (2014)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 26. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 未	H 26. 11. 22 ~ H 27. 1. 25
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 27. 1. 2 ~ 3. 8
	コーナー展 おひなさま	H 27. 2. 14 ~ 3. 15
平成 27 (2015)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 27. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 里帰り 東博所蔵資料	H 27. 12. 23 ~ H 28. 2. 28
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 28. 1. 2 ~ 3. 6
	コーナー展 おひなさま	H 28. 2. 14 ~ 3. 13
平成 28 (2016)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 28. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 酉	H 28. 12. 24 ~ H 29. 1. 31
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 29. 1. 2 ~ 3. 5
	コーナー展 おひなさま	H 28. 2. 4 ~ 3. 14
平成 29 (2017)	コーナー展 維新の群像 1 山内容堂と坂本龍馬の遺品	H 29. 4. 1 ~ 6. 2
	コーナー展 国史跡 岡豊城跡	H 29. 4. 20 ~ H 30. 3. 31
	コーナー展 頭形兜の世界	H 29. 4. 28 ~ 8. 13
	コーナー展 維新の群像 1 山内容堂の遺品	H 29. 6. 3 ~ 8. 30
	コーナー展 維新の群像 2 土佐に影響を与えた人びと	H 29. 6. 3 ~ 8. 30
	コーナー展 武家の表道具 鎧	H 29. 8. 14 ~ 10. 3
	コーナー展 干支の玩具 戌	H 29. 12. 5 ~ H 30. 1. 27
	コーナー展 谷作七のみた戊辰戦争	H 30. 1. 27 ~ 3. 31
コーナー展 おひなさま	H 30. 2. 4 ~ 3. 14	
平成 30 (2018)	コーナー展 火縄銃の世界	H 30. 4. 28 ~ 9. 30
	コーナー展 西郷どんがやってきた	H 30. 9. 17 ~ 12. 16
	コーナー展 国史跡・岡豊城跡	H 30. 10. 1 ~ H 31. 3. 31
	コーナー展 干支の玩具 亥	H 30. 12. 14 ~ H 31. 1. 27
	コーナー展 おひなさま	H 31. 2. 2 ~ 3. 17
平成 31 令和元 (2019)	コーナー展 長宗我部家の外交官—香宗我部親泰の遺品—	H 31. 4. 19 ~ R 1. 6. 2
	特別展示 れきみん名品コレクション	H 31. 4. 26 ~ R 1. 5. 6
	コーナー展 陸軍歩兵第 44 連隊とその時代	R 1. 8. 1 ~ 10. 14
	コーナー展 干支の玩具 子	R 1. 12. 13 ~ R 2. 1. 26
コーナー展 おひなさま	R 2. 2. 1 ~ 3. 15	
令和 2 (2020)	コーナー展 疫病退散	R 2. 7. 4 ~ 9. 6

10 各年度別 館外展示・写真展・1階エントランスのフリースペース・休息室ミニギャラリー展の一覧(平成14～令和2年度)

年度	館外展示会名 ※平成3～13年度は未実施 16年度まで	期間
平成14 (2002)	移動展 四万十川の漁具 ①東津野村役場	H 14. 11. 28 ~ 12. 4
	移動展 四万十川の漁具 ②窪川町	H 15. 1. 24 ~ 1. 28
	移動展 四万十川の漁具 ③西土佐村	H 15. 2. 19 ~ H 15. 2. 22
	移動展 四万十川の漁具 ④中村市役所	H 15. 3. 15 ~ H 15. 3. 22
平成15 (2003)		
平成16 (2004)	田辺寿男 「ほくの村は山をおりた」 AGAIN 展 ①草流舎 (いの町)	H 16.10.1 ~ 10.31
	田辺寿男 「ほくの村は山をおりた」 AGAIN 展 ②土佐病院 (高知市新本町2)	H 16.11.8 ~ 11.27

年度	写真展・催し物名 ※平成17年度～	期間
平成17 (2005)	前田博史 写真展「さくらはくら (桜博達)」	H 18. 3. 9 ~ (4. 9)
平成18 (2006)	前田博史 写真展「さくらはくら (桜博達)」	H 18. (3. 9) ~ 4. 9
	展示協力 古の栄光の地 -南国市岡豊町・国分周辺の史跡-	H 18. 5. 19 ~ 6. 30
	押花展「自然の恵み」	H 18. 6. 2 ~ 6. 15
	展示協力 古の栄光の地 -南国市岡豊町・国分周辺の史跡-	H 18. 9. 1 ~ 9. 29
	長宗我部ゆかりの地ラリー	H 18. 10. 15 ~ H 19. 3. 31
	開館15周年関連特別企画 伊能大岡フロア展 in くろしおアリーナ	H 19. 3. 1 ~ 3. 4 ※無料 (11,735人)
平成19 (2007)	岡豊山フォトコンテスト関連企画 前田博史写真博「さくらはくら2008」	H 20. 3. 20 ~ 3. 31
平成20 (2008)	「岡豊山 桜と四季」岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 20. 5. 3 ~ 6. 30
	「消え逝く新堀川」良三・利光写真展	H 20. 7. 1 ~ 7. 31
	写真展「岡豊城跡の古写真展」	H 20. 8. 21 ~ 9. 20
	茅葺き民家のある風景 -武吉孝夫撮影-	H 20. 9. 26 ~ 11. 19
	虫くいはっぱの花 -白川基子作品展-	H 20. 9. 26 ~ 11. 24
	長曾我部最高委員会 長曾我部氏関連グッズ展	H 20. 11. 22 ~ 12. 24
	須崎市立横浪小学校6年生15人の縄文土器づくり展	H 21. 1. 2 ~ 1. 31
	干支の写真展	H 21. 1. 2 ~ 1. 31
	刈谷我野遺跡出土の尖底土器復元展 -内外両面に施された押型文の謎は解けるのか-	H 21. 2. 1 ~ 2. 28
岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2009「木霊」	H 21. 3. 20 ~ (4. 12) ※無料	
平成21 (2009)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2009「木霊」	(H 21. 3. 20) ~ 4. 12 ※無料
	「もとちか君」ぬり絵大会作品展	H 21. 4. 24 ~ 6. 21
	「岡豊山 桜と四季」岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 21. 5. 3 ~ 6. 21
	「ジオパーク」西和彦写真展	H 21. 10. 3 ~ 11. 4
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2010「深山」	H 22. 3. 21 ~ (4. 4) ※無料
平成22 (2010)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2010「深山」	(H 22. 3. 21) ~ 4. 4 ※無料
	高橋正子 絵画展	H 22. 4. 5 ~ 5. 1
	「岡豊山 桜と四季」岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 22. 5. 3 ~ 6. 20
	前田博史写真展「命の起源」東京写真月間2010「森はふるさと」生物多様性の恵み巡回里帰り展	H 22. 9. 11 ~ 10. 3
	モダンアート フォトリサーチ写真展	H 22. 11. 10 ~ 11. 23
	特別展「龍馬伝」記念ぬり絵大会作品展 若武者もとちか君とれきみん・りょうま君のぬり絵	H 23. 1. 2 ~ 3. 20
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「心海」	H 23. 3. 19 ~ (4. 3)
平成23 (2011)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「心海」	(H 23. 3. 19) ~ 4. 3
	東京写真月間2011巡回展「いきものランド」共催・前田博史カレンダー展「旬観(しゅんかん)」	H 23. 10. 9 ~ 10. 23
	東京写真月間2011巡回展	H 23. 10. 9 ~ 10. 23
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「然」	H 24. 3. 24 ~ (4. 8) ※450円

年 度	写 真 展 ・ 催 し 物 名 ※平成 17 年度～	期 間
平成 24 (2012)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「然」	(H 24. 3. 24) ～ 4. 8 ※ 450 円
	東京写真月間 2012 巡回展	H 24. 11. 17 ～ 11. 25
平成 25 (2013)	前田博史天然写真展 「野根山街道 脈」	H 25. 4. 2 ～ 4. 15
	東京写真月間 2013 巡回展	H 25. 11. 19 ～ 11. 26
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「山 花」	H 26. 3. 15 ～ (4. 13)
平成 26 (2014)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「山 花」	(H 26. 3. 15) ～ 4. 13
	掩体壕 (前浜) 写真展 掩体の四季	H 26. 8. 5 ～ 8. 23
	鏡川写楽の会写真展	H 26. 9. 1 ～ 9. 30
	第 12 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 26. 6. 21
平成 27 (2015)	岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 27. 5. 3 ～ 6. 30
	民俗シリーズ写真展 和紙の原料を支えている人々の今&土佐和紙のできるまで	H 27. 7. 4 ～ 8. 23
	第 13 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 27. 6. 30
	鏡川写楽の会 写真展	H 27. 9. 21 ～ 10. 21
	藤田威佳志 ART PROJECT 鏡村物語 写真展	H 28. 1. 30 ～ 2. 28
	近代日本美術協会高知支部展 2016	H 28. 3. 20 ～ 3. 26
平成 28 (2016)	民俗シリーズ写真展 伊尾木川の流域で暮らす人々&森林軌道の今と昔	H 28. 4. 7 ～ 5. 31
	第 14 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 28. 6. 17 ～ 6. 18
	モラード会創作絵画展	H 28. 7. 14 ～ 9. 19
	岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 28. 9. 22 ～ 10. 30
	鏡川写楽の会 写真展	H 28. 11. 12 ～ 12. 11
平成 29 (2017)	第 15 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 29. 6. 17
	民俗シリーズ写真展「北川村の今を伝えたい」	H 29. 7. 8 ～ 9. 3
	第 48 回鏡川写楽の会	H 29. 9. 5 ～ 10. 3
	書作品 (禅に関する詩文) の展覧	H 29. 10. 14 ～ 11. 26
	第 12 回岡豊山フォトコンテスト作品展	H 29. 12. 5 ～ H 30. 1. 14
	前田博史写真展 「かの桜」	H 30. 3. 24 ～ (4. 9)
平成 30 (2018)	前田博史写真展 「かの桜」	(H 30. 3. 24) ～ 4. 9
	向陽会画展	H 30. 9. 9 ～ 10. 14
	鏡川写楽の会 写真展	H 30. 10. 15 ～ 11. 15
	土佐の宝蔵院流槍術パネル展	H 30. 11. 30 ～ 12. 5
	第 13 回岡豊山フォトコンテスト作品展	H 30. 12. 7 ～ H31. 1. 14
	前田博史写真展 「桜萌ゆ」	H 31. 3. 24 ～ (4. 7)
平成 31 令和元 (2019)	前田博史写真展 「桜萌ゆ」	(H31.3.24) ～ 4. 7
	民俗シリーズ写真展「今を伝え後世に残したい」	R 1. 5. 21 ～ 7. 7
	鏡川写楽の会 写真展	R 1. 10. 15 ～ 11. 15
	第 14 回岡豊山フォトコンテスト作品展	R 1. 11. 28 ～ R 2. 1. 19
	前田博史写真展「海の処方箋～交わるところ～」	R 2. 3. 23 ～ (4. 5)
	鏡川写楽の会 写真展	R 2. 3. 25 ～ (4. 9)
令和 2 (2020)	前田博史写真展「海の処方箋～交わるところ～」	(R 2. 3. 23) ～ 4. 5
	鏡川写楽の会 写真展	(R 2. 3. 25) ～ 4. 9
	野澤文夫写真展「四国遍路より 祈」	R 2. 5. 18 ～ 7. 19

11 来館者へのアンケート調査の実施

アンケートのお願い

本日は高知県立歴史民俗資料館にご来館いただきましてありがとうございます。

当館では今後の館運営の参考とさせていただくため、アンケートを実施しております。お手数ですがご協力をお願いいたします。

ご来館日／	月	日	性別／	男性	・	女性	年齢／	歳代							
ご住所／	県内（		市・町・村）		・		県外（		都・道・府・県）		その他（		）		
交通手段／	自家用車 ・ 路線バス ・ 貸切バス ・ JR ・ 自転車、バイク ・ 徒歩 ・ タクシー ・ その他（													）	
当館へは	何度来られましたか／													初めて ・ 2～5回 ・ 6～9回 ・ 10回以上	

1) 今回のご来館のきっかけとなったのは何ですか？（複数回答可）

新聞 テレビ ラジオ ホームページ ポスター・ちらし 知人から
れきみんサークル等 美術館等で その他（

2) 当館にどのようなことを期待しますか？（複数回答可）

- 常設展示の充実・更新 文化財の収集保存
 学校の校外学習の場として 出前授業・出前展示等の地域へのアプローチ
 企画展〈ご希望のテーマ等

催しの充実〈講演会、展示室トーク、ワクワクワーク〉

調査研究の場〈資料の閲覧・参考図書の充実など〉として

その他（

3) 当館全体の感想とお気づきのことがあればご記入ください。

大変満足 よかった まあまあ 今ひとつ よくない

お気づきのこと

（施設、設備、サービスなど）

～アンケートにご回答いただきありがとうございました～

ご回答くださいました方の中から、抽選で当館のご招待券をお送りいたします。希望される方は下欄にお名前、ご住所をご記入ください。いただいた情報は、抽選結果のお知らせ以外には使用しません。

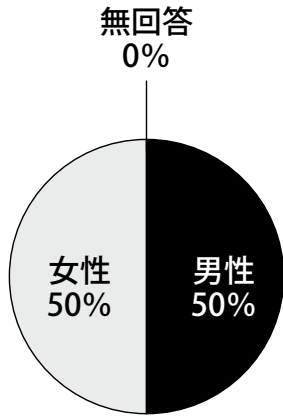
お名前		ご住所	〒	
-----	--	-----	---	--

アンケート集計結果

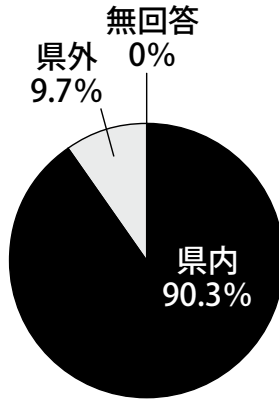
当館では、年間を通じて来館者アンケートを行っている。任意でアンケート用紙に記入してもらう形で来館者についての基礎データを収集し、館運営に活かしている。

以下のデータは令和2年4月1日から令和2年9月6日までの集計結果である。(令和2年9月7月から令和3年3月31日は工事による休館期間につき、アンケートを実施せず。)有効回答数は72件である。

性別



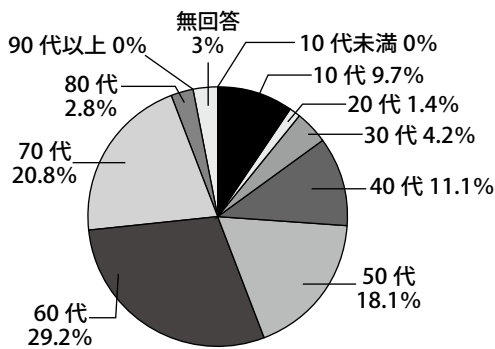
住所



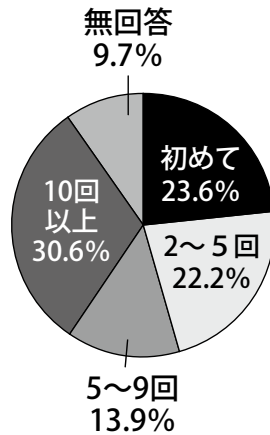
住所（県内）（人）

高知市	33	宿毛市	0
南国市	8	土佐清水市	0
香南市	6	安芸郡	0
香美市	3	長岡郡	1
土佐市	2	土佐郡	0
安芸市	0	吾川郡	1
室戸市	0	高岡郡	2
須崎市	3	幡多郡	1
四万十市	4	無回答	1

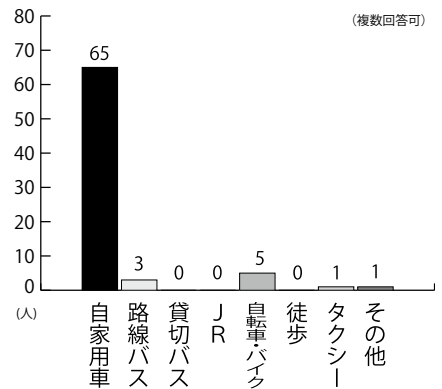
年代



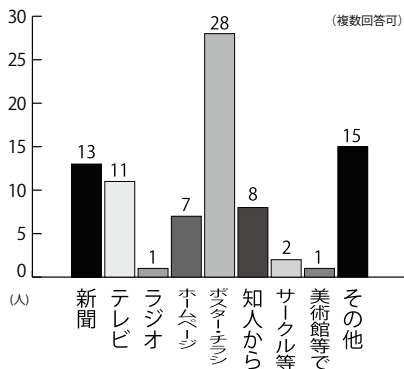
来館回数



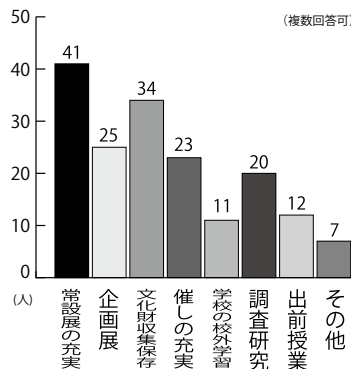
交通手段



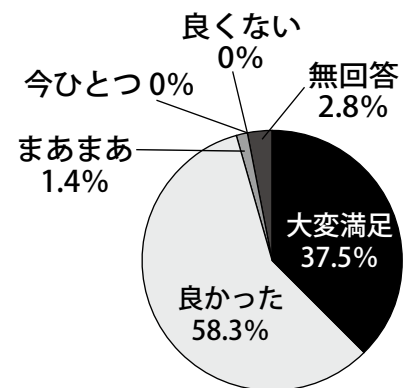
当館について何で知ったか



当館にどのようなことを期待するか



館全体の感想



IX 高知県立歴史民俗資料館の指定管理者における業務状況評価(令和元年度)

高知県立文化施設事業評価委員会が、令和2年8月に開催され、県立文化施設6館の令和元年度の指定管理代行業務について施設による説明と委員会によるヒアリングが行われた。当館評価は下記のとおり(高知県庁文化振興課HPより)。

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和2年10月13日

施設名	歴史民俗資料館	所管課	文化生活スポーツ部文化振興課
-----	---------	-----	----------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	南国市岡豊町八幡 1099-1		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県の歴史、考古及び民俗(以下「歴史民俗等」という。)に関する資料の収集、保管及び展示 ・歴史民俗等に関する専門的な調査研究 ・歴史民俗等に関する講演会、講座、研究会等の教育普及活動 ・高知県における文化財の保存、活用の推進 ・上記のほか、歴史民俗資料館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p><建物> 延床面積 4527.47㎡ RC造地上3階建 <土地> 124,520㎡ <主要施設> 常設展示室、企画展示室、体験学習室、多目的ホール、 収蔵庫、燻蒸室、研究室、会議室、資料室など <開館時間> 午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 通常展 一般 470円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、 戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 企画展示室 24,590円(1日) 多目的ホール 15,700円</p>		
職員体制	常勤職員：9人 契約職員：11人 合計：20人		

※職員数は平成31年4月1日現在

2 収支の状況

単位：千円

		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(予算)
収入	県支出金	159,697	162,768	158,842
	事業収入	5,570	6,913	6,025
	その他	6,379	818	
	収入計(a)	171,646	170,499	164,867
支出	事業費	171,646	169,960	164,867
	(うち人件費)	(84,257)	(77,674)	(73,479)
	その他		539	
	支出計(b)	171,646	170,499	164,867
収支差額(a)-(b)		0	0	0

3 利用状況

		平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	前年度比
①年間利用者数 合計 (単位：人)	通常展	5,028人	通常展 7,113人	+2,085人
	企画展	18,756人	企画展 22,209人	+3,453人
	合計	23,784人	合計 29,322人	+5,538人
	<利用実績> コロナウイルス感染拡大防止のため休館したことにより、観覧者数が伸びなかったため、目標数をわずかに下回った(達成率：約95%)			

②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況（時期・方法・回答数・調査結果等） ・時期：年間 ・方法：アンケート用紙を受付及び展示室入口に配置 ・回答数：1,360 ・調査結果公表：『令和元年度高知県立歴史民俗資料館年報』において公表
	○利用者意見等を踏まえた対策 ・駐車場前の案内図が古くなり不鮮明 → 令和2年度に改修 ・身障者用トイレのスペースに荷物置きを設置してほしい → 荷物を置ける簡易な台を設置した
	○ その他
③その他特記事項	

高知県立文化施設事業評価委員会（令和元年度事業）評価表

高知県立歴史民俗資料館

郷土の歴史や文化を後世に引き継ぐとともに、地域への理解と関心を深める

要求水準－収集・保存

収集方針に基づき、高知県の歴史、考古、民俗の各分野の資料を収集し、適切に保存する

評価項目

- (1) 本県の歴史文化を後世に伝えるうえで必要な資料を収集する
- (2) 資料の整理・分類、点検・劣化防止等の処置を適切に行う

状 況 説 明

南国市から明治時代に出土した考古資料、大正から昭和初期にかけての高知県に關係する著名人の資料の他、手続きを終えた民俗資料を収蔵することができた。

<寄贈資料>

考古資料：乾家所蔵考古資料 南国市左右山付近から出土した古墳時代後期の須恵器は、明治時代初期の新発見資料として考古学史上重要な意味をもつものである。また、本資料はハイリッヒ・エドムント・ナウマンとの關係を示す貴重な資料である。

歴史資料：國澤家資料 高知県知事をはじめ本県に關係する著名人の署名がなされている『芳墨集』。平成28年度寄託資料から、寄贈へ切り換えたもの。

<寄託資料>

歴史資料：香美郡佐岡村（現香美市土佐山田）の旧郷土家に残る、長宗我部氏に關する豎帳や戊辰戦争に従軍した際の關係資料（森田家資料）、近代の白木谷（南国市）に關する資料群（西内家資料）が寄託された。

<購入資料>

歴史資料：『堅田経貞軍忠状』南北朝期の土佐における北朝方の動向の他、南朝方の動向も知る事ができる史料である。

歴史資料及び考古資料・民俗資料の整理は、本年度も企画展の準備と併せ継続して行った。資料の保存処理・修理については以下のとおりである。

<保存処理修復>

- ・展示公開のため中岡慎太郎に關する書状、詩書などの資料の軸装
- ・展示公開のため借用している仁井田五人衆の兜について錆止めなどの保存処理
- ・西畑人形 40 頭のうち2頭の保存処理
- ・刀剣は、資料収集委員や資料調査員の指導を受けながら学芸員1名が継続的に手入れを実施
- ・登録文化財旧味元家住宅主屋1棟は囲炉裏に4回火を入れ、台風時にはワイヤーで固定するなど災害から文化財を守る処置を行った。また、台風・豪雨によるたぶさの雨漏りの処置等のため茅屋根修繕を2回、中学生の体験学習に合わせ障子貼りを1回行った。
- ・民俗写真資料の白黒フィルムのカビ取り等の保存作業等を180本行った。

<複製品の製作>

- ・今年度は実施していない。

<展示保存環境>

- ・展示室のケースの照明はLED及び無紫外線蛍光灯を使用、ケースはノンエアタイトケースとエアタイトケースを使用している。エアタイトケースは主に指定物件などの重要資料の展示に使用し、個々の資料に合った適切な温湿度に設定して展示した。展示環境においては、夏期は温度24.5度湿度55%、冬期は温度24度湿度55%の保存環境維持に努めている。
- ・収蔵庫資料（作品）は、資料に適した温湿度で管理し、収蔵庫の温度は20～22度、湿度55%、24時間空調で管理している。
- ・新資料搬入時は、他の資料に虫害やカビが発生しないように、文化財用の燻蒸ガスを用い、環境に配慮して燻蒸を実施している。（4回実施）
- ・館内38箇所虫害トラップを設置（3回）し、文化財害虫等の状況を把握するとともに、捕獲した害虫の分析を業者へ委託（2回）した。
- ・作品展示のためできた孔をクロスの穴埋め材等で塞ぐ作業を3階総合展示室と1階企画展示室で実施した。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集については、長宗我部氏に関するものや本県に関する貴重なもの等、後世に引継ぐべき文化財を保護・保存するなど、意欲的な取り組みが認められる。 展示・収蔵環境については、公開承認施設として適正な管理を行っており、収蔵資料の修復や複製品の作成等を計画的に行い、資料の維持管理に努めたと認められる。

要求水準－調査・研究

高知県の歴史、考古、民俗の各分野の調査研究を進め、その成果を公開する

評価項目

- 職員の専門性の向上を図るとともに、収蔵資料の調査研究や、各分野の中から題材を絞り、テーマ性を持った調査研究を進め、その成果を、展示や研究紀要などを通じて広く公開する
- 長宗我部氏関係の資料の研究を進め、展示などを通じて広く公開する

状況説明

<考古>

本年度は、第44連隊関係遺跡の調査や高知県東部の四国八十八ヶ所霊場の調査を行う委員会に参加し、調査及び報告書の刊行に協力した。また、土佐国分僧寺跡の寺域確認調査の指導も行った。近世の土佐藩の製鉄関係資料の調査を行い、新たな考古資料が存在することを突きとめた。民俗担当の学芸員に協力し昭和時代の資料の調査を行い、その成果の一部を展示した。

<歴史>

寄贈・寄託、一時預かり資料の基本台帳整備、データ入力のための基礎調査を行った。また、企画展・コーナー展開催に向けた予備調査や、資料調査員とともに共同調査を行った。

<民俗>

本年度は民俗担当の企画展2本、郷土玩具関連のコーナー展2本の開催のための調査を行った。また、山崎茂氏寄贈の郷土玩具の調査について具体的な実施計画を検討した。県教育委員会文化財課主体の高知県民俗芸能緊急調査が3年計画で始まり、担当学芸員1名が委員として協力している。

<美術工芸>

企画展開催のため、高知市吸江寺の美術工芸品の調査を行った。また、南国市内の八幡宮の由緒等について地域の方から依頼を受け、資料調査員とともに現地調査を行い、結果を報告した。

<考古>

発掘調査の説明の表記や地図表示を一部見直し、よりわかりやすくなるよう『国指定史跡 岡豊城跡』パンフレットを改訂した。また、平成31年2月末まで岡豊城跡の詰に設置していた櫓で展示していた続・日本100名城のパネルを2階ロビー掲示板に展示するなど、来館者に向け継続して広報を行った。

<歴史>

コーナー展「香宗我部氏の遺品」の会期中、開館記念日に資料調査員による展示解説を行い、調査研究の成果を多くの来館者に伝えることができた。また、来館者サービスの一つとして、希望に応じて岡豊城跡の案内を随時実施した。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> 企画展に関する調査研究を積極的に実施し、成果を発表していることが評価できる。 昨年度まで国史跡 岡豊城跡詰への櫓で展示していたパネルを館内に移設し、紹介するなど、長宗我部や岡豊城への関心を高めたことが認められる。

要求水準－展示・公開

これまでの歴史の積み重ねのうえに現在の高知県があることを伝え、県民の郷土への誇りと愛着を育む

評価項目

- (1) 公開承認施設として、貴重な資料の公開など魅力ある企画展示を行い、5年間で13万5千人以上の観覧者を目指す
- (2) 来館者一人ひとりの疑問に答えるレファレンスサービスや展示解説など、郷土の歴史や文化への理解を深めるためのサービスを充実させる

状況説明

企画展を4回行い、関連した講演会・講座・公演・ミュージアムトークなどを実施。入館者は22,209人となった。会期が前年度より37日間短く、また期間中の台風接近や新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館もあったが、1日あたりの入館者数では92.5人（平成30年度：67.7人）と昨年度を上回っている。

令和元年度は新たな指定管理5年間の初年度であり、2つの企画展で重要文化財の公開を行った。旧大柄高校での民俗資料一般公開事業を含め、今後の収蔵資料の活用と調査研究の成果発表に関する工夫を検討する提案ができたと考えている。

<令和元年度企画展入館者実績>

「土佐・木の民具ものがたり」	4/26～6/30	66日間	5,098人
「昭和から平成へーくらしのうつりかわりー」	7/19～9/16	59日間	8,776人
※8/15 台風のため臨時休館			
「開創700年記念 吸江寺」	10/4～12/1	59日間	4,058人
「遠流の地 土佐」	1/10～3/8	56日間	4,277人
※3/6～8 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館			

<令和元年度通常展入館者実績>

入館者数 101日間 7,113人

レファレンスサービスについては、学芸員が電話や対面により対応する他、解説補助員が受付や展示室で質問や問合せを受けられる場合がある。簡易な質問には参考資料等をもとに、主に解説補助員等が回答し、専門的な質問については学芸員が対応している。令和元年度はのべ96件85時間35分にのぼり、昨年度とほぼ同程度となっている。また、研究者や学生に対する資料調査対応は、計35件77時間35分であった。企画展などの展示解説は、次の通りである。

<企画展関連企画ミュージアムトーク>

「土佐・木の民具ものがたり」	3回	計48人
「昭和から平成へ」	3回	計53人
「開創700年記念 吸江寺」	3回	計46人
「遠流の地 土佐」	2回	計40人（3/8は新型コロナウイルスによる臨時休館のため中止）
「遠流の地 土佐」ベビーカートツアー	1回	6人（3組）
	計12回	193人

その他、団体などの予約による展示解説については要望に応じて解説員、学芸員が対応している。昨年は50件対応した。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、一日あたりの入館者数が昨年度に比べて大幅に増加するなど一定の成果は認められる。また、民俗や歴史に関し、幅広く企画展を開催するなど努力が認められる。 ・県立の歴史系総合博物館として、様々なレファレンスや調査要請に対し丁寧に対応しており、また、企画展ごとにミュージアムトークを開催しており、観覧者の理解を深める取り組みを充実させている。

評価項目

- (1) 学校との連携による出前授業や校外学習などに計画的に取り組み、子どもたちの歴史や文化に触れる機会を充実させる
 (2) 県民が郷土の歴史や文化に親しむことができる講演会や講座などを開催する

状況説明

企画展やコーナー展で取り上げた土佐の歴史などに関心をもってもらうため、大人から子どもまで参加できるよう、様々なプログラムを実施した。

<教育プログラム(ワクワクワーク)の実績> 計 223人

「世界でひとつだけの木の鳥を作ろう！」	参加者 42人
「ミニもろぶたを組み立てよう！」	参加者 18人(見学1人)
「流行歌をレコードで聴こう」	参加者 23人
「民家体験!夏 Version」	参加者 7人
「実は茶所! ? 土佐茶の魅力再発見」	参加者 32人
「土佐和紙漆喰張り子 ねずみの絵付け」	参加者 36人(見学5人)
「土佐硯と土佐和紙体験」	参加者 36人
「珊瑚のかんざし作り」	参加者 29人(見学6人)

<学校等教育関係の取組>

- ・体験学習：火おこし、勾玉作り、甲冑体験、囲炉裏体験(19校 868人)
 - ・学校授業と連携したポイント解説(19校)、通常展示・企画展自由見学(22校)ビデオ学習(14校)、国史跡岡豊城跡見学(12校)
(来館学校等実数計 32校 1,755人 ※引率者を含む)
 - ・出張授業：7件 376人(大学の授業を含む)
 - ・職場体験学習：5校 13人
 - ・バス送迎事業：2件 高知市立横浜新町小学校 83人 ※教員5人 高知市立神田小学校 117人 ※教員5人
 - ・大学との連携：博物館実習1校(1人)を7日間受け入れた。
 - ・高知大学で「日本文化史」、「博物館経営論」の講義を行った(受講生 86人、77人)。
- 本年度は、各分野にわたる企画展を開催し、関連する講演会・公演・講座などを下記のとおり開催。

<講演会・公演・講座>

○講演会

- 企画展「土佐・木の民具ものがたり」
武蔵野美術大学教授 神野善治氏「木の民具一箸にも棒にも柱にもかかる話」50人
- 企画展「開創700年記念吸江寺」
宗教法人 吸江寺 住職 小林玄徹氏「吸江寺について」148人
- コーナー展「陸軍歩兵第44連隊とその時代」
高知大学教授 小幡尚氏「歩兵第44連隊とその時代」73人
- シンポジウム「豊臣政権下の四国」(第12回四国地域史研究連絡協議会大会と合同)
九州大学大学院教授 中野等氏「豊臣政権下の四国」90人

○公演

- 企画展「土佐・木の民具ものがたり」
土佐の建築職人「土佐の大工と左官の技」

○講座

- 企画展「土佐・木の民具ものがたり」
当館資料調査員 中脇 修身氏「木を切る・削る・彫る一土佐の大工の技」54人
- 企画展「開創700年記念吸江寺」
神戸学院大学 准教授 中村 健史氏「吸江寺と禅僧の文芸」72人
- れきみんのお正月
当館学芸チーフ(学芸担当) 梅野 光興「土佐のお正月」11人
- 企画展「遠流の地土佐」
福岡市博物館学芸員 佐藤 祐花氏「通史でとらえる日本の流刑古代の流刑」124人
明治大学教授 清水 克行氏「通史でとらえる日本の流刑中世の流罪と土佐」160人
当館学芸員 石畑 匡基「通史でとらえる日本の流刑幕藩体制における「預人」」131人
九州大学医学歴史館学芸員 赤司 友徳氏「近代の流刑・徒刑ー北海道に送られた囚徒の処遇についてー」中止

<職員の派遣>

高知近代史研究会、須崎市生涯学習講座、南国史談会など多くの講座、研究会等に講師として派遣

<子どもたち等に来館してもらう取組>

- ・ワクワクワーク(子ども歴史教室)の開催(再掲：223人)
- ・季節のイベント開催
れきみんの日(クイズの陣、坂本龍馬湿板写真実物資料の公開など) 807人
れきみん!サマーミュージアム(ワークショップ、ミュージアムトーク、東工業高校ものづくり教室、ボンネットバス、葉脈標本・炭焼き体験、デカルコマニーなど)4日間 3,883人
れきみんのお正月(ワークショップ、ミュージアムトーク、実演販売・土佐硯、吟詠と剣詩舞の共演チーム 龍吟鳳舞、遠流 de 歴ピン、ねずみ探しなど)2日間 1,014人

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> 企画展関連の教育プログラムの実施や、体験学習、出張授業等を毎年継続して開催することにより、子どもたちが歴史や文化に触れる機会を充実させていることが認められる。 季節のイベントや、楽しみながら歴史を学べる様々なワークショップを開催しており、館の創意工夫が評価できる。

要求水準－広報

評価項目

本県の歴史や文化に関する戦略的な情報発信により、県内外に館の魅力を広める

状況説明

(1) 紙媒体・マスコミ・インターネットを通じた広報

- 企画展のポスター・チラシを県内の学校・コンビニや県内外の博物館へ送付し、幅広く広報している。
- 館のリーフレットや『年間カレンダー』を刊行案内所、旅館、ホテルなどへ配布し、県内外の観光客の目にも触れるようにしている。
- 新聞やテレビの他、ホームページ（HP）などインターネットを活用した広報も積極的に行っている。
(年間の館 HP アクセス数：40,387 件)
- 『ほっとこうち』、『るぶ』など情報誌や歴史系の雑誌にも掲載し、広報強化に努めている。
- 企画展開催前には報道機関に情報提供し、企画展の取材につなげている。

(2) イベント等における広報活動

- 大野川合戦まつり（大分県）、ご当地キャラまつり in 須崎、ものべがわフェスタなどに出店し、グッズ販売や当館の PR を行った。
- カレンダー作成と組み合わせた岡豊山フォトコンテストを継続実施し、岡豊山への来場を促すとともに応募作品は広報素材として活用した。

(3) 広報プロジェクトチームによる広報内容等の検討と実施

- 企画展や各種イベントの開催前・会期中を中心に SNS による情報発信を積極的に行った。
- 「ポスター貼ります隊」（登録者 8 名）は継続登録者を中心に、県民密着・参加型の広報活動を継続している。

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 新聞特集記事や広告の掲載を実施し、積極的な情報発信により、県内外に館の魅力を広めていると評価できる。 年間を通じて、地域のコンビニの協力を得て、チラシ等を常時配置している。 広報プロジェクトチームの設置や「ポスター貼ります隊」の活動など、昨年度から取り組み始めた工夫を継続し、周知していくなど、観覧者増に向けた今後の取組みに期待する。

評価項目

- (1) 県内外の他の博物館等と連携した事業の充実により、県民サービスの向上を図る
- (2) 岡豊山周辺を歴史的好奇心を高めるゾーンとして位置づけ、関係機関と連携した取り組みを通じて地域の活性化に貢献する

状況説明

- (1) 県内外の他の博物館等と連携した事業の充実
 - ・企画展の開催にあたり、県立高知城歴史博物館や県立美術館、仁淀川町や香美市の歴史民俗資料室など各市町村との借用・貸与を通じて相互に内容の充実を図ることができた。
 - ・公益財団法人 禅文化研究所や橘原町教育委員会、創造広場アクランド等の協力により企画展「開創 700 年記念 吸江寺」を充実させた。
 - ・こうちミュージアムネットワークと協力し、平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨で被災した愛媛県宇和島市の寺院所蔵資料の保存処理を昨年度に引き続き行った。当館からは付着した泥・カビのクリーニングなどに職員が 6 人参加した。また、一昨年に当館学芸員が館リーフレットに執筆した救援活動の記録を、愛媛県の博物館が作成する展示解説図録への転載に協力した。
 - ・日本博物館協会主催の各種会議へ積極的に参加し、教育普及の活動内容や館内のサインの工夫や来館者サービスなど、他館等との情報交換で得たことを館内で共有することで以降の取組に取り入れた。
 - ・四国地区博物館協議会に参加し、就学前施設との連携や地域の歴史資料を活用した学習プログラムの開発に関する事例報告、博物館を取り巻く全国的な状況についての講演が行われ意見交換を行った。
 - ・物部地域や徳島県と連携し、第 8 回旧大柵高校民俗資料一般公開を実施し、民具の公開とともに実演や物販等を行った。
 - ・その他、県内博物館、県市町村教育委員会、県民グループ等と調査研究、資料保存、館内イベントなど様々な場面で協力し、県民サービスの向上に努めた。
- (2) 岡豊山周辺の取組
 - ・長宗我部氏、国史跡・岡豊城跡の文化資源の活用
長宗我部展示室では、諸大名との交渉を通して長宗我部家に貢献した長宗我部元親の弟・香宗我部親泰にスポットを当てたコーナー展「長宗我部家の外交官 - 香宗我部親泰の遺品 -」を開催し、長宗我部氏を取り巻く人物像を紹介するなど新たな情報の発信を行った。
 - ・国史跡・岡豊城跡では、「国史跡・岡豊城跡めぐり」として、前年までのボランティアガイド等による案内を規模は縮小したものの継続し、参加者は 92 人であった。参加者からは解説があると史跡がよくわかると好評であった。
- (3) 国史跡・岡豊城跡を活かした地域住民との連携
 - ・岡豊山、岡豊城跡を会場に「岡豊山さくらまつり（土佐の食 1 グランプリ）」、「長宗我部フェス」等のイベントを土佐のまほろば地区振興協議会、地域ボランティア、岡豊地区各自治会、地域女性グループ、カルチャーサポーターの協力も得て実施した。両イベントとも第 10 回であり、また南国市政 60 年の記念企画も盛り込んだ内容で、例年以上に南国市や南国市観光協会、物部川 DMO 協議会などとの連携を強化することになった。また南国市等を周遊するスタンプラリー「長宗我部元親 RALLY」ではワークショップも併せて開催し集客と広報にもつながった。
 - ・当館を起点に岡豊城跡、周辺の史跡をめぐる「土佐のまほろばウォーク」は土佐まほろば地区振興協議会のガイドに担当してもらい、定員は少ないものの、キャンセル待ちがでる人気の企画となった。
 - ・南国市立岡豊ふれあい館（公民館）からの要望を受け、「第 10 回岡豊ふれあい総合文化祭」で展示を行った。長宗我部氏や企画展の紹介、岡豊城跡の発掘写真のほか地域の史跡である岡豊別宮八幡宮所蔵作品についてもパネルで紹介した。また、当館学芸員が「長宗我部元親と天下人」をテーマに講演を行った。地元の方々が大変熱心に聴講及び見学し、歴史への関心を高めることができた。
- (4) 長宗我部ゆかりの地との連携
 - ・「長宗我部フェス」では、長宗我部元親・信親ゆかりの地、大分県から豊後大友宗麟鉄砲隊を招き、火縄銃の演武を披露してもらうなど継続的に交流を深めている。また、11 月には大分県で開催される「大野川合戦まつり」に出展し高知県及び当館の広報を行い、誘客につなげるよう努めた。
 - ・「長宗我部フェス」の翌日には、高知市・若宮八幡宮で「長宗我部まつり」が開催されることから、両イベントを「土佐長宗我部の陣」として共通のポスターを作成するなど効果的に PR をおこなった。「長宗我部まつり」には、当館で管理している甲冑を貸し出すほか、マスコットキャラクターである「若武者もとちか君」を派遣するなど、広報活動もおこなった。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の博物館等の資料調査、展示、保存等への協力・連携に努めたことが認められるとともに、こうちミュージアムネットワークと協力し愛媛県の寺院の被災資料のクリーニングを実施したことも評価できる。 ・土佐のまほろば地区振興協議会等とともに、地域に根付いた活動を実施することを通して、長宗我部氏を含めた岡豊山全体の魅力を発信したことが評価できる。

要求水準－施設管理

施設及び設備の適切な保守管理をとって、故障や事故のない運営を行う

評価項目

(1) 適切な管理運営の確保	社会的責任	・法令等の遵守 ・個人情報、情報公開の状況
	建物や設備の管理	・点検、修繕の実績 ・業務委託の状況
	危機管理	・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 ・マニュアルの作成 ・職員研修

状況説明

<社会的責任>

- ・始業、終業時刻の遵守、時間外勤務事前命令の徹底、時間外を行った場合の速やかな報告などについて、職員に周知し、業務日誌、受付業務日誌へ各人の勤務時間の記載など、適正な労働時間管理に努めた。
- ・通勤などで使用する自家用車、公用車の運転は法規を遵守する。
- ・個人情報管理は、(公財)高知県文化財団の個人情報保護規定により適正に運用している。
- ・資料借用や預かりの際の相手方との書類のやりとりを適正に行うよう、学芸員を指導している。

<建物や設備の管理>

(点検・修繕) 点検作業の結果、下記の修繕を実施した。エレベーター、自動ドアの点検も実施した。

- ①空調機エアハンドリングユニット、②公園トイレ汚水ポンプ、③授乳室入り口床、④空調湿度調節器(体験学習室)、⑤歴史公園遊歩道石段、ベンチ、⑥公用車、⑦消防設備

(業務委託)

- ・展示室内の空調等の機械設備は業者委託し毎日点検。故障時は職員も立会い、機器の状態の情報共有をし、修理を検討する。なお、高湿時は除湿器を稼働し展示室内の湿度調整を実施。
- ・館内外の清掃は業者に委託し清掃を実施。特にトイレ清掃では、委託業者により花やトイレトーパーを入口に設置。閉館時には解説員・警備員がトイレなど巡回をし、清掃や確認も実施。

<危機管理>

- ・館内外警備は 24 時間警備を委託し、夜間機械警備も併用している。毎朝警備報告を確認、夜間異常がある場合は職員と連絡ができる体制を組んでいる。大雨時や震度 3 以上の揺れが確認された時は、夜間でも特別巡回を指示している。

評価

理由

B

日頃から危機管理意識を十分に持ち、非常時に速やかな対応がとれる体制を構築している。

評価項目	
(2) 利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意見の反映 自己点検、評価の状況 ・ 事故、クレームへの対応 ・ 職員の専門性の向上 ・ 研修の実施状況 ・ その他サービス向上の取り組み

状況説明	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者アンケートを実施し、アンケートの内容は職員間で情報共有し業務改善に活かしている。 ・ アンケートや電話等によりいただいた声には、可能な限り対応するように努めている。 <p>利用者の意見の反映例</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 駐車場前の案内図が古くなり不鮮明 → 令和2年度に改修 ② 身障者用トイレのスペースに荷物置きを設置してほしい → 荷物を置ける簡易な台を設置した <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートでは、館の感想として87%の方から「大変満足」または「良かった」の回答をいただいている。また、受付や説明における接遇について、年間を通じて「良かった」「親切だった」との意見をいただいている。 ・ 職員は研修に参加し、専門性の向上に努めている。学芸員は、資料の取扱いについて日々研鑽し、県内外で調査・研究を行い、学会に参加している。 <p>研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 国立歴史民俗博物館主催の専門職員研修 ② 高知県文化財団主催の学芸員専門研修、避難訓練（全職員） ③ 高知県主催の公務員倫理研修・人権問題研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡豊山で動けなくなった来場者の救出や急病者への救急車出動要請などを行っている。本年度はさくらまつりにおいて急病者2名に対応した。 ・ 平成31年1月から館内組織横断的なプロジェクトチームの1つとしてお客様改善要望対応PTを発足させており、受付業務等の中で把握した要望事項について、定期的に検討する仕組みを作った。 	

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス向上に向け、利用者からの要望・意見に迅速に対応していることが評価できる。 ・ 「お客様改善要望対応PT」により、来館者の要望に応じる体制を構築することで、サービスの充実を図る取り組みを行っている。

評価項目		
(3) 利用実績	利用実績の状況	利用状況の分析

状況説明	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の観覧者目標 31,000 人に対し、企画展4回・コーナー展等5回を開催し 29,322 人と約 95%の達成となった。3月の新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館（3/6～22 17日間）が影響している。 ・ 岡豊山歴史公園（国史跡・岡豊城跡）への来場者目標は 25,000 人に対し、26,530 人で達成した。 ・ 団体のバスでの来館は 115 台であり、H26年度の 250 台をピークに減少傾向にある。環境整備や満足度の高い対応など団体のリピート来館へもつながるよう PT でも改善案を検討している。 ・ 登録文化財旧味元家住宅主屋は学校や地域のサークル団体など 11 件、多目的ホールは貸館や共催事業のほか、学校団体、ビデオ視聴で 57 件の利用があった。有料での利用が各 1 件と少ない状況であるため、課題として貸館についての広報不足を認識し、これを解消するよう次年度以降取り組む。 ・ 学校単位での来館数は、32 校で 1,755 人、延べ 86 校で 4,368 人であり、近年は 1 校が複数の学習メニューを体験している傾向にある。今年度、要綱を整備した学習支援バス事業も来館増への足掛かりとなるよう積極的に活用していく。 	

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観覧者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館したことにより、観覧者数が伸びなかったため、目標数をわずかに下回ったものの、岡豊山歴史公園でのイベント開催等、来場者増に向けての館の意欲が認められる。

評価項目		
(4) 収支の状況	経営努力	・収入増加の取り組み ・経費削減の取り組み

状況説明		
<ul style="list-style-type: none"> ・観覧料収入は4,909千円で、予算額に対し75%の達成に止まった。入館者数が95%達成であったことを考えると、有料入館者の比率が低くなっている。イベントでの入館者と併せて有料入館者を増やす取り組みが必要である。 ・図録等の販売収入は1,068千円で、新規作成した企画展図録の販売が予定ほど伸びなかった。 ・長宗我部氏関連のオリジナルグッズを作成し、当館の広報も兼ねて県内外のイベントにて販売した。 ・日本芸術文化振興会から818千円の助成を受けるなど、外部資金の調達に努めた。 ・施設管理費のうち電気料については、今年度から財団全体での入札で供給事業者を決定し経費を抑えるほか、電気量のデマンド値にも常に気を配り、必要な対応をするなどし削減に努めた。 ・その他消耗品等の発注には、グリーン購入法に配慮しつつ価格を比較検討したり、見積りを複数から徴収するなどの取り組みを行った。 		

評価	理由
B	経費削減やグッズ等の販売への工夫が認められる。

総合評価

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・岡豊城跡の詰にあった櫓で展示したパネルを館内で継続して展示することや、展示関連企画を充実させたことで県内外の多く来館者や来場者があり、さらにボランティアによる岡豊城跡案内も好評であったと認められる。 ・企画展等の観覧者数は目標を下回ったものの、一日あたりの入館者は昨年を大きく上回った。岡豊山歴史公園でのイベント開催や、館外での一般公開事業等の実施など、内外に向けて取り組みを行っており、一定の成果は認められる。 ・企画展のうち企画展「開創700年記念 吸江寺」では、公益財団法人禅文化研究所や栲原町教育委員会、創造広場アクトランド等と協力して開催するなど、地域連携に貢献することができた。 ・教育普及関係では、ワクワクワークや職場体験などを通して、児童や生徒に歴史の重要性を伝えるとともに継続的な事業展開ができています。 ・地域の関係団体と良好な関係を築き、行事やイベントを開催しており、地域活性化への貢献が認められる。 ・「お客様改善要望対応PT」により、来館者の要望に応じる体制を構築することで、サービスの充実を図る取組を行っている。 <p>以上のことから、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</p>

評価基準

- 「A」 要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた。
- 「B」 概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた。
- 「C」 要求水準に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要。
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する。

X 施設の概要

1 沿革

高知県立歴史民俗資料館は、高知県から指定管理者として指定を受けた（公財）高知県文化財団が管理運営を行っている。同財団は、当館のほか高知県立美術館、高知県立坂本龍馬記念館、高知県立文学館、高知県立埋蔵文化財センターの管理運営も行っている。

昭和52年1月…「高知県文化行政推進協議会」が発足し、本県における文化行政の基本的なあり方及び将来計画について検討協議

53年9月…同協議会が「中間のまとめ」のなかで県立歴史民俗資料館の設置を提言

10月…「中間のまとめ」に基づき、「総合郷土文化施設調査会」が発足し、歴史民俗資料等を収蔵、展示する総合郷土文化施設の設置について検討協議

54年4月…「文化振興専門者会議」が発足し、県立歴史民俗資料館のあり方について検討協議

58年5月…資料館へ保存のため、南国市田村遺跡群水田跡の切り取り作業を行う

8月…建設場所を南国市岡豊山に決定

59年12月…建設用地を買収

60年11月…建設の事前調査として県史跡・岡豊城跡発掘調査に着手

61年7月…基本構想策定

62年10月…岡豊山の造成工事に着手

12月…建築実施計画を委託

63年1月…展示基本設計を委託

8月…展示実施設計を委託

9月…展示複製資料（レプリカ）の製作を委託

10月…建設工事に着手

64年1月…環境設備工事設計を委託

平成元年8月…環境設備（歴史公園）工事に着手

10月…展示工事に着手

展示映像資料の製作を委託

2年3月…建設工事竣工

環境設備（歴史公園）工事竣工、

3年3月 展示工事竣工

3年5月…開館（5月3日）

8年12月…開館5周年記念巡回展「秀吉と桃山文化」開催

12年4月…旧味元家住宅主屋1棟が登録有形文化財に登録

13年8月…開館10周年記念特別展「土佐・2000年－21世紀へ伝える文化遺産－」、企画展「長宗我部元親・盛親の栄光

と挫折」等開催

16年9月…高知県内初の公開承認施設となる（21年9月21日まで）

18年4月…指定管理者制度の導入により、指定管理者として（財）高知県文化財団を指定（3年間）
月曜日も開館とする

7月…開館15周年記念企画展「土佐の歴史玉手箱」「長宗我部盛親展」等開催、累計入館者数50万人を超える

20年7月…岡豊城跡が国史跡の指定を受ける

21年4月…継続して（財）高知県文化財団が指定管理者となる（5年間・24年度からは公益財団法人に移行）

22年2月…2階・3階展示室、玄関入口バリアフリー及びAVホール多目的化改修工事完了

3月…一部開館（3月21日～4月4日）

4月…リニューアルオープン（4月10日）
第1回岡豊山さくらまつり、第1回食1グランプリ開催

6月…公開承認施設（再承認・27年6月17日まで）

7月…2010年NHK大河ドラマ特別展「龍馬伝」開催

23年6月…香美市旧県立大柝高校へ民具移動

24年4月…岡山県立博物館との文化交流事業開始（3年間）

26年3月…収蔵庫予備室改修工事完了

4月…継続して（公財）高知県文化財団が指定管理者となる（5年間）

9月…「四国霊場開創1200年記念 空海の足音 四国へんろ展」高知編（会場：高知県立美術館）を企画・運営

27年5月…長宗我部元親飛翔之像が建立委員会により建立される

7月…公開承認施設（再承認・32年7月1日まで）

29年3月…「志国高知 幕末維新博」第一幕開幕、当館は地域会場となる
長宗我部元親飛翔之像が建立委員会より高知県に寄付される
国史跡岡豊城跡の詰に櫓を上げる

10月…特別展「今を生きる禅文化－伝播から維新を越えて－」を開催、国宝・重文を含む101件の作品を公開

31年3月…国史跡岡豊城跡の詰の櫓を撤去

4月…継続して（公財）高知県文化財団が指定管理者となる（5年間）

令和2年3月～5月…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休館（3月6日～3月22日、4月10日～5月10日）

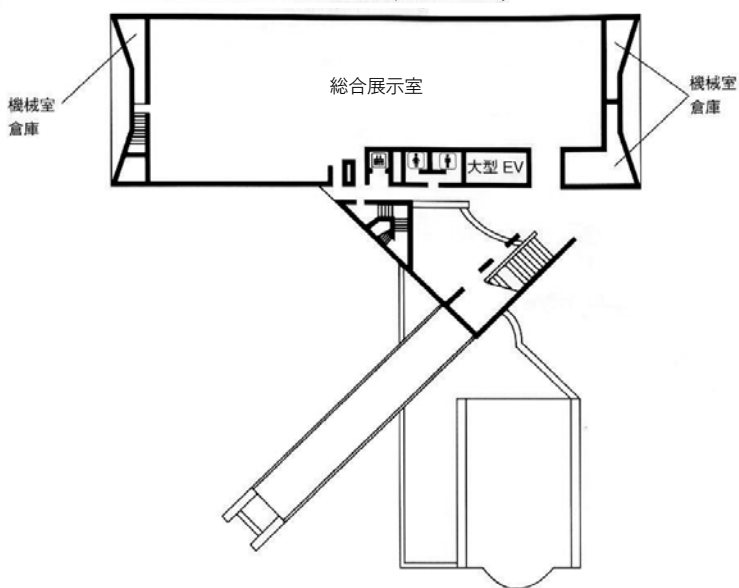
2年8月…公開承認施設（再承認・7年8月17日まで）

3年3月…吊り天井改修工事（工期：令和2年7月1日～令和3年3月7日）、展示ケース内装解体・復旧作業委託業務、雨漏り対策修繕工事業務完了

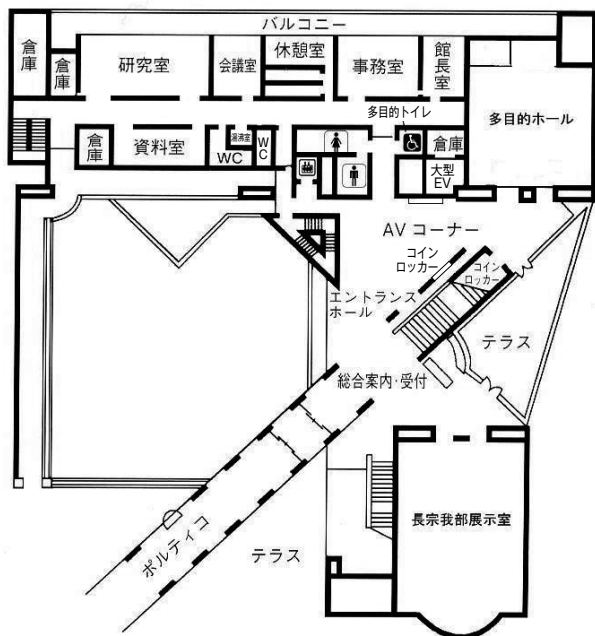
1階：平面図（床面積 1,999.55㎡）



3階：平面図（床面積 1,063.47㎡）



2階：平面図（床面積 1,483.20㎡）



2 施設の概要

- 各階平面図
- 構造・規模
 - 鉄筋コンクリート造（RC）
 - 階数地上3階
 - 最高の高さ20.5m（設計GL.FH69.0m）
- 面積

敷地面積	119,562㎡
建築面積	1,961.79㎡
延床面積	4,546.22㎡
展示面積	1,104.41㎡
収蔵面積	342.77㎡

●各室面積

1 階				2 階				3 階	
企画展示室	176.77	ポンプ室	17.67	長宗我部展示室	209.42	廊下	98.01	総合展示室	718.22
体験学習室	67.45	搬入口	48.51	多目的ホール	120.45	EV 前室	11.81	倉庫	13.30
休息室	41.58	荷解室	93.18	多目的ホール倉庫	18.25	コインロッカーコーナー	14.26	機械室	28.68
厨房 (食品庫)	26.43	一時保管室	63.80	研究室	79.98	AV コーナー	125.70	EV・DS・PS等	101.08
休息室トイレ	6.07	収蔵庫予備室	74.00	会議室	32.60	展示ロビー (2)	66.53	来館者用トイレ	23.62
収蔵庫	268.77	倉庫	104.60	資料室	35.49	エントランスホール(2)	186.07	階段	50.92
燻蒸室	28.35	機械室	106.00	館長・応接室	27.81	風除室	17.22	EV 前室	9.56
写場	41.40	EV・DS・PS等	106.31	事務室	52.17			EV ホール	28.50
更衣室 シャワー室	11.55	職員用トイレ	9.11	休憩室	22.32			展示ロビー (3)	89.59
工作室	42.00	来館者用トイレ	33.06	更衣室	16.86				
警備室	17.06	階段	42.76	湯沸室	3.90				
湯沸室	4.95	廊下・前室	167.67	倉庫	36.36				
清掃員控室	11.00	EV ホール	25.95	機械室	34.25				
監視室	8.66	展示ロビー (1)	35.82	EV・DS・PS等	125.58				
電気室	68.15	エントランスホール(1)	69.82	職員用トイレ	22.56				
熱源機械室	140.60	小計	1,987.40	来館者用トイレ	34.72				
発電電気室	28.35	自転車置場	12.15	階段	90.88				
合計 1,999.55㎡				合計 1,483.20㎡				合計 1,063.47㎡	

※トイレ詳細：3階男子トイレ (大1・小2)・女子トイレ (2)、2階男子トイレ (大2・小3)・女子トイレ (3)・

多目的トイレ (1)、1階男子トイレ (大2・小3)・女子トイレ (3)・車イス用トイレ (1)

※ベビー休息室：オムツ替え (2階多目的トイレ)、オムツ替え・授乳 (1階授乳室)

●設備概要

電気設備

受変電設備……………屋内キュービクル型・変圧器容量・三相 550KVA・スコット 30KVA

発電機設備……………三相 210V・150KVA

蓄電池設備……………据置鉛蓄電池 HS - 80E

主にケーブル配線

展示系：LED・無紫外線蛍光灯 (AAA)・ハロゲン・白熱灯

収蔵庫系：無紫外線蛍光灯 (AAA)

ロビー系：白熱灯

管理系：蛍光灯・無紫外線蛍光灯 (AAA)

電話交換機設備……………Porn 時分割方式によるデジタル電子交換機・60回線

非常放送設備……………防災アンプキャビネットラック型 240W

火災報知防火戸設備……………複合型 70回線 (40+30)

昇降機設備……………乗用 (身障者仕様) 11人乗 (油圧)

荷物用 3,000kg (油圧)

ホイス 2,000kg

その他の設備……………時計設備・テレビ共聴設備・モニター監視設備・多目的ホール設備・

写真スタジオ設備・トイレ呼出設備 (身障者トイレ・多目的トイレ)

空調設備

温冷熱源……………一般系統：空冷式ヒートポンプチリングユニット (R1) <冷水または温水の蓄熱方式> 1台

収蔵庫系統：空冷式チリングユニット (R2-1・2) 2台

空調方式……………単一ダクト・パッケージ・エアハンドリングユニット及びファンコイルユニット方式により 12系統

換気設備……………燻蒸に対しては、単独の排気専用送風機を設けた。その他、一般空調時の換気はモーターダンパーにより、換気風量の調整が可能な設備となっている。

制御……………冷暖房機器、防災、防盜機器等は、監視室にて集中遠方操作監視を行う。

時間外運転……………休息室及び警備室は単独運転、収蔵庫は資料保護の観点から随時運転 (24時間運転)

給排水衛生設備

給排水衛生設備……………一式完備

消火設備……………全館に屋内消火栓設備を設けると共に、展示部門と収蔵庫にはハロン消火設備を設ける。なお、不特定多数の人間の安全を考えてハロン設備は手動

消火システムとした。

衛生設備……………身障者用トイレの設備（1F・2F＜多目的トイレ＞）

給水設備……………加圧方式

配水設備……………自然排水（ポンプ排水）

ガス設備……………液化石油を使用

その他

AED ……………受付に設置

●仕上

外部仕上……………外壁：花崗岩ジェットバーナー及び一部本磨き仕上、
アルミパネル電解着色仕上
屋根：ステンレス溶接工法
アトリウム、テラス：透水性セラミックタイル
ロトンダ、前面広場：砂利洗出し仕上げ

	室名	床	壁	天井
1F	エントランスホール 収蔵庫 企画展示室	大理石 フローリング フローリング	花崗岩 調湿ボード プラスターボード EP	ロックウール吸音板 EP 調湿ボード プラスターボード EP
2F	エントランスホール 長宗我部展示室 事務室	大理石 カーペット ビニール床タイル	花崗岩 プラスターボード EP プラスターボード EP	ロックウール吸音板 EP プラスターボード EP ロックウール吸音板 EP
3F	展示ロビー 総合展示室（総合）	カーペット カーペット	花崗岩 土佐しっくい塗	ロックウール吸音板 EP プラスターボード EP

3 岡豊山歴史公園

- 全体面積 約 97,000㎡
(うち環境整備施工面積 約 50,000㎡)

●概要

当館は、岡豊城跡（国史跡＜平成 20 年 7 月 28 日＞）内にあり、岡豊山一帯を史跡公園として整備している。屋外展示の一環として、岡豊城跡の一部の遺構復元を行い、また一画には、津野町（旧東津野村）から民家（登録有形文化財＜平成 12 年 4 月 28 日＞、旧味元家住宅主屋 1 棟）を移築している。その他、四季折々の草花を植栽している。

- 岡豊城跡の面積 約 47ha
(うち国史跡の面積 約 120,271㎡)

●公園管理

当館の管理運営の一環として、岡豊山歴史公園の管理を行っている。常時 1～3 名の清掃員による清掃と業者による植栽の剪定を行っている。

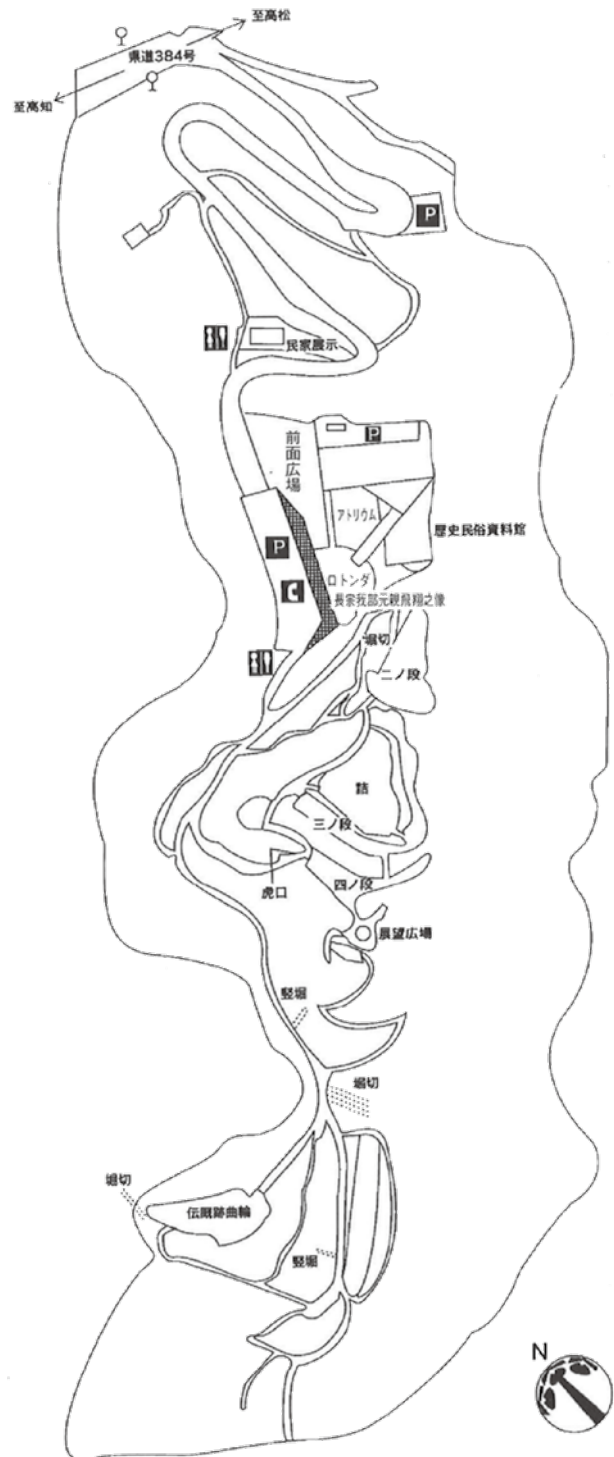
4 建設費など

●建設費 (単位：千円)

土地代・造成費	417,000
設計・建築費	2,218,000
展示工事費	774,000
内 訳	
設計	64,000
施工	710,000
環境整備費	525,000
資料調査費	314,000
内 訳	
資料購入・製作	275,000
岡豊城跡発掘調査	28,000
山内家資料調査	11,000
開設準備費	35,000
合 計	4,283,000

●改修工事費 (平成 22 年完了分) (単位：千円)

2 階・3 階展示室改修関係・ 展示室改修設計・施工委託業務	135,450
玄関入口バリアフリー及び AV ホール 多目的化関係	32,538
合計	167,988



XI 例 規

関係法規

○高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例

(平成 2 年 12 月 20 日条例第 26 号)

改正	平成 3 年 3 月 20 日条例第 2 号	平成 3 年 3 月 20 日条例第 13 号
	平成 7 年 3 月 17 日条例第 7 号	平成 8 年 3 月 26 日条例第 10 号
	平成 9 年 3 月 25 日条例第 30 号	平成 12 年 3 月 28 日条例第 63 号
	平成 17 年 7 月 19 日条例第 63 号	平成 19 年 3 月 23 日条例第 33 号
	平成 23 年 3 月 23 日条例第 9 号	平成 25 年 12 月 27 日条例第 77 号

(設置)

第 1 条 郷土の歴史・考古・民俗に関する資料等(以下「資料等」という。)を調査研究し、収集し、保存し、及び展示して広く県民に紹介することにより、伝統をいかした個性豊かな県民文化の振興に寄与するとともに、県民が散策しながら郷土の歴史・考古・民俗について学習することができる憩いの場を提供するため、高知県立歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)を南国市に設置する。

一部改正〔平成 19 年条例 33 号〕

(指定管理者による管理等)

第 2 条 資料館の管理は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づき、法人その他の団体であって、知事が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせるものとする。

2 前項の規定により指定管理者に資料館の管理を行わせる場合においては、知事は、指定管理者の指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、資料館の適正な管理を確保するため公募を行わないことについて相当の理由がある場合は、知事が適当であると認める法人その他の団体を指定管理者の候補者として選定することができる。

全部改正〔平成 17 年条例 63 号〕、一部改正〔平成 25 年条例 77 号〕

(休館日)

第 3 条 資料館(公園を除く。次条第 1 項において同じ。)は、12 月 27 日から翌年の 1 月 1 日までの間は、休館する。ただし、知事が特に必要があると認めるとき又は指定管理者が必要があると認める場合であってあらかじめ知事の承認を得たときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

追加〔平成 17 年条例 63 号〕、一部改正〔平成 19 年条例 33 号〕

(開館時間)

第 4 条 資料館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、知事が特に必要があると認めるとき又は指定管理者が必要があると認める場合であってあらかじめ知事の承認を得たときは、開館時間を変更することができる。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、指定管理者があらかじめ知事の承認を得た範囲内で、指定管理者が必要があると認めるときは、事前に知事に届け出ること

により開館時間を延長することができる。

追加〔平成 17 年条例 63 号〕

(施設の利用の許可等)

第 5 条 資料館の企画展示室若しくは多目的ホール(その附属設備を含む。)又は山村民家(以下「利用施設」という。)を利用しようとする者は、指定管理者(資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合にあつては、知事。次項並びに次条、第 6 条の 2 及び第 8 条において同じ。)の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

一部改正〔平成 19 年条例 33 号・23 年 9 号・25 年 77 号〕

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可をしないことができる。

- (1) 利用の目的が資料館の設置の目的に反するとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団(高知県暴力団排除条例(平成 22 年高知県条例第 36 号)第 2 条第 1 号に規定する暴力団をいう。第 8 条第 1 項第 4 号において同じ。)の活動に利用されると認めるとき。

追加〔平成 23 年条例 9 号〕

- (4) 資料館の管理上支障があると認めるとき。

追加〔平成 23 年条例 9 号〕

- (5) 前各号に掲げる場合のほか、利用施設を利用させることが不相当であると認めるとき。

追加〔平成 17 年条例 63 号〕、

一部改正〔平成 19 年条例 33 号・23 年 9 号・25 年 77 号〕

(写真等の撮影の許可等)

第 6 条 資料館において、業として写真若しくは映画を撮影しようとする者又は資料館の設置の目的に関連する催物を行おうとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、前項の許可に資料館の管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

追加〔平成 19 年条例 33 号〕

(資料等の撮影等の許可等)

第 6 条の 2 学術研究その他の目的のため資料館の資料等の撮影、複写、模写、模造等をしようとする者は、

指定管理者の許可を受けなければならない。

一部改正〔平成19年条例33号〕

2 前項の場合において、資料館の資料等は、指定管理者が特に必要があると認める場合を除き、資料館以外の場所で利用することができない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号〕
(行為の禁止)

第6条の3 資料館の公園において、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 公園を損傷し、又は汚損すること。
- (2) 立木等を伐採し、又は植物を採取すること。
- (3) 鳥獣を捕獲し、又は殺傷すること。
- (4) 土石の採取その他土地の形質を変更すること。
- (5) 騒音を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
- (6) みだりに火気を使用し、又は危険を起こすおそれのある行為をすること。
- (7) 指定された場所以外の場所にごみその他の汚物を遺棄し、又は放置すること。
- (8) 立入り禁止区域内に立ち入ること。
- (9) 指定された場所以外の場所に車両等を乗り入れ、又は駐車すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、資料館の管理上不適当であると認められる行為をすること。

追加〔平成19年条例33号〕

(権利の譲渡等の禁止)

第7条 第5条第1項、第6条第1項又は第6条の2第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、当該許可に伴う権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年33号〕
(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第5条第1項、第6条第1項若しくは第6条の2第1項の許可を取り消し、利用を停止させ、又は許可の条件を変更することができる。

- (1) 利用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又は指定管理者の指示した事項に違反したとき。
- (2) 利用者が許可の条件に違反したとき。
- (3) 利用者が第5条第1項、第6条第1項若しくは第6条の2第1項の許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって第5条第1項、第6条第1項若しくは第6条の2第1項の許可を受けたとき。

一部改正〔平成23年条例9号〕

- (4) 暴力団の活動に利用されると認めるとき。

追加〔平成23年条例9号〕

- (5) 前各号に掲げる場合のほか、資料館の管理上特に必要があると認めるとき。

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

2 前項の場合において、利用者に損害が生じても、指定管理者は、賠償責任を負わない。ただし、同項第5号の規定に該当する場合における同項の規定に基づく

処分をした場合であって、当該処分が指定管理者の都合によるときは、この限りでない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

(利用料金の納付)

第9条 資料館が展示する資料等を観覧する者（以下「観覧者」という。）又は利用者（営利以外の目的で第6条の2第1項の許可を受けた者を除く。次条及び第14条第1項において同じ。）は、第11条の規定により定められた資料館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）(利用料金の額が100円未満となる場合にあっては、100円とし、利用料金の額に10円未満の端数を生じたときは、当該端数を10円に切り上げる。)を指定管理者に納付しなければならない。ただし、観覧者が、知事が別に定めるところにより交付する高知県長寿手帳を所持する65歳以上の県民その他規則で定める者である場合は、この限りでない。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号・19年33号・25年77号〕

(利用料金の収受)

第10条 指定管理者は、観覧者又は利用者が納付する利用料金を当該指定管理者の収入として収受するものとする。

追加〔平成17年条例63号〕

(利用料金の承認)

第11条 利用料金の額は、別表第1に定める通常の展示に係る1人1回当たりの基準額、別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ消費税法（昭和63年法律第108号）第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額並びに当該消費税の額に高知県税条例（昭和33年高知県条例第1号）第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を、当該別表第1に定める通常の展示に係る1人1回当たりの基準額、別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ加えて得た額（当該額に100円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額（当該額が100円未満となる場合にあっては、1円未満の端数を切り捨てた額）。以下この項において「税込み基準額」という。）に0.5を乗じて得た額から税込み基準額に2を乗じて得た額までの範囲内において、指定管理者があらかじめ知事の承認を得て定めるものとする。ただし、特別の展示に係る1人1回当たり（20人以上の団体である場合を含む。）の利用料金の額については、その都度指定管理者があらかじめ知事の承認を得て定めるものとする。

一部改正〔平成19年条例33号・25年77号〕

2 前項の利用料金の額を変更しようとするときは、指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得るものとする。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号・25年77号〕

(利用料金の減免)

第12条 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号〕

(利用料金の還付)

第13条 指定管理者が既に収入として収受した利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者が特別な理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号〕
(観覧料及び使用料)

第14条 資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合は、第9条本文の規定にかかわらず、観覧者は観覧料を、利用者は使用料(使用料の額が100円未満となる場合にあっては、100円とし、使用料の額に10円未満の端数を生じたときは、当該端数を10円に切り上げる。)を県に納付しなければならない。

一部改正〔平成25年条例77号〕

2 観覧料の額は、別表第1に定める通常の展示に係る1人1回当たりの基準額に消費税法第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額及び当該消費税の額に高知県税条例第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を当該基準額に加えて得た額(当該額に10円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額。以下この項において「税込み基準額」という。)に0.5を乗じて得た額から税込み基準額に2を乗じて得た額までの範囲内において規則で定めるものとする。ただし、特別の展示に係る観覧料の額については、知事はその都度定めるものとする。

一部改正〔平成23年条例9号・25年77号〕

3 使用料の額は、別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ消費税法第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額並びに当該消費税の額に高知県税条例第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を、当該別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ加えて得た額(当該額に10円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額(当該額が100円未満となる場合にあっては、1円未満の端数を切り捨てた額)。以下この項において「税込み基準額」という。)に0.5を乗じて得た額から税込み基準額に2を乗じて得た額までの範囲内において、規則で定めるものとする。

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号・25年77号〕

4 観覧料及び使用料の減免及び還付については、前2条の規定を準用する。この場合において、これらの規定中「利用料金」とあるのは「観覧料及び使用料」と、第12条中「指定管理者」とあるのは「知事」と、前条中「指定管理者が既に収入として収受した」とあるのは「既に納付された」と、「ただし、指定管理者」とあるのは「ただし、知事」と読み替えるものとする。

追加〔平成17年条例63号〕、

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号・25年77号〕
(旅行者等の取扱いによる観覧)

第15条 第9条本文及び前条第1項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる者の取扱いによる観覧については、当該各号に掲げる者が、第11条の規定により定められた利用料金(団体の場合にあっては、その合計額)の9割に相当する金額を利用料金として指定管理者に

納付し、又は前条第2項の規定により定められた観覧料(団体の場合にあっては、その合計額)の9割に相当する金額を観覧料として県に納付しなければならない。

(1) 旅行業法(昭和27年法律第239号)第6条の4第1項に規定する旅行者

(2) 知事が別に定める者

追加〔平成17年条例63号〕

(損害賠償義務)

第16条 資料館を利用する者又は指定管理者は、故意又は過失により資料館の資料等、施設、設備等を損傷し、又は亡失したときは、これによって生じた損害を知事の認定に基づき賠償しなければならない。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号〕

(指定管理者が行う業務)

第17条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) 第5条に規定する施設の利用の許可等、第6条に規定する写真等の撮影の許可等、第6条の2に規定する資料等の撮影等の許可等、第8条に規定する許可の取消し等その他の施設の利用、写真等の撮影又は資料等の撮影等の許可に関する業務

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

(2) 第10条に規定する利用料金の収受、第12条に規定する利用料金の減免、第13条に規定する利用料金の還付その他の利用料金の徴収に関する業務

(3) 資料館の資料等、施設、設備等の維持管理に関する業務

(4) 資料館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

(指定管理者の指定の申請)

第18条 第2条第2項本文の規定により指定管理者の公募を行った場合において、同条第1項に規定する指定管理者の指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に次に掲げる書類を添えて、当該指定について知事に申請しなければならない。

(1) 前条各号に掲げる業務(以下「業務」という。)に係る事業計画書

一部改正〔平成25年条例77号〕

(2) 前号に掲げるもののほか、知事が特に必要なものとして規則で定める書類

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕

(指定管理者の指定等)

第19条 知事は、前条の規定による申請があったときは、次の各号のいずれにも該当するものうちから指定管理者の候補者を選定するものとする。

(1) 前条第1号の事業計画書(以下この項において「事業計画書」という。)による資料館の管理が県民の平等利用を確保することができるものであること。

(2) 事業計画書の内容が資料館の効用を最大限に発揮させるとともに、その業務に係る経費の縮減が図られるものであること。

(3) 事業計画書に沿った業務を安定して行う物的能

力及び人的能力を有しており、又は確保できるものであること。

一部改正〔平成25年条例77号〕

- (4) 事業計画書による業務の実施により、資料等を調査研究し、収集し、保存し、及び展示して広く県民に紹介することで、伝統をいかした個性豊かな県民文化の振興に寄与することができるものであること。

一部改正〔平成25年条例77号〕

- 2 知事は、第2条第2項ただし書の規定に基づき又は前項の規定により指定管理者の候補者を選定したときは、議会の議決を経て指定管理者として指定するものとする。
- 3 指定管理者は、その名称、主たる事務所の所在地その他規則で定める事項に変更があったときは、遅滞なく、その旨を知事に届け出なければならない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕

(事業報告書の作成及び提出)

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。ただし、年度の途中において、第22条第1項の規定に基づき指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して30日以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を提出しなければならない。

- (1) 業務の実施状況並びに観覧者及び利用者の利用状況
(2) 利用料金の徴収の実績
(3) 業務に係る経費等の収支状況
(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者による資料館の管理の実態を把握するために知事が必要であると認めるもの

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕

(業務報告の聴取等)

第21条 知事は、資料館の管理の適正を期するため、指定管理者に対して、業務及びその経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

追加〔平成17年条例63号〕

(指定の取消し等)

第22条 知事は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

一部改正〔平成25年条例77号〕

- 2 前項の規定に基づき指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、県は、賠償責任を負わない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕

(指定等の告示)

第23条 知事は、次に掲げる場合には、その旨を告示するものとする。

- (1) 第19条第2項の規定による指定をしたとき。
(2) 第19条第3項の規定による名称又は主たる事

務所の所在地の変更に係る届出があったとき。

- (3) 前条第1項の規定に基づき指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。

追加〔平成17年条例63号〕

(原状回復義務)

第24条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき又は第22条第1項の規定に基づき指定を取り消され、若しくは期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった資料館の施設、設備等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成23年条例9号・25年77号〕

(秘密保持義務)

第25条 指定管理者又は業務に従事している者は、高知県個人情報保護条例(平成13年高知県条例第2号)の規定を遵守し、個人情報を保護するとともに、業務に関し知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は業務に従事している者がその職務を退いた後においても、同様とする。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕

(委任)

第26条 この条例に定めるもののほか、資料館の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔平成8年条例10号〕

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。
(平成3年4月規則第40号で、同3年5月3日から施行)
(高知県収入証紙条例の一部改正)

- 2 高知県収入証紙条例(昭和39年高知県条例第1号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

全部改正〔平成3年条例2号〕

(高知県立郷土文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正)

- 3 高知県立郷土文化会館の設置及び管理に関する条例(昭和44年高知県条例第31号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

全部改正〔平成3年条例13号〕

附 則(平成3年3月20日条例第2号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成3年3月20日条例第13号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成7年3月17日条例第7号)

- 1 この条例は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(平成8年3月26日条例第10号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成 9 年 3 月 25 日条例第 30 号）抄
（施行期日）

- 1 この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。（後略）
（経過措置）
- 2 平成 9 年 3 月 31 日において、現に高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例第 5 条第 1 項の許可を受けている者の当該許可に係る使用料については、第 10 条の規定による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 12 年 3 月 28 日条例第 63 号）抄
（施行期日）

- 1 この条例は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
（経過措置）
- 2 この条例の施行の日の前日において、現に（中略）高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例第 5 条第 1 項（中略）の規定による許可を受けている者の当該許可に係る使用料については、（中略）第 12 条の規定による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例別表第 2（中略）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 17 年 7 月 19 日条例第 63 号）
（施行期日）

- 1 この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
（準備行為）
- 2 この条例による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例（以下「改正後の条例」という。）第 2 条第 1 項に規定する指定管理者の指定及び当該指定に関し必要なその他の行為は、この条例の施行の前日においても、改正後の条例第 18 条並びに第 19 条第 1 項及び第 2 項の規定の例により行うことができる。
（経過措置）
- 3 この条例の施行の前日にこの条例による改正前の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例（以下「改正前の条例」という。）の規定によりなされた処分その他の行為は、改正後の条例の規定によりなされたものとみなす。
- 4 この条例の施行の際現に改正前の条例第 10 条の規定に基づき委託している高知県立歴史民俗資料館の管理については、平成 18 年 9 月 1 日（同日前に改正後の条例第 19 条第 2 項の規定による指定をした場合は、当該指定の日）までの間は、なお従前の例による。
- 5 この条例の施行後において改正前の条例の規定により納付すべき入館料及び使用料については、なお従前の例による。
（高知県収入証紙条例の一部改正）
- 6 高知県収入証紙条例（昭和 39 年高知県条例第 1 号）の一部を次のように改正する。
（次のよう略）

附 則（平成 19 年 3 月 23 日条例第 33 号）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年 3 月 23 日条例第 9 号）

この条例は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 12 月 27 日条例第 77 号）

この条例は平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1（第 11 条関係、第 14 条関係）

区 分	通常の展示に係る 1 人 1 回当たりの基準額
18 歳以上の者（高等学校の生徒その他これに準ずる者を除く。）	430 円

備 考

20 人以上の団体である場合の通常の展示に係る 1 人 1 回当たりの基準額は、この表の規定にかかわらず、この表に規定する額に 0.8 を乗じて得た額（当該額に 10 円未満の端数を生じたときは、当該端数を切り捨てる。）とする。

全部改正〔平成 7 年条例 7 号・8 年 10 号・9 年 30 号・12 年 63 号・17 年 63 号・25 年 77 号〕

別表第 2（第 11 条、第 14 条関係）

区 分	基 準 額			時間外利用料金 (1 時間につき)
	基本利用料金			
	午前	午後	全日	
企画展示室	-	-	22,360 円	2,790 円
多 目 的 ホ ー ル	5,360 円	8,930 円	14,280 円	1,790 円
山 村 民 家	1,380 円	1,840 円	3,210 円	460 円

備 考

1 この表において、「午前」とは午前 9 時から正午までの間を、「午後」とは正午から午後 5 時までの間を、「全日」とは午前 9 時から午後 5 時までの間をいう。

2 時間外利用料金の計算において、時間外の利用時間が 1 時間未満であるとき又は時間外の利用時間に 1 時間未満の端数があるときは、当該利用時間又は当該端数を 1 時間として計算する。

3 準備、後始末等のために利用施設を利用する場合の基準額は、この表に規定する利用施設の区分に対応する基準額に 0.5 を乗じて得た額（当該額に 10 円未満の端数を生じたときは、当該端数を切り捨てる。）とする。

4 利用施設の利用において附属設備を使用する場合の当該附属設備に係る基準額は、規則で定める。全部改正〔平成 25 年条例 77 号〕、一部改正〔平成 8 年条例 10 号・9 年 30 号・12 年 63 号・17 年 63 号・19 年 33 号〕

別表第 3（第 11 条、第 14 条関係）

区 分	計算単位	計算単位当たりの 基準額
業として行う写真の撮影	撮影者 1 人	1 日につき 860 円
業として行う映画の撮影	撮影機 1 台	1 時間につき 1,720 円
資料館の設置の目的に 関連する催物の開催	許可面積 1 平方メートル	1 日につき 20 円
資料等の撮影、複写、 模写、模造等（営利を目的とするものに限る。）	1 点	4,910 円

備考

- 1 映画の撮影の時間が1時間未満であるとき又は映画の撮影の時間に1時間未満の端数があるときは、当該時間又は当該端数を1時間として計算する。
- 2 許可面積が1平方メートル未満であるとき又は

許可面積に1平方メートル未満の端数があるときは、当該許可面積又は当該端数を1平方メートルとして計算する。

追加〔平成19年条例33号〕、全部改正〔平成25年条例77号〕

○高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則

	平成8年3月29日規則第50号
改正	平成9年3月28日規則第18号
	平成9年6月27日規則第84号
	平成10年3月20日規則第14号
	平成12年3月28日規則第26号
	平成13年12月28日規則第180号
	平成18年3月31日規則第54号
	平成18年12月26日規則第136号
	平成19年4月1日規則第53号
	平成26年3月28日規則第28号
	平成28年5月17日規則第36号

高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例（平成2年高知県条例第26号。以下「条例」という。）の規定に基づき、高知県立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の管理に關し必要な事項を定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第2条 条例第5条第1項の利用施設（同項に規定する利用施設をいう。以下同じ。）の利用の許可（以下「利用の許可」という。）を受けようとする者は、条例第2条第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に対して、指定管理者が定める利用許可申請書を提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合にあっては、利用の許可を受けようとする者は、知事に対して、別記第1号様式による利用許可申請書を提出しなければならない。

3 前2項の規定による申請は、利用施設の利用を開始する日の1月前までにこれをしなければならない。ただし、指定管理者（資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合にあっては、知事。次条第1項、第4条第1項及び第2項、第5条第1項、第5条の2第1項及び第2項、第5条の3第1項から第3項まで、第6条第1項、第7条第1項及び第3項、第8条第1項及び第4項ただし書、第8条の2ただし書、第17条ただし書、第18条ただし書並びに第19条において同じ。）が特に認めたときは、この限りでない。

全部改正〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕

(利用許可書の交付等)

第3条 指定管理者は、前条第1項又は第2項の規定による申請があった場合において、利用の許可をするときは指定管理者が定める利用許可書を当該申請をした者に交付し、利用の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

2 知事が交付する前項の利用許可書は、別記第2号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕

(利用の取消しの届出等)

第4条 利用の許可を受けた者は、当該利用施設の利用を取り消すときは、直ちにその旨を指定管理者に届け出なければならない。

2 条例第5条第1項の利用の許可を受けた事項の変更の許可（以下「利用の変更の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める利用等変更許可申請書を提出しなければならない。

3 知事に対して提出する前項の利用等変更許可申請書は、別記第3号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕

(利用等変更許可書の交付等)

第5条 指定管理者は、前条第2項の規定による申請があった場合において、利用の変更の許可をするときは指定管理者が定める利用等変更許可書を当該申請をした者に交付し、利用の変更の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

2 知事が交付する前項の利用等変更許可書は、別記第4号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕

(写真等の撮影等の許可の申請等)

第5条の2 条例第6条の写真等の撮影等の許可（以下「写真等の撮影等の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める写真等撮影等許可申請書をあらかじめ提出しなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定による申請があった場合において、写真等の撮影等の許可をするときは指定管理者が定める写真等撮影等許可書を当該申請をした者に交付し、写真等の撮影等の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

3 知事に対して提出する第1項の写真等撮影等許可申請書は別記第4号様式の2に、知事が交付する前項の写真等撮影等許可書は別記第4号様式の3によるものとする。

追加〔平成19年規則53号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕

(写真等の撮影等の取りやめの届出等)

第5条の3 写真等の撮影等の許可を受けた者は、当該撮影等を取りやめるときは、直ちにその旨を指定管理

者に届け出なければならない。

2 条例第6条の写真等の撮影等の許可を受けた事項の変更の許可（次項において「写真等の撮影等の変更の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める利用等変更許可申請書を提出しなければならない。

3 指定管理者は、前項の規定による申請があった場合において、写真等の撮影等の変更の許可をするときは指定管理者が定める利用等変更許可書を当該申請をした者に交付し、写真等の撮影等の変更の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

4 知事に対して提出する第2項の利用等変更許可申請書は別記第3号様式に、知事が交付する前項の利用等変更許可書は別記第4号様式によるものとする。

追加〔平成19年規則53号〕、一部改正〔平成26年規則28号・28年36号〕
（資料等の撮影等の許可の申請）

第6条 条例第6条の2第1項の資料館の資料等の撮影、複写、模写、模造等の許可（以下「資料等の撮影等の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める資料等撮影等許可申請書をあらかじめ提出しなければならない。ただし、指定管理者が特に認めたときは、この限りでない。

2 知事に対して提出する前項の資料等撮影等許可申請書は、別記第5号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕
（資料等撮影等許可書の交付等）

第7条 指定管理者は、前条第1項の規定による申請があった場合において、資料等の撮影等の許可をするときは指定管理者が定める資料等撮影等許可書を当該申請をした者に交付し、資料等の撮影等の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

2 知事が交付する前項の資料等撮影等許可書は、別記第6号様式によるものとする。

3 資料等の撮影等の許可を受けた者は、当該資料等の撮影、複写、模写、模造等を取りやめるときは、直ちにその旨を指定管理者に届け出なければならない。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕
（利用料金等の納付の時期等）

第8条 資料館が展示する資料等を観覧する者（以下「観覧者」という。）又は利用の許可を受けた者は、条例第9条の規定による利用料金又は条例第14条第1項の規定による観覧料若しくは使用料を、観覧の際は指定管理者が定める観覧券と引換えに、又は第3条第1項の利用許可書若しくは第5条第1項の利用変更許可書の交付を受ける際に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特に認めたときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、条例第15条各号に掲げる者の取扱いによる観覧については、観覧の後に、利用料金として指定管理者に納付し、又は観覧料として県に納付することができる。

3 知事が交付する第1項の観覧券の様式は、観覧者が個人である場合にあっては別記第7号様式に、20人以上の団体である場合にあっては別記第8号様式によるものとする。ただし、条例第15条各号に掲げる者が取り扱う場合は、別記第9号様式によるものとする。

4 観覧券の交付は、午後4時30分までとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めたときは、この限りでない。

一部改正〔平成18年規則54号・19年53号・26年28号〕
第8条の2 写真等の撮影等の許可を受けた者又は資料等の撮影等の許可を受けた者（営利を目的とする資料等の撮影等に係るものに限る。）は、条例第9条の規定による利用料金又は条例第14条第1項の規定による使用料を第5条の2第2項の写真等撮影等許可書若しくは第5条の3第3項の利用等変更許可書又は第7条第1項の資料等撮影等許可書の交付を受ける際に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特に認めたときは、この限りでない。

追加〔平成19年規則53号〕

（利用料金等の納付を要しない観覧者）

第9条 条例第9条ただし書の規則で定める者は、次に掲げる者とする。

- (1) 身体障害者手帳を所持する者
- (2) 療育手帳を所持する者
- (3) 精神障害者保健福祉手帳を所持する者
- (4) 戦傷病者手帳を所持する者
- (5) 被爆者健康手帳を所持する者
- (6) 高知市長が交付する高知市長寿手帳を所持する65歳以上の者
- (7) 第1号から第5号までに掲げる者（以下この号において「身体障害者等」という。）を直接介護し、又は介助するために必要な者（身体障害者等1人につき1人とし、当該身体障害者等と同時に資料館に入館する場合に限る。）

一部改正〔平成10年規則14号・12年26号・13年180号・18年54号〕

（利用料金の承認の申請）

第10条 指定管理者は、条例第11条第1項の規定により利用料金の額を定めようとするときは、知事に対して、別記第10号様式による利用料金承認申請書を提出しなければならない。

2 指定管理者は、条例第11条第2項の規定により知事の承認を受けた利用料金の額を変更しようとするときは、知事に対して、別記第11号様式による利用料金変更承認申請書を提出しなければならない。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成28年規則36号〕
（附属設備に係る基準額）

第11条 消費税法（昭和63年法律第108号）第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額及び当該消費税の額に高知県税条例（昭和33年高知県条例第1号）第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を加えることとなる条例別表第2条例別表第2の備考4の規則で定める附属設備に係る基準額は、別表に定めるとおりとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕
（観覧料及び使用料の額）

第12条 条例第14条第2項及び第3項の規則で定める観覧料及び使用料の額は、知事が別に定める。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕
（観覧料及び使用料の減免の申請等）

第13条 条例第14条第4項において読み替えて準用す

る条例第12条の規定に基づき観覧料を減額し、又は免除する必要があると認めるときは、次の各号のいずれかに該当するときとし、減額する場合の当該額は、知事が別に定める。

- (1) 県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は特別支援学校の児童又は生徒の引率者が、教育課程に基づく教科学習の一環として観覧するとき。
- (2) 前号に掲げる場合のほか、知事が特に必要があると認めるとき。

2 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第12条の規定に基づき使用料を減額し、又は免除する必要があると認めるときは、次の各号のいずれかに該当するときとし、減額する場合の当該額は、知事が別に定める。

- (1) 国、地方公共団体又はその他の公共的団体が、県若しくは教育委員会と共催し、又は県若しくは教育委員会の後援を受けて展覧会等を開催する場合で、知事が必要があると認めるとき。
- (2) 前号に掲げる場合のほか、知事が特に必要があると認めるとき。

3 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第12条の規定に基づき観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、知事に対して、別記第12号様式による観覧料減額（免除）承認申請書をあらかじめ提出しなければならない。

4 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第12条の規定に基づき使用料の減額又は免除を受けようとする者は、知事に対して、別記第13号様式による使用料減額（免除）承認申請書を第2条第2項の利用許可申請書、第5条の2第1項の写真等撮影等許可申請書若しくは第6条第1項の資料等撮影等許可申請書又は第4条第2項若しくは第5条の3第2項の利用等変更許可申請書とともに提出しなければならない。

5 知事は、前2項の規定による申請があった場合において、観覧料又は使用料の減額又は免除を承認するときは別記第14号様式による観覧料減額（免除）承認通知書又は別記第15号様式による使用料減額（免除）承認通知書を当該申請をした者に交付し、承認しないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、

一部改正〔平成18年規則136号・19年53号・26年28号・28年36号〕

（観覧料及び使用料の還付の請求等）

第14条 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第13条ただし書の規定に基づき観覧料又は使用料を還付する特別の理由があると認めるときは次の各号のいずれかに該当するときとし、当該還付する観覧料又は使用料の額は既納又は過納となる観覧料又は使用料の額に相当する額とする。

- (1) 災害その他の不可抗力により資料館が展示する資料等の観覧若しくは利用施設の利用ができなくなった場合又は県若しくは指定管理者の都合により利用の許可、写真等の撮影等の許可若しくは資料等の撮影等の許可を取り消した場合
- (2) 利用施設の利用の取消しの届出又は利用の変更

の許可の申請が当該利用を開始する日の10日前（知事が特に認めるときは、5日前）までであった場合

(3) 使用料を納付した後当該利用等を開始する日の前日までに使用料の減額又は免除を承認した場合

2 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第13条ただし書の規定に基づき観覧料の還付を受けようとする者は、観覧券を提示した上で、知事に対して、別記第16号様式による観覧料還付請求書を提出しなければならない。

3 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第13条ただし書の規定に基づき使用料の還付を受けようとする者は、知事に対して、別記第17号様式による使用料還付請求書を提出しなければならない。

4 知事は、前2項の規定による請求があった場合において、観覧料の還付を決定したときは観覧券と引換えに観覧料を還付し、還付をしないときはその旨を当該請求をした者に通知し、使用料の還付を決定したときは別記第18号様式による使用料還付決定通知書を当該請求をした者に交付し、還付をしないときはその旨を当該請求をした者に通知するものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、

一部改正〔平成19年規則53号・26年28号・28年36号〕

（入館の制限）

第15条 知事又は指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認められた者に対して、資料館への入館を拒み、又は資料館からの退去を命ずることができる。

- (1) 資料館の資料等、施設、設備等を汚損し、又は損壊するおそれのある者
- (2) 他の資料館を利用する者（以下「利用者」という。）に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある者
- (3) 騒じょう又は示威にわたる行為をする者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、資料館の関係職員の指示に従わない者

一部改正〔平成18年規則54号〕

（管理上の立入り）

第16条 利用者は、資料館の関係職員が資料館の施設、設備等の管理その他職務上の必要があつて当該利用に係る利用施設に立ち入る場合は、これを拒むことができない。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号・26年28号〕

（設備の制限）

第17条 利用者は、資料館の施設に特別の設備をし、又は設備に変更を加えてはならない。ただし、指定管理者の許可を受けたときは、この限りでない。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号〕

（原状回復義務）

第18条 利用者は、利用施設の利用が終わったとき又は条例第8条第1項の規定に基づき利用の許可を取り消され、若しくは利用を停止させられたときは、直ちに当該利用に係る施設、設備等を原状に回復し、資料館の関係職員の点検を受けなければならない。ただし、指定管理者が特に認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号・26年28号〕

（汚損等の届出）

第19条 利用者は、資料館の資料等、施設、設備等を

汚損し、又は損壊したときは、直ちに指定管理者に届け出て、その指示を受けなければならない。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号〕

(寄贈又は寄託)

第20条 資料館に資料等を寄贈し、又は寄託しようとする者は、知事に対して、別記第19号様式による資料等寄贈(寄託)申込書を提出するものとする。

2 知事は、前項の規定による申込みを承諾したときは、その旨を当該申込みをした者に通知するものとする。

3 知事は、資料等の引渡しを受けたときは、別記第20号様式による資料等受領書を第1項の規定による申込みをした者に交付するものとする。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号〕

(指定管理者の指定の申請に必要な書類等)

第21条 条例第18条の規則で定める申請書は、別記第21号様式によるものとする。

2 条例第18条第2号の規則で定める書類は、次に掲げるとおりとする。

(1) 条例第17条各号に掲げる業務に係る収支予算書

(2) 定款、規約その他これらに類する書類

(3) 法人にあっては当該法人の登記事項証明書、法人以外の団体にあっては当該団体の代表者の住民票の写し

(4) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の前事業年度及び前々事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の経営状況を明らかにする書類

(5) 前各号に掲げる書類のほか、知事が必要があると認める書類

3 条例第19条第3項の規則で定める事項は、指定管理者の代表者の氏名とする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号・28年36号〕

(雑則)

第22条 この規則に定めるもののほか、資料館の管理に関し必要な事項は、知事が別に、又は指定管理者が知事の承認を得て定める。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号・26年28号〕

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。

(高知県立歴史民俗資料館の入館料等に関する規則の廃止)

2 高知県立歴史民俗資料館の入館料等に関する規則(平成3年高知県規則第41号)は、廃止する。

附 則(平成9年3月28日規則第18号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成9年6月27日規則第84号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成10年3月20日規則第14号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月28日規則第26号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成13年12月28日規則第180号)

この規則は、平成14年1月1日から施行する。

附 則(平成18年3月31日規則第54号)

(施行期日)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為として行う申請に必要な書類)

2 高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(平成17年高知県条例第63号)附則第2項の規定に基づき、同条例の規定の施行の日前において行う指定管理者の指定及び利用料金の承認の申請に必要な書類については、この規則による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則(次項において「改正後の規則」という。)第21条及び第10条第1項の規定の例による。

(経過措置)

3 この規則の施行の日前にこの規則による改正前の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為は、改正後の規則の規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成18年12月26日規則第136号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年4月1日規則第53号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年3月28日規則第28号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成28年5月17日規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

別表(第11条関係)

附属設備名	単位	基準額				時間外利用料金 (1時間につき)
		基本利用料金				
		午前	午後	全日		
プロジェクター	1式	1,050円	1,740円	2,790円	350円	
テープレコーダ	1式	360円	620円	980円	120円	
マイクロフォン	1本	270円	450円	720円	90円	
ワイヤレス・マイクロフォン	1本	420円	710円	1,130円	140円	
マイクスタンド	1台	150円	250円	390円	50円	
司会用演台	1台	150円	250円	390円	50円	
展示ケース(大)	1台	270円	450円	720円	90円	
展示ケース(中)	1台	240円	410円	650円	80円	
展示ケース(小)	1台	210円	350円	560円	70円	

備考

1 この表において、「午前」とは午前9時から正

午までの間を、「午後」とは正午から午後5時までの間を、「全日」とは午前9時から午後5時ま

での間をいう。

- 2 時間外利用料金の計算において、時間外の利用時間が1時間未満であるとき又は時間外の利用時間に1時間未満の端数があるときは、当該利用時間又は当該端数を1時間として計算する。
- 3 この表に定めのない用具に係る基準額は、その

都度知事が定める。

- 4 消耗器材費及び附属設備の利用に係る特別の労力を要する費用は、この表の基準額には含まないものとする。

全部改正〔平成26年規則28号〕

※別記第1号様式～第21号様式については省略

○高知県立歴史民俗資料館運営協議会会則

(設置)

第1条 公益財団法人高知県文化財団(以下「財団」という。)が管理運営する高知県立歴史民俗資料館の運営に必要な事項を協議するため、高知県立歴史民俗資料館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会は、10人以内で組織する。

(任命)

第3条 委員は、学識経験を有する者その他適当と認める者のうちから、理事長が任命する。

(任期等)

第4条 委員の任期は、2年とする。但し、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は前任者の在任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。

(会議)

第6条 運営協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集する。

2 会議の議長は、会長が当たる。

3 会議は、委員の過半数の出席がなければ、開会することが出来ない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数の時は、議長の決するところとする。

(オブザーバー)

第6条の2 会議には、オブザーバーの出席を求めることができる。

2 オブザーバーは、財団理事長及び関係機関の所属職員のうち、会議の都度、会長が依頼する者とする。

3 オブザーバーは、会議において、必要に応じ助言、意見等を述べる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、高知県立歴史民俗資料館学芸課において処理する。

(雑則)

第8条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は会長が運営協議会に諮って定める。

付 則

(施行期日)

この会則は、平成10年9月1日から施行する。

この会則は、令和2年4月1日から施行する。

○高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会設置要領

(趣旨)

第1条 高知県立歴史民俗資料館(以下、「歴民館」という。)が行う資料の収集(購入、寄贈、寄託及び複製制作委託等をいう。)に当たり、その選定、評価等について意見を聞くために、歴史・美術工芸・考古・民俗の分野について高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、各分野の資料に関する、歴民館職員以外の専門家、学識経験者等適任者と認められる者5人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、歴民館長(以下、「館長」という。)が委嘱する。

3 委員会に委員長、副委員長を置くこととし、それぞれ委員の互選により、選任する。

(任期等)

第3条 委員の任期は、2年とする。但し、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長の了解のもとに館長

が招集し、委員長がその議長となる。

(業務)

第5条 委員会は、資料の収集に関して次の各号に掲げる事項を検討し、意見を述べるとともに、必要に応じて意見書を作成する。

1 資料の選定に関すること。

2 資料の評価に関すること。

3 資料の購入、寄贈又は寄託の受け入れの適否に関すること。

4 前各号に掲げるもののほか必要と認める事項。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴民館学芸課において処理する。

(雑則)

第7条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成13年6月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

○高知県立歴史民俗資料館資料調査員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、公益財団法人高知県文化財団(以下「財団」という。)の業務の一環として、高知県立歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)に係る資料の調査、確認及び聞き取り(以下「調査等」という。)を行う資料調査員の設置について必要な事項を定める。

(資料調査員の委嘱等)

第2条 資料調査員は、高知県の歴史、考古、民俗及び美術工芸に関し学識経験を有する者53人以内をもって構成する。

2 資料調査員は、財団理事長(以下「理事長」という。)が委嘱する。

(任期等)

第3条 資料調査員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 資料調査員には身分証明書(別記様式第1号-略-)を交付する。

(任務)

第4条 資料調査員は、資料館館長(以下「館長」という。)の依頼によって、歴史、考古、民俗及び美術工芸の各分野における資料の調査等を行うものとする。

2 資料の調査等は、所有者又は管理者の同意を得た後、資料の所在地において行うものとする。

(報告)

第5条 資料調査員は、資料の調査を行ったときは、調査概況報告書(別記様式第2号-略-)をもって館長に報告しなければならない。

2 報告は、必要に応じて、資料調査カード(別記様式第3号-略-)、その都度定める調査票、又は報告書等を添付することとする。

(打合せ会議)

第6条 資料調査員の情報交換その他のために、必要に応じて資料調査員会議を開催するものとする。

(報償費及び旅費)

第7条 資料調査員には、館長が別に定めるところにより報償費を支給する。

2 資料調査員の旅費は、財団の常勤職員の例による。

(災害補償)

第8条 資料調査員が、調査等の任務遂行上死亡し又は傷病にかかったときは、財団が措置する加入保険に定めるところにより必要な災害補償を行うものとする。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか資料調査員の設置に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

○高知県文化財団カルチャーサポーター設置要綱

(設置)

第1条 公益財団法人高知県文化財団(以下「財団」という。)の機関のうち、高知県立美術館・高知県立歴史民俗資料館・高知県立坂本龍馬記念館・高知県立文学館(以下「各施設」という。)にカルチャーサポーターを置く。

(目的)

第2条 カルチャーサポーターの活動を通じて、県民と各施設をつなぎ、各施設の活動に対する県民の理解と関心を深めるとともに地域文化の向上に資することを目的とする。

(業務)

第3条 カルチャーサポーターは、各施設の活動に対し必要に応じて、概ね次の業務を行う。

(1) 展示解説 (2) 資料整理

(3) イベント運営

(4) その他各施設長が必要と認める業務

(資格)

第4条 一般公募により募集を行い、基礎研修・実務研修・モデル事業を終了し、各施設の業務に従事できる者をカルチャーサポーターと認定し、様式1の認定証を交付する。認定を受けたカルチャーサポーターは、各施設長が様式2の台帳に登録することに

より業務に従事できる。

(認定期間)

第5条 カルチャーサポーターの認定期間は1年とする。(4月1日から翌年3月31日)ただし、資格内容に変更がないときは継続することができる。

2 認定期間中、都合により活動を辞退するときは認定証を財団に返却するものとする。

(認定証の着用)

第6条 カルチャーサポーターは、業務に従事する際は、認定証を着用しなければならない。

(遵守事項)

第7条 カルチャーサポーターは、その活動にあたっては職員の指示に従うとともに、条例その他規則を遵守しなければならない。

(報償費)

第8条 カルチャーサポーターに対して、予算の範囲内で報償費を支給する。

(保険)

第9条 各施設ごとに、ボランティア保険に加入する。

附 則

この要綱は平成13年3月12日から施行する。

附 則

この要綱は平成16年3月15日から施行する。

※様式1、様式2については省略

Ⅱ 令和2年度 受贈・購入図書目録

令和2年度に諸機関や個人の方より寄贈された書籍類は、以下のとおりである。記して謝意を申し上げたい（敬称略・都道府県別）。

なお、本目録は令和2年4月1日から令和3年3月31日までに、寄贈、発行されたものである。末尾に購入図書目録を掲載した。

北海道

北海道大学学芸員リカレント 学藝リカプロ Report2
教育プログラム
国立アイヌ民族博物館 ニュースレター アヌアヌ ANUANU Vol.1~3
北海道博物館 森のちゃれんがニュース Vol.19~22
北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要 5
北海道立北方民族博物館 北方民族博物館だより No.116,118,119
年報 令和元年度
北海道立北方民族博物館研究紀要第29号
北海道立北方民族博物館資料目録 15
北で生きるよすが 北方民族の世界観

青森県

青森県立郷土館 青森県立郷土館研究紀要 第44号
ひろく・つくる・みのる 一青森の湿地と稲作のはなし一
縄文遺跡群と県立郷土館 一発掘調査の軌跡一
三内丸山遺跡対策室 三内丸山通信 第72,73号

岩手県

岩手県立博物館 岩手県立博物館だより No.164~168
北上市立鬼の館 北上市立鬼の館だより 第52,53号

宮城県

塩竈市教育委員会 塩竈市文化財調査報告書 第10集
仙台市博物館 仙台市博物館調査研究報告 第40号
仙台市博物館年報 第47号
仙台市歴史民俗資料館 資料館だより No.52
年報 2020
調査報告書 第38集
仙台市歴史民俗資料館資料集 第18冊
仙台の災害 ~天災は忘れたころに~
ニュースレター Omnividens No.63
東北大学総合学術博物館 東国の仏像四 仏像の表象機能に関する総合的調査研究一空間・荘厳・胎内に着目して
東北大学大学院文学研究科 東洋・日本美術史研究室
東北歴史博物館 東北歴史博物館年報 令和元年度
宮城県教育庁文化財課 宮城県の文化財 ~美術工芸品編② 書跡・典籍 / 古文書・古碑 / 考古資料 / 歴史資料~
宮城県多賀城跡調査研究所 宮城県多賀城跡調査研究所年報 多賀城跡2019

秋田県

秋田県立博物館 秋田県立博物館ニュース No.170,171
秋田県立博物館年報 2019,令和2年度

山形県

山形県立うきたむ風土記の丘 年報 No.27
考古資料館 水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形
東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学科 歴史遺産研究 第14号
東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 紀要 令和元年度
東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 令和2年度版

福島県

福島県文化財センター白河館 年報 令和元年度実績
研究紀要 第18号
福島県立博物館 年報 第32~34号
紀要 第34号
調査報告 第41集

ふくしまの旅 一懐かしの景色を訪ねて一
震災遺産を考える 次の10年へつなぐ
ために
たより「福島県史料情報」第56~58号
福島県歴史資料館収蔵資料目録 第51集
目黒区埋蔵文化財発掘調査報告書
第26,27集
ライフミュージアムネット
ワーク実行委員会事務局 ライフミュージアムネットワーク2019
活動記録集

茨城県

上高津貝塚ふるさと歴史の広場 上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報
第26号
古代から中世へ 一常陸における社会と文化の変動期一
市立市川歴史博物館 市立市川歴史博物館館報 平成30年度
古河歴史博物館年報 Vol.28
古河歴史博物館紀要「泉石」 第14号
国宝参上 一鷹見泉石像と古河ゆかりの文化財一

群馬県

群馬県立自然史博物館 Demeter デメテール 群馬県立自然史博物館だより No.79
群馬県立歴史博物館 群馬県立歴史博物館紀要 第41号
空からグンマを見てみよう 一国絵図・城絵図・町村絵図一
綿貫観音山古墳のすべて

埼玉県

朝霞市博物館 朝霞市博物館調査報告書 第9集
朝霞市博物館研究紀要 第15~17号
埼玉県比企郡吉見町教育委員会 吉見町埋蔵文化財調査報告書 第20,21集
埼玉県立川の博物館 たより「かわはく」 No.66~68
埼玉県立歴史と民俗の博物館 紀要 第14号
無形民俗文化財調査事業「巡り・廻りの民俗行事」総括報告書 I
博物館ブックレット 第5集
銘仙
太平記絵巻
遠山記念館 遠山記念館だより 第58,59号
立正大学博物館 年報 18
中国古代瓦とアジアの梵音具 一仙場右羊コレクションと撫石庵コレクション一
万吉だより 第29~31号

千葉県

国立歴史民俗博物館 歴博 No.219
国立歴史民俗博物館総合資料学ニュースレター NEWS LETTER Vol.8
NEWS LETTER ヨーロッパにおける19世紀日本関連在外資料 調査研究・活用 日本文化発信にむけた国際連携のモデル構築 Vol.4
国立歴史民俗博物館要覧 令和2(2020)年度
国立歴史民俗博物館研究報告 第221集
昆布とミヨク(わかめ) 潮香るくらしの日韓比較文化誌
気仙沼のカミと妖怪
REKIHAKU001 特集 ざれど歴史
REKIHAKU002 特集 いまこそ、東アジア交流史
Japan zur Meiji-Zeit Die Sammlung Hinrich von Siebold
明治の日本 ハイブリット・フォン・シーボルトの収集品から(論考編) 日本語版

	Japan in the Meiji Era The Collection of Heinrich von Siebold (Essay Part) 英語版 性差(ジェンダー)の日本史 特集展示(国際展示) 東アジアを駆け抜けた身体 ースポーツの近代ー	(公財)東京都歴史文化財団 江戸東京たても園だより 第55,56号 江戸東京たても園 (財)日本相撲協会 相撲博物館 紀要 第18号 (株)日本入試センター 法務部 ソシオ・スコープ/デイリーサビックス 小学3年 社会 デイリーサビックス 小学5年 社会 デイリーサビックス 小学6年 社会
伊能忠敬記念館 木更津市郷土博物館金のすず	伊能忠敬記念館年報 第21号 金鈴塚古墳出土品再整理報告書 第1~3分冊,付図,DVD	(公財)日本博物館協会 博物館研究 第55号No.4~12,別冊,第56号No.1~3
総合研究大学院大学文化科学研究科 千葉県文書館	歴史研究の最前線 Vol.22 収蔵文書目録 第33集 千葉県の文書館 第25号	大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト 安定化処理(2019年度版) 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト2019 安定化処理 再生された民具 ~海を越えた友情の絆~編 日本語版,英語版 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト2019 安定化処理 写真編 日本語版,英語版
千葉県立中央博物館	研究報告 第15巻第1号 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 第65~68号	大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト2019 安定化処理 技術の周知と普及編 日本語版,英語版 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト2019 安定化処理 技術の周知と普及編 日本語版,英語版
千葉市立郷土博物館	研究紀要 第26号 武家社会確立期の権力と権威 一千葉氏をはじめとした東国武士の動向から読み解くー 軍都千葉と千葉空襲 一軍と歩んだまち・戦時下のひとびとー	大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト2019 安定化処理 技術の周知と普及編 日本語版,英語版 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト2019 安定化処理 技術の周知と普及編 日本語版,英語版
野田市郷土博物館	野田市郷土博物館 市民会報 年報・紀要 2018年度 まちの記憶 写真でたどる野田・関宿の昭和30~40年代	日本文芸社 (公財)文化財保護・芸術研究助成財団事務局 JTBハブリッキング 品川区立品川歴史館
松戸市立博物館	松戸市立博物館年報 第26,27号 松戸市立博物館紀要 第27号	品川歴史館紀要 第35号 広がる品川臨海部 一新天地開発から八潮地域の誕生まで
郵政博物館資料センター	研究紀要 第11号	(社)日本自動車連盟 JAF MATE 第58巻第4,6,7,10号,第59巻第1~3号
東京都		小児館 昭和館 成城大学民俗学研究所 全国刀剣商業協同組合 大成エンジニアリング(株) たばこと塩の博物館 中央公論新社 東京家政学院生活文化博物館 東京国立博物館 東京大学史料編纂所 東京都江戸東京博物館 東京都江戸東京博物館都市歴史研究室
藍生俳句会	藍生 通巻第358号	週刊 ニッポンの浮世絵100 Vol.20 昭和館報 第21号
青山学院大学文学部史学研究室 朝日新聞出版	青山史学 第38号 坂本龍馬と高杉晋作 「幕末武士」の実像と虚像	昭和のくらし研究 第18号 民俗学研究所紀要 第44集 諸国叢書 第25輯 民俗学研究所ニュース No.128~131
足立区立郷土博物館 (株)アマゾンラテルナ	足立区立郷土博物館紀要 第40号 絶対行きたくなる!ニッポン不滅の名城~小田原城~(DVD)	刀剣界 Vol.52~57 港区区内近都市江戸関連遺跡発掘調査報告 78[TM197],80[TM201],81[TM189]
イカリ消毒(株) 板橋区教育委員会	クリンネス 第413,414,420,423号 歴史民俗研究 一櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集一 第18輯	年報 第35号 見て楽し遊んで楽し 江戸のおもちゃ絵PART.1
板橋区立郷土資料館	甲冑刀装 一甲冑師・刀剣柄巻師・白銀師のあゆみー 板橋と光学Vol.3 一いたばし産のカメラたちー	メアシャム 白い女神 歴史と人物 新選組 滅びの美学 東京家政学院生活文化博物館年報 第29号 復興から未来へ ~博物館と地域のこれから~
岡本利佳	秋元松代のフォークロアの世界 「異界」との交流 (増補版)	東京国立博物館紀要 第54,55号 MUSEUM No.682~687 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第89~91号
NHK放送博物館 NHKプロモーション 日本放送協会制作局 第2制作ユニット 「日本人のおなまえっ!」	NHK放送博物館だより No.66 NHK大河ドラマ「麒麟がくる」 麒麟がくる もうすぐ本能寺の変SP (DVD)	江戸東京博物館NEWS Vol.108~111 東京都江戸東京博物館紀要 第10号 18世紀ソウルの日常 ユマンジュ日記の世界 調査報告書 第34集 江戸東京博物館史料叢書 11 奇才 一江戸絵画の冒険者たちー 和宮 江戸へ 一ふれた品物 みた世界ー 大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演 江戸ものづくり列伝 ニッポンの美は職人の技と心に宿る 18世紀ソウルの日常 ユマンジュ日記の世界
学習院大学史料館 (株)ABCアーク (株)学研教育みらい 観光考古学会 関東高知県人会 宮内庁書陵部 公文教育研究会 (株)クリエイティブネクサス	ミュージアム・レター No.43 歴史人 No.124 新・中学生の道徳 明日への扉2 観光と考古学 創刊号Vol.1 会報誌「きてみや」 Vol.8 書陵部紀要 第71号,第71号陵墓篇 文 MON NEXT 120,121 英雄たちの選択 #200国難に打ち勝つ!幕末の三英傑 ~幕末総集編~(DVD)	天下泰平 ~將軍と新しい文化の創造~ 東京都公文書館だより 第36,37号 GUIDE BOOK TOBUNKEN NEWS No.72 東京文化財研究所概要 2020 東京都埋蔵文化財センター年報 40 研究論集 34 たまのよこやま 119~122
慶應義塾大学 安藤広道	慶應義塾大学日吉キャンパス一帯の戦争遺跡の研究II 2016~2019年度科学研究費補助金 研究成果報告書	
KKベストセラーズ (株)講談社 國學院大學研究開発機構	歴史人 No.119 日本の歴史 14 國學院大學研究開発推進機構機構ニュース No.28	東京都公文書館 東京文化財研究所 東京都埋蔵文化財センター
國學院大學研究開発推進機構	機構ニュース No.27 紀要 第12号	
國學院大學博物館 駒澤大学禅文化歴史博物館	研究報告 第36,37輯 紀要 第4号 家康を支えた一門 松平家忠とその時代 ~「家忠日記」と本光寺~	
多摩美術大学芸術人類学研究所	Art Anthropology 15	

リケイ考古学
ーイマドキの探ると守るー
たより「龍馬タイムズ」第132～135号
刀剣春秋 第814,816～
820,822,824,825号

東京龍馬会
刀剣春秋

(独)国立文化財機構 文化財
防災ネットワーク推進室

豊島区立郷土資料館

(公財)日本城郭協会
日本城郭史学会

日本大学史学会
日本文化財保護協会
びあ(株)メディア・プロ
デュース事業局

府中市郷土の森博物館

文化庁文化財部
文化庁文化財第一課
法華コモンズ佛教学林事務局
光村図書出版(株) 道徳課
港区教育委員会
港区教育委員会事務局 教育
推進部 図書文化財課 文化
財係 (港区立郷土歴史館)

明治大学博物館
明治大学平和教育登戸研究所
資料館
明治安田クオリティオブライフ
文化財団
立正大学日蓮教学研究所
吉川弘文館
(株)ワン・パブリッシング

リケイ考古学
ーイマドキの探ると守るー
たより「龍馬タイムズ」第132～135号
刀剣春秋 第814,816～
820,822,824,825号
文化財防災ネットワーク推進事業シンポ
ジウム 地域社会と文化財 ー身近に
ある文化財、それをまもり伝える意味
Vol.2
豊島区立郷土資料館だより かたりへ
132～135
生活と文化(豊島区立郷土資料館研究紀要)
第29号
雑司が谷旧宣教師館だより 第64,65号
鈴木信太郎記念館だより 創刊号,2号
城郭ニュース No.147,148,150
城郭だより 第110～112号
城郭史研究 39号
史叢 第102,103号
飛天 令和2年會報
戦国武将びあ ゆかりの地と歴史舞台を
めぐる旅 古戦場や居城、武具などを徹
底ガイド
たより〈あるむぜお〉 No.131～134
府中市郷土の森博物館紀要 第33号
無形の民俗文化財 記録 第64集
湯津上のダイヤモンド引き
法華コモンズ通信 第5,6号
中学道徳1 きみがいちばんひかるとき
港区埋蔵文化財調査年報 14～16
港区指定文化財 令和元年度
港区と皇室の近代
1964年東京オリンピックと都市の交通
今にいきるオリンピック・レガシー
研究報告 第25号
館報 第6号
10年のあゆみ
地域の伝統文化 第28号
日蓮教學研究所紀要 第46号
日本歴史 第864,869号
日本100名城と続日本100名城に行こう

神奈川県

馬の博物館

大磯町郷土資料館

神奈川県教育委員会

神奈川県立歴史博物館
神奈川県立歴史民俗資
料学研究所
神奈川県立歴史民俗資
料学研究所
神奈川県立歴史民俗資
料学研究所

民具マンスリー 第53巻1～9号
島のスケッチ帖 二神史朗が見た二神島
離宮八幡宮文書目録 (二)近代・現代編1
山城国乙訓郡大山崎荘(京都府乙訓郡大
山崎町)
年報 非文字資料研究 第19～21号
News Letter No.43,44
神奈川県立歴史民俗資
料学研究所非文字資
料研究センター研究
成果報告書
鎌倉 第128,129号
紀要 第32集
おこさまとのくらし ー岡上の養蚕信仰ー
うんことくらし ー便所から肥やしまでー
石工と宮大工
暑と寒さも彼岸まで ー民家と四季ー
水産研究・教育機構所蔵古文書目録
ー和歌山県関係史料ー
神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 78
港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報
告 74[181-3]第1.2分冊

辻本彩
平塚市博物館

藤沢市文書館

(株)ホビージャパン
横浜市歴史博物館

横浜都市発展記念館

JICA横浜 海外移住資料館

以蔵さん資料読本 ～資料に載る関連地編～
研究報告「自然と文化」 No.43
よみがえる少年の日々 ー佐草健ポール
ペン画展ー
歴史をひもとく藤沢の資料 5善行地
区・湘南大庭地区
藤沢市史料集 43
刀剣画報 一期一振と大阪の陣
横浜市歴史博物館NEWS No.48,49
横浜市歴史博物館紀要 Vol.24
横浜市歴史博物館資料目録 第28集
横浜市歴史博物館調査研究報告
Vol.16
"道灌以後"の戦国争乱 横浜・上原家文
書にみる中世
Yokohama History Museum
Guide
明治・大正ハマの街 ー新市庁舎建設地・
洲干島遺跡ー
紀要 第16号
近代横浜を掘る 洲干島からひろがる都
市のすがた
研究紀要 14
館報 2019年度

新潟県

長岡市立科学博物館
新潟県立歴史博物館

新潟県立歴史博物館

NKH(長岡市立科学博物館報) No.104
研究紀要 第21号
年報 第19号
三浦和田氏文書Ⅱ
博物館ニュース「帆橋成林」 Vol.49～51

石川県

石川県立歴史博物館

能登町真遺跡縄文館

石川県立歴史博物館紀要 No.29
たより「石川れきはく」 No.132
石川の歴史遺産セミナー講演録
第31,32回
加賀藩江戸屋敷 本郷邸の儀礼とくらし
重要有形民俗文化財 能登内浦のドブネ
保存修理報告書 平成29年度～令和2年
度 国庫補助事業 重要有形民俗文化財
能登内浦のドブネ保存修理事業に伴う報
告書

福井県

福井県教育庁生涯学習・文化財課

福井県立美術館
福井県立歴史博物館

福井県立こども歴史文化館
福井県立若狭歴史博物館

三方石観音の手足形等奉納品調査報告書
雄島海女の素潜り漁と加工技術
年報 平成30年度
紀要 第13号
Museum Style Vol.10
ふくいミュージアム No.61,62
家事・家電・家庭のうつりかわり ー「主
婦」の近代ー
ふくいの鎮守さま 神と真言道場が織り
なす信仰世界
柴田勝家 ゆうれい行列
館報 令和元年度
金色の煌めき 金に彩られた若狭のたから

山梨県

山梨県立博物館

山梨県立考古博物館

山梨県立博物館年報 平成30年度
研究紀要 第14集
調査・研究報告 Vol.14
法然上人絵伝 ～親鸞が追い求めた師の姿～
すぞすぎる!ねこ展 ～ヒトとネコの出
会いと共存の歴史～
県都甲府の500年
甲州屋忠右衛門の冒険
山梨県立考古博物館だより No.89,90

長野県

飯田市美術博物館
長野県立歴史館

飯田市美術博物館年報 第29号
長野県立歴史館研究紀要 第26号
長野県立歴史館たより Vol.103～106
長野県立歴史館収蔵文書目録 19
地酒王国 信州
稲作とクニの誕生 ー信州と北部九州ー

長野市立博物館 洋画家・書家・コレクター 中村不折
一伊那谷から世界へ
博物館だより 第112～114号
紀要 第18,20,21号
収蔵資料目録 6,7

松代文化施設等管理事務所 神と仏が宿る里 一北信濃の山寺一
松代(付・年報) 第33号
真田宝物館だより六連銭 第41,42号
真田宝物館収蔵品目録 真田家旧蔵資料
目録 一調度1一
松代藩 文武学校

松本市立博物館 たより「あなたと博物館」 No.227～232
明治大学黒耀石研究センター 資源環境と人類 No.9,10
ニュースレター No.11,12

岐阜県

岐阜県博物館 岐阜県博物館報 第43号
岐阜県博物館調査研究報告 第40号
光秀が駆けぬけた戦国の岐阜

岐阜市歴史博物館 博物館だより No.105～107
歴博セレクション ギン歴史物語 伝統
の技と美(前期)
歴博セレクション ギン歴史物語 伝統
の技と美(後期)

静岡県

上原美術館 上原美術館通信 No.9～12
知られざる伊豆の仏教美術

静岡県民俗学会 静岡県民俗学会会報 175～178号
静岡県民俗学会誌 第33号

沼津市明治史料館 沼津市明治史料館通信 第141～144号
沼津市歴史民俗資料館 資料館だより 通巻225～228号
沼津市博物館紀要 44
沼津市歴史民俗資料館資料集 33
採る捕る獲る 富士・沼津・三島の狩猟・
採集
地先の漁 ～国指定漁具コレクションから～

浜松市博物館 浜松市博物館報 第32号
古代東海道駅伝展

富士山かくや姫ミュージアム 赫夜 一かくや一 76,77号
富士宮市教育委員会 歩く博物館ガイドブック 改訂版

愛知県

安城市歴史博物館 安城市歴史博物館年報 第29号
れきしみち No.116～119
安城の今昔2 こよみとくらし 冬暖夏
涼・季節道具
戦争に行くということ
描かれた戦争 一警察官が見た戦中戦後
の愛知一
家康と松平一族

春日井市道風記念館 道風記念館だより「道風」 第55～57号
豊橋市美術博物館 吉田天王社と神主石田家
未来へつなぐ災害の歴史 一地震・火事・
台風・竜巻一
美術のみかた 自由自在 国立国際美術
館コレクション
石巻神社所蔵「大般若経」調査報告書
吉田藩士の地図コレクション 地域から
世界をみる
白井英二・秀雄より真澄へ 菅江真澄展
千總コレクション 京の優雅 ～小袖と
屏風～

南山大学人類学博物館 南山大学人類学博物館紀要 第39号
まつり同好会 まつり通信 607～611

三重県

斎宮歴史博物館 斎宮歴史博物館研究紀要 29
史跡 斎宮跡 平成30年度発掘調査概報
斎宮跡発掘調査報告Ⅲ

三重県総合博物館 みえんしず 28～31号
三重県総合博物館研究紀要 No.6
三重県総合博物館資料叢書 No.6,7
年報 通巻4～6号
三重の仏像 白鳳仏から円空まで
多様な個性でつむぐ地域の学び創造事業
活動記録

ポタニカルデザイン 一植物のかたち、
その観察一
名所発見、再発見！ ～浮世絵でめぐる
三重の魅力～

滋賀県

滋賀県立安土城考古博物館 たより「おおもてみち」 第112～114号
滋賀県立琵琶湖文化館 研究紀要 第36号
滋賀大学教育学部 滋賀大学教育学部紀要 第69号
彦根城博物館だより 129～132
彦根城博物館
拵 一井伊家伝来刀装一
彦根藩井伊家と能楽
幻の名菓 湖東焼 一彦根藩菓の盛衰一
栗東歴史民俗博物館だより Vol.41
栗東歴史民俗博物館紀要 第26号

京都府

宇治市歴史資料館 収蔵資料調査報告書 22
古絵図の世界

京都市考古資料館 年報 平成23～26年度
リーフレット京都 No.279～326

京都府京都文化博物館 研究紀要「朱雀」第32集
京都府立丹後郷土資料館 天橋立と丹後国分寺
桐山秀穂
【アジア遊学】中世日本の茶と文化
生産・流通・消費をとおして 252号

宮内庁京都事務所庶務課 宮内庁京都事務所年報 1
思文閣出版 鴨東通信 No.110,111
浅草寺の什宝 浅草寺什宝目録 絵画編
第二巻
(株)新学社 社会科資料集
淡交社 淡交 令和2年8月号
同志社大学歴史資料館 同志社大学歴史資料館報 第23号
南丹市立文化博物館 南丹市立文化博物館だより 第16号
南丹市立文化博物館収蔵資料目録
第6,7集
幕末から明治のくらし ～転換期に生き
た丹波の人びと～

野村美術館 野村美術館研究紀要 第30号
(公財)美術院 美術院紀要 第12号
無鄰菴 サラサ通信 2020/6～12,2021/1～5
立命館大学文学部 学芸員NEWS LETTER 第32号
立命館大学国際平和ミュージアム 立命館大学国際平和ミュージアムだより
通巻80～82号
立命館大学国際平和ミュージアム資料研
究報告 第4号
立命館平和研究 一立命館大学国際平和
ミュージアム紀要一 第21号

龍谷大学日本史研究会 龍谷日本史研究 第43号
(株)スタジオ33 スタジオ33通信 第40,41号

大阪府

茨木市立文化財資料館 館報 第5号
茨木市文化財資料集 第77集

大阪市博物館機構 OSAKA MUSEUMS Vol.12～15
大阪城天守閣 大阪城天守閣紀要 第44号
徳川時代大坂城関係史料集 第20号
豊臣家ゆかりの天女の島 一びわ湖竹生
島の歴史と宝物
秀吉の生涯

大阪市立住まいのミュージアム 研究紀要・館報 第17,18号
あんじゅ 82～85

大阪府立狭山池博物館 田中家三代 お江戸へ参上
大阪府立近つ飛鳥博物館 たより「アスカディア・古墳の森」 第
52,53号
大阪府立近つ飛鳥博物館報 23
大阪府立近つ飛鳥博物館図録 80
王権麾下の古墳とその被葬者 一古市古
墳群の小規模墳一
共同研究成果報告書 12～14
大阪歴史博物館研究紀要 第17,18号
大阪歴史博物館館蔵資料集 16
大阪歴史博物館年報 平成30,31(令和
元)年度
なにわ歴博カレンダー No.74,75
～国芳、広重、国貞、豊国、英泉…江戸・明
治の浮世絵師たちが描く～ ニャンダフル！
浮世絵ねこの世界展

	勝矢コレクション刀装具受贈記念 決定版 刀装具鑑賞入門
柏原市立歴史資料館	埋忠(UMETADA) 桃山刀剣界の雄 柏原市立歴史資料館館報 第32号 柏原市古文書調査報告書 第14,15集 あの山を越えれば龍田古道
関西大学博物館	関西大学博物館彙報 阡陵 No.80 関西大学博物館紀要 第26号 びいどろギヤマンガラス展 ガラス器を愛で愉しむ(パンフレット) びいどろギヤマンガラス展 ガラス器を愛で愉しむ(図録) なにわ大阪と本山彦一 一大正期大阪への貢献と本山考古室一 研究成果報告書 民俗文化 第31,32号
近畿大学民俗学研究所	除痘館記念資料室 第13号
緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室	
国立民族学博物館	先住民の宝 復興を支える地域の文化 一3・11から10年
司馬遼太郎記念館	司馬遼太郎記念館会誌「遼」 第76号
太子町立竹内街道歴史資料館	館報 第21号 西方院の寺宝 一三尼公の遺光一
高槻市立今城塚古代歴史館	群集墳と横穴式石室 一古墳時代後期の三島一
TABIZURU FOUNDATION	旅鶴 2020秋・冬号
八尾市立歴史民俗資料館	館報 令和元年度 研究紀要 第31号

兵庫県

赤穂市立歴史博物館	播州赤穂の塩づくり
大手前大学史学研究所	紀要 第14号 研究報告 第15号
神戸女子大学史学科	すみあへと 23号
神戸市立小磯記念美術館	美術館だより 52
神戸市立博物館	博物館だより No.117,118
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 Vol.29
(公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部	ひょうごの遺跡 101~103号
兵庫県立歴史博物館	兵庫県立歴史博物館紀要「塵界」第30,31号 館報 平成30年度 ひょうご歴史研究室紀要 第5号 お城ができる前の姫路 スケッチでたどる兵庫の建築と景観 公式ガイドブック へんがおの世界 一笑う門には福来たる！一 パンフレット
御影史学研究会	御影史学論集 45

奈良県

宮内庁正倉院事務所	正倉院紀要 第42号
(財)元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究所研究報告 2018
御所市教育委員会文化財課	御所市文化財調査報告書 第57集 御所の献灯行事DVD
桜井市立埋蔵文化財センター	50cm下の桜井 26 遺跡を科学する 炎を操る ~古代人と火にまつわる物語~
天理大学附属天理参考館	天理参考館報 第33号
天理図書館	ピプリア No.153,154
奈良大学文学部	2018(平成30)年度~2020(令和2)年度科学研究費補助金(基盤C)研究成果報告書『古墳時代における装飾付大刀の生産と流通に関する研究』(課題番号18K01075) 装飾付大刀の生産と流通に関する研究(I)
	奈良大学考古学研究所調査報告書 第24,25冊
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第38集
吉野町文化観光交流課文化財保存活用室	奈良県吉野郡吉野町 西谷自治会所蔵文書調査報告書 吉野歴史資料館だより たぎつみやどころ 第5号

和歌山県

南方熊楠顕彰館	熊楠works No.55,56
南方熊楠資料研究会	熊楠研究 第14号

(公財)和歌山県文化財センター	地宝のひびき 資料集 歩いて知るきのくに歴史探訪 田辺城跡周辺の文化財を訪ねる 公開シンポジウム 方形周溝墓から古墳へ~和歌山県内の発掘事例から考える~ 発表資料集 年報 第46号 埴輪が語る古墳の祀り 博物館だより No.25 研究紀要 第25,26号 戦乱のなかの熊野 一紀南の武士と城館一 国宝 粉河寺縁起と粉河寺の歴史 研究紀要 第34号 紀州経済史文化史研究所紀要 第41号 泉州岸和田の宗教文化 一高僧伝と寺社縁起一 助左衛門家 五代記 高橋家と木ノ本村 きのみなと 紀之水門 通巻5~7号
和歌山県立紀伊風土記の丘	
和歌山県立博物館	
和歌山市立博物館	
和歌山大学紀州経済史文化史研究所	

鳥取県

鳥取県地域づくり推進部文化財局 とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室	青谷上寺地遺跡 15 第1,2分冊 青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2019 年報 No.48 研究報告 第57号 輝いていた60's 1960年代のスポーツと生活文化
鳥取県立博物館	

島根県

大田市教育委員会	五丁地区遺跡群発掘調査報告書 五丁地区県営農地環境整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
大田市教育委員会 石見銀山課	石見銀山遺跡発掘調査概要 27 大田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第35集
島根県古代文化センター	古代文化記録集 しまねの古代文化 第27号 古代文化研究 第28号 島根県古代文化センター研究論集 第24集 古代出雲ゼミナールVI 一古代文化連続講座記録集一 前近代島根県域における環境と人間 たより「八雲立つ風土記の丘」 No.226,227
島根県立八雲立つ風土記の丘	年報 令和元(2019)年度 島根県立古代出雲歴史博物館 れきはくNEWS Vol.48~51 行列 雲州松平家と出雲国造家 展示ガイド 大地に生きる ~しまねの災と幸~ 編纂一三〇〇年 日本書紀と出雲
島根県立古代出雲歴史博物館	

岡山県

岡山県教育委員会	守ろう地域の宝! 民俗芸能 ~備前地域編~
岡山県立博物館	研究報告 41号 年報 令和元年度 備前のある場所 一取り合わせの魅力一 美術館ニュース 第128~131号
岡山県立美術館	岡山ひと 第13号
岡山シティミュージアム	年報 19 紀要 第12号 北方長田遺跡 一旭川下流域の弥生時代中期末から古墳時代前期の集落遺跡一 南方釜田遺跡 一集合住宅建設に伴う発掘調査一 津高団地遺跡群 一古墳・生産遺跡編一
岡山市埋蔵文化財センター	倉敷埋蔵文化財センター年報 17 金光教学 第59,60号
倉敷埋蔵文化財センター	
金光教学研究所	

広島県

(株)熊平製作所	抜萃のつづり その80
広島県立文書館	広島県立文書館だより No.44 広島県立文書館資料集 10 災害を語る歴史資料館

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館) 研究紀要 第22号
ふくやま草戸千軒ミュージアムニュース 第123~125号
(財)広島市未来都市創造財団 しろうや! 広島城 No.64,65
広島城

山口県
下関市立考古博物館 研究紀要 第22号
至宝しものせき 一梶栗浜遺跡と弥生の墓制一
下関市立歴史博物館 研究紀要 第1号
山口県文書館 文書館ニュース No.54
山口県文書館研究紀要 第47号
山口県立萩美術館・浦上記念館 たより「HAGI萩」 95~98
山口県立山口博物館 研究報告 第46号
館報 第42号

徳島県
(財)徳島県埋蔵文化財センター 年報 Vol.31
徳島県未来創生文化部 文化「あわの至宝」調査研究報告書(建造物編)資源活用課
徳島県県民環境部スポーツ・文化局文化資源活用課 四国山地の発酵茶の製造技術「阿波晩茶製造技術」調査報告書
阿波ばん茶 徳島県上勝町・那賀町 DVD
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 研究報告 第4号
年報 第10号
徳島県立博物館 博物館ニュース No.118~120
年報 第29号
研究報告 第30号
文化財調査の先覚者 鳥居龍蔵、徳島を
探る
蔵出し!“宝もの”展
徳島県立文書館 文書館だより 第41号
阿波の引き札Ⅱ 一三舟家コレクション一
藍を作り、藍を売る 一阿波の主産業・藍一
徳島市史 戦争編・治安編・災害編 第六巻
年報 第28号
新収蔵品展
阿波の水軍 一森家と徳島藩一
ひな人形の世界
蜂須賀重喜 一十代藩主の光と影一
鈴木芙蓉の阿波
庚午事変と阿波・淡路(目録)
庚午事変と阿波・淡路(パンフ)
四国遍路と徳島藩(目録)
四国遍路と徳島藩(図録)

香川県
香川県教育委員会 香川県「四国八十八箇所霊場と遍路道」調査報告書 14,16
香川県埋蔵文化財センター 年報 平成30年度
埋蔵文化財試掘調査報告 30,31
中又北遺跡
津森位遺跡 Ⅱ
北野遺跡 鎌野西遺跡
本町二丁目遺跡
香川県立文書館 紀要 第23号
収蔵文書目録 第22集
香川県立ミュージアム 香川県立ミュージアムニュース
Vol.48~51
常設展示解説シート Vol.105~112
瀬戸内海歴史民俗資料館解説シート
通番No.23~27
瀬戸内海歴史民俗資料館建築解説
瀬戸内海の魚と漁業
語る武具 ARMOUR&STORIES
(公財)鎌田共済会郷土博物館 郷土博通信 No.15,16
坂出市役所 坂出市史研究 第7号
坂出市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第1冊
坂出市史編さん所 坂出市史 近世資料篇(その二)
さぬき市教育委員会生涯学習課 さぬき市文化財調査報告 第23集
四国電力(株) ライト&ライブ No.689~700
(財)四国電気保安協会 電気と保安 No.287
四国民俗学会 四国民俗 第49号

瀬戸内全誌準備委員会事務局 「間」からみる瀬戸内 瀬戸内全誌のための素描
丸亀市教育委員会 丸亀市埋蔵文化財発掘調査報告 第32冊
三豊市教育委員会 宗吉かわらの里展示館 年報 9
三豊市内遺跡発掘調査報告 第14集
香川県三豊市 詫間町民俗資料館・考古館 年報 1

愛媛県
伊方町町見郷土館 佐田岬民俗ノート 1
研究紀要 第6号
伊予市教育委員会 伊予市埋蔵文化財調査報告書 第15集
伊予鉄不動産(株)「へんろ」 へんろ 第441号
編集部
宇和島市立伊達博物館 没後四〇〇年 山家清兵衛 伊達と和靈様 忠直剛毅の軌跡
愛媛県西予市教育委員会スポーツ・文化課 西予市埋蔵文化財調査報告書 第11集
愛媛県総合科学博物館 年報 令和元年度
愛媛県美術館 年報・研究紀要 第18号
愛媛県歴史文化博物館 季刊 歴博だより No.101~104
愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第25号
愛媛県歴史文化博物館資料目録 第28集
四国・愛媛の災害史と文化財レスキュー
瀬戸内ヒストリー 一芸予と備讃を中心に一
明石寺と四国遍路
愛媛人物博物館 白鷹幸伯 ~鐵に千年の命を吹き込んだ鍛冶師~
愛媛大学人文学会 人文学論叢 第21号
愛媛大学法文学部日本史研究室 四国霊場第五十二番札所 太山寺総合調査報告書(1)
愛媛大学埋蔵文化財調査室 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 26-2(本文編、表・図版編)、33
愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会 第5回四国地域史研究大会「山岳信仰と四国遍路」公開講演会・研究集会 プロシーディングス
幸泉満夫 愛媛大学法文学部論集 人文学編 第50号
(公財)愛媛県埋蔵文化財センター 愛比売 2018(平成30)、令和元年度
紀要愛媛 第16号
愛媛県埋蔵文化財発掘調査報告書 第197,198集(第1~3分冊、写真図版、付図)
湯築城跡 一発掘調査開始から30年を迎えて一
西南四国歴史文化研究会 西南四国歴史文化論叢「よど」 第21号
(財)松山市生涯学習振興財団 松山市埋蔵文化財調査年報 令和元年度
埋蔵文化財センター(松山市考古館)
松山市教育委員会文化財課 発掘 松山の至宝
松山市文化財調査報告書 199,200
松山市役所 公園緑地課 松山市文化財調査報告書 197
坂の上の雲ミュージアム 小日本 第38,39号
松山市立子規記念博物館 季刊 子規博だより 通巻147~149号
子規の写真物語 一古き新しき取り出して一

高知県
(株)アドブレーション こうち探検ミュージアム Vol.79~84
アンパンマンミュージアム やなせたかし記念館NEWS「メルヘンの散歩道」アンパンマンのパトロール日記」
Vol.86~89
遠近菊男 漂客談奇に学ぶ 漁人 万次郎
オーテピア高知図書館 コトノハ Vol.3~6
オーテピア高知図書館ガイドブック
南国市史史料 地区別小字図集
婉という女
海を越え時を越えておかえりなさい「ミス高知」
半世紀の歩み 高知県経営者協会50年史
県政二十年
ロクさんの嶺北ひそひそ話
小社会
県庁わが人生
破天荒、大二郎がゆく
聞け戦争の声
大久保松次郎記
土佐の民話元氣者
出番です 大二郎 Sワールドへようこそ

	氏原一郎伝 遥かなる大地 姉妹都市フレソノ開拓の歴史と現状 土佐の園芸と共に八十八年 右でも左でもない政治 一龍馬市長奮戦記―心はいつも太平洋ぜよ 大二郎が勝った 女がつくった高知県知事 非生雑記 むかしまっこう 老女がたり 生涯雑筆 文化祭二十年 文化祭四十年 夢産地・土佐山総合振興計画 ネイカルのむらづくり(1993~2001年)		長宗我部の時代 元親、信長、秀吉、光秀の生きた時代… 四国の風土と暮らし 一海と人々2 古墳時代~近世一 高知県立牧野植物園 高知県立牧野植物園だより No.81~84 高知県立牧野植物園年報 第19号 もりりん No.4,5
岡本桂典	日本歴史 別冊 総目録 豊国の歴史考古学研究	高知県林業振興・環境部林業環境政策課 高知こどもの図書館	ほんとおそぶ ニュースレター No.76,77 ほんとおそぶプラス! ニュースレター No.76・77合併号
越知町立横倉山自然の森博物館 楠瀬慶太	たより「不思議の森から」 Vol.42,43 地域資料叢書 20,21 第2回 満州の歴史を語り継ぐ集い記録集 2020年度活動報告集	高知市役所総務課 国際平和・文化担当 高知市民権・文化財課	戦後75年・高知空襲展 楠瀬喜多没後一〇〇年 民権ばあさんと女性参政権 高知市制130周年記念誌 たより「自由のともしび」 Vol.88,89 要覧 2019年度 高知市立自由民権記念館紀要 No.25 高知の歴史資料を残す・伝える 一紙資料保存の手引き一 高知文学 第46号 ふぁみサポ通信 第48~50号
芸西村役場	村の話題・民話・歴史・民具・門脇謙久随想等 広報げいせいコラム全集(自:昭和56年~至:平成23年)	高知戦争資料保存ネットワーク 高知文学学校研究科 こうちファミリーサポートセンター 高知バンクラブ	高知文学 第46号 ふぁみサポ通信 第48~50号 高知バンクラブ会報 第88,89号 高知文芸年鑑 2020年版 高知県香南市発掘調査報告書 第16,17集 文化高知 No.215~220 志士最後の生き証人・田中光顕 土佐藩砲台跡 一史跡の来歴と砲台の軍事的機能一 蒼空 第25号 創和文学 第6号 東洋町史 土佐史談 273~275号
高知県観光振興部 高知自然体験型 観光キャンペーン実行委員会 高知県教育委員会文化財課	月刊歴史街道 第396号 高知県「四国八十八箇所霊場と遍路道」総合調査報告書 3 文化財こうち 第6号	香南市教育委員会 (公財)高知市文化振興事業団 佐川町立青山文庫 須崎市地震・防災課 地域おこし協力隊 蒼空の会 創和文学会 東洋町教育委員会 土佐史談会	高知バンクラブ会報 第88,89号 高知文芸年鑑 2020年版 高知県香南市発掘調査報告書 第16,17集 文化高知 No.215~220 志士最後の生き証人・田中光顕 土佐藩砲台跡 一史跡の来歴と砲台の軍事的機能一 蒼空 第25号 創和文学 第6号 東洋町史 土佐史談 273~275号
(公社)高知県建設技術公社	公益財団法人 高知県建設技術公社 50周年記念誌		公民館ふるさと教育推進部門 フィールドワーク(地域学習)を通じて学んだ「志」岡豊歴史たんけん
高知県広報広聴課 (公財)高知県人権啓発センター	さんSUN高知 No.303~313 人権啓発シリーズ集 令和元年度 こころんだより Vol.13~15 シンポジウム「高知県の学校資料を考える」記録集		第31回 中岡山記念全国書展出品目録 広報なんこく No.927~938 南国史談 第43号 「としゃかん」南国市立図書館だより No.150,152~157 安芸市奈比賀文化史 東洋町資料集 第6集改訂版 第8集 高知市立一ツ橋小学校 創立50周年記念誌 風土 第20号 土佐の祭りといぬ 物部村のいざなぎ流 大平山 第46号 右城墓石顕彰吉野川全国俳句大会 入選句集 第27回 館報「FUKU-FUKU」 Vol.74~76 年報 2019(令和元)年度 たより「龍馬研究」 No.218~221
高知県の学校資料を考える会	シンポジウム「高知県の学校資料を考える」記録集 とさぶし 第30~33号		
高知県文化生活スポーツ部文化振興課	第4期 高知県産業振興計画 PR版パンフレット	中岡山山展実行委員会 南国市市役所企画課 南国史談会事務局 南国市立図書館	
高知県文教協会 高知県立高知城歴史博物館	文教高知 No.86,87 年報 第4号 城博ニュース(JOHAKU NEWS) Vol.9~12 国史跡土佐藩主山内家墓所整備基本計画書 星を見る人 ~日本と土佐の近世天文暦学~ 古今和歌集巻第二十 高野切本 原文・現代語訳 地域記録集 土佐の村々4 高知県安芸郡芸西村久重地区 久重山村	橋尾直和 原田英祐 一ツ橋小学校 創立50周年記念事業実行委員会 風土社 福島義之 三里史談会 右城墓石顕彰吉野川全国俳句大会事務局 横山隆一記念まんが館	
高知県立坂本龍馬記念館	たより「飛騰」 第113~115号 年報 平成30,平成31/令和元年度 現代龍馬学会論集 2019 第11号 幕末キーパーソン 一龍馬をめぐる人々一 講演録 維新十傑 一創造・行動・志一 長宗我部遺臣と土佐の郷土研究紀要 第2号 幕末と船展 一万次郎から龍馬へ一 手紙の世界 一龍馬で古文書ことはじめ一 薩摩と土佐 一雄藩がたどった近代化の道一 展	龍馬研究会	
高知県立大学文化学部 高知県立大学 高知県立図書館 高知みらい科学館	文化論叢 第8号 Pint Vol.21 土佐國群書類従拾遺 第7巻 年報 令和元年度(平成31年度) 2019年度 かがくかん通信 Vol.8,9	有馬記念館 糸島市立伊都国歴史博物館 上毛町教育委員会教務課文化財保護係 北九州市立自然史・歴史博物館	年報 第6号 年報 14,15 紀要 第12~14号 上毛町文化財調査報告書 第24,25集 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 第17号 九州発! 棟方志功の旅 掘り起こされた足跡と交流 東風西声(九州国立博物館紀要) 第15号 文化財修理報告 平成18~20年度 文化財防災ネットワーク推進事業 一九州国立博物館の取り組み一 しきしまの大和へ 三国志 縄文王国やまなし 更紗 生命の花咲く布 筑紫の神と仏 版経東斬 対馬がつなぐ仏の教え
高知県立のいち動物公園	たより「ZOOファミリーのいち」 Vol.81~83 年報 令和元年度	九州国立博物館	
高知県立美術館 高知県立文学館 高知県立埋蔵文化財センター	KENBI LETTER No.105~108 たより「藤並の森」 Vol.89~92 高知県埋蔵文化財センター年報 第29号 高知県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第153集		

	室町將軍 一戦乱と美の足利十五代一 文化財よ 永遠に ルネ・ユイグのまなざし フランス絵画 の精華 一大概の形成と変容		研究紀要 20 大相撲力士群像 一相撲の歴史と時代の ヒーローたち一 大分県仏教美術調査報告 6,7 大分市埋蔵文化財発掘調査報告書 第161,162集 大分市埋蔵文化財調査概要報告 2018, 平成30年度調査版 国指定史跡大分元町石仏 一保存整備事 業報告書Ⅱ一 ニュース Vol.121~123 大分の禪
九州大学大学院比較社会文化 研究院		大分市教育委員会	
九州大学附属図書館付設記録 資料館 九州文化史資料部門 九州歴史資料館	九州文化史研究所紀要 第62号 九歴だより No.51,52 九州歴史資料館研究論集 45 北部九州の霊山と経塚 久留米 一その歴史と文化一 福岡の至宝に見る信仰と美 大宰府天満宮の境内絵図 一さいふまい りの江戸・明治一	大分市歴史資料館	
九州歴史資料館分館 柳川古 文書館	柳川古文書館年報 令和元年度 柳川古文書館史料目録 第29集 柳川の歴史 7 復活の大名 立花宗茂 歴史をつなぐ高良大社の文化財 久留米市文化財調査報告書 第423集 鷹・鷹場・環境研究 Vol.4 能古博物館だより 第84号 福岡市埋蔵文化財センター年報 第39号 福岡市総合図書館研究紀要 第19,20号 古文書資料目録 第24,25号 市史だより Fukuoka 第25号 BARON SUYEMATSU 一情熱の生涯一 一般国道10号バイパス開通30周年記念 ゆくはしの地下を掘る 一辻垣遺跡群・ 津留遺跡・金屋遺跡出土品里帰り展一	宮崎県総合博物館 宮崎県立西都原考古博物館 宮崎市生目の杜遊古館	都城市教育委員会 都城島津伝承館史料集 第9号 たより「森の通信」 第68,69号 年報 No.49 研究紀要 第40輯 研究紀要 第16号 年報 2019(平成31・令和元)年度 台湾 宜蘭 淇武蘭遺跡 ～海路の交わ るところ～ 青がつなぐもの ～高麗青磁と古代海洋 交易～ 国宝馬具とその時代 宮崎市歴史資料館研究紀要/宮崎市歴史 資料館年報 令和元年度
久留米市役所 市民文化部 文化財保護課			
鷹・鷹場・環境研究会 能古博物館 福岡市教育委員会 福岡市総合図書館			
福岡市博物館 行橋市役所 行橋市歴史資料館			
佐賀県			
有田町歴史民俗資料館 佐賀県立九州陶磁文化館	たより「皿山」 No.126~129 柴田夫妻コレクション総目録(増補改訂) 高取家コレクション 柴澤コレクション 研究紀要 第15号 研究紀要 第26集 トイレのナゾを追え!! 肥前名護屋の 厠と雪隠 名護屋城と配陣図 海をわたった装身具 調査研究書 第44集 三人展 Forward Stroke 一明日へ の眼差し一	鹿児島県歴史・美術センター黎 明館 鹿児島大学埋蔵文化財調査センター 鹿屋市教育委員会 南九州市役所 知覧庁舎	黎明館だより 黎明 Vol.38・No.1~4 黎明館調査研究報告 第32集 華麗なる薩摩焼 一万国博覧会の時代の きらめき一 薩摩焼資料集 華麗なる薩 摩焼の近代 鹿児島大学構内遺跡 郡元団地I-9区、 F-6区、R~T-7~9区 第16集 鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書 91 南九州市埋蔵文化財発掘調査概要報告書 9
佐賀県立佐賀城本丸歴史館 佐賀県立名護屋城博物館			
佐賀県立博物館・佐賀県立美術館			
長崎県			
壱岐市教育委員会 長崎県文化振興課 長崎歴史文化博物館	壱岐市文化財調査報告書 第30集 ミュージアム県ながさき Vol.9 長崎れきぶんNEWS No.53~55 研究紀要 第14号		
熊本県			
鞠智城シンポジウム 古代の 山城と東北城柵運営事務局 熊本県立美術館 熊本市立熊本博物館	古代の山城と東北城柵 熊本県立美術館だより「View」 Vol.173~176 館報 No.32 くまはくNEWS LETTER Vol.3,4 追憶の熊本 一画家・甲斐青萍が描いた 熊本城下の記憶一 「旅の巨人」と呼ばれた民俗学者・宮本常一 一熊本で見つけたモノ一 博物館でひな祭り!!		
大分県			
大分県公文書館 大分県立先哲史料館 大分県立埋蔵文化財センター 大分県立歴史博物館	大分県公文書館だより 第27号 史料館研究紀要 第25号 ベト口岐部と大分のキリスト教 大分県内遺跡発掘調査概要報 23 研究紀要 3 発掘調査報告書 第11~16集 たより「おおいた歴博」 No.63~65 年報 2019 報告書 第18集		
			沖縄県公文書館 那覇市立壺屋焼物博物館
			たより「ARCHIVES」 第59,60号 研究紀要 第22号 琉政だより No.13,14 年報 令和元年度 紀要 第21号

購入図書

書名	編著者名	出版社・発行	巻・号	発行年
日本の石仏	日本石仏協会	日本石仏協会	第170～172号	2020
歴史評論	歴史科学協議会事務所 『歴史評論』編集委員会	歴史科学協議会	No.841～852	2020.21
月刊考古学ジャーナル	考古学ジャーナル編 集委員会	(株)ニューサイエンス社	No.738～752	2020.21
季刊 考古学		(株)雄山閣	第151～154号	2020.21
季刊 考古学・別冊32 上黒岩岩陰と縄文草創期	春成秀爾編	(株)雄山閣		2020
季刊 考古学・別冊33 美術史と考古学	浅湫毅・時枝務編	(株)雄山閣		2021
石造文化財	石造文化財調査研究所	石造文化財調査研究所	12号	2020
地方史研究	地方史研究協議会	(有)岩田書院	第404～409号	2020.21
歴史学研究	歴史学研究会編	續文堂出版	第995～1007号	2020.21
日本歴史	日本歴史学会編	(株)吉川弘文館	第863～874号	2020.21
日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代 造像銘記篇 第16巻 解説・図版	水野敬三郎	(株)中央公論美術出版		2020
新しい社会3	北俊夫,小原友行 ほか99名	東京書籍(株)		2020
小学社会3	大石学,小林宏己 ほか50名	教育出版(株)		2020
小学社会3年	池野繁男,的場正美, 安野功 ほか123名	日本文教出版(株)		2020
全国博物館園職員録(令和2年)	(公財)日本博物館協会	(公財)日本博物館協会		2020
日本史「今日は何の日」事典	吉川弘文館編集部	(株)吉川弘文館		2021
新日本考古学辞典	江坂輝彌,芹沢長介, 坂詰秀一編	(株)ニューサイエンス社		2020
民俗学事典	民俗学事典編集委員会	丸善出版(株)		2014
民具学事典	日本民具学会	丸善出版(株)		2020
共栄園文化 ビルマ	高見順	陸軍美術協会出版部		1944
写真報道記 ビルマ	大木栄一	朝日新聞社		1943

高知県立歴史民俗資料館年報 令和2年度

No.30

発行日	令和3年7月31日
編集・発行	公益財団法人 高知県文化財団 高知県立歴史民俗資料館 〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1 TEL (088) 862-2211 FAX (088) 862-2110 https://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/ Eメール rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp
印刷	弘文印刷株式会社